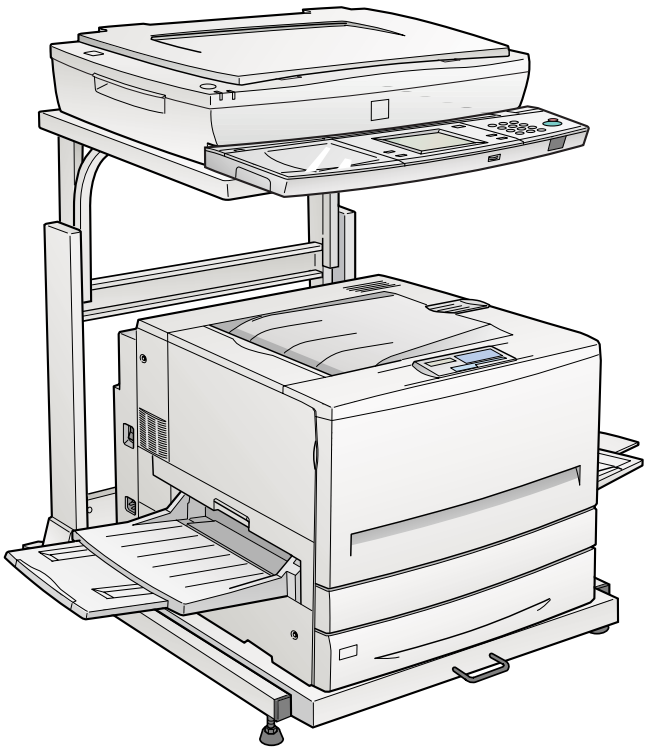
本書は、CS-6500S、プリンタ、スキャナを使用してコピーする手順や、困ったときの対処について記載しています。

コピーユニット

CS-6500S

ユーザーズガイド



ESPER-STATION エスパー・ステーション

コピーの仕方（基本編）

コピー設定の仕方

応用コピーの設定

管理者モードの設定

困ったときは

付録

―本書は、コピーシステムの近くに置いてご活用ください―

4013616-00
C01

取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。

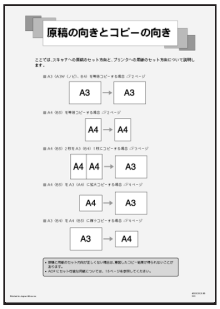
セットアップガイド

CS-6500S、プリンタ、スキャナの設置や接続の手順について記載しています。

セットアップを代理店に依頼される場合は、セットアップガイドをお読みになる必要はありません。

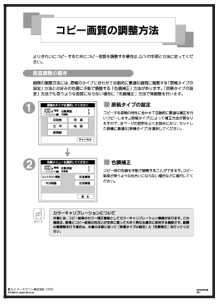
ユーザーズガイド（本書）

CS-6500S、プリンタ、スキャナを使用してコピーする手順や、困ったときの対処について説明しています。



原稿の向きとコピーの向き（早見表 1）

スキャナへの原稿のセット方向と、プリンタへの用紙のセット方向を説明しています。コピーシステムの近くに置いてご活用ください。



コピー画質の調整方法（早見表 2）

思うような画質でコピーできない場合の調整方法について説明しています。コピーシステムの近くに置いてご活用ください。

安全にお使いいただくために

- 本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されておりますその他の取扱説明書をお読みください。
- 本書および製品添付のその他の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。
- 本書および製品添付のその他の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告 **この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

⚠注意 **この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

安全上のご注意

⚠警告

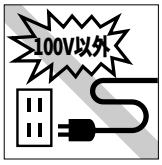
煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。

感電・火災の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンフィールドセンターにご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

(取扱説明書で指示されている以外の)分解や改造はしないでください。

けがや感電・火災の原因となります。

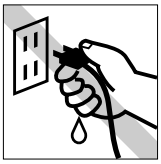
スキャナ、プリンタは、表示されている電源(AC100V)以外は使用しないでください。



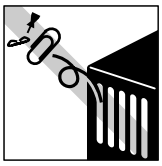
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。
スキャナの電源とプリンタの電源は別のコンセントから取ってください。

⚠警告

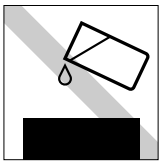
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



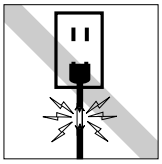
通風孔など開口部から、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンフィールドセンターにご相談ください。



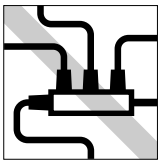
破損した電源ケーブルを使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
電源ケーブルを取り扱う際は、次の点を守ってください。



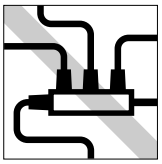
- 電源ケーブルを加工しない
- 電源ケーブルの上に重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

電源ケーブルが破損したら、販売店またはエプソンフィールドセンターにご相談ください。

電源ケーブルのたこ足配線はしないでください。
発熱し火災の原因となります。
家庭用電源コンセント（AC100V）から電源を直接取ってください。



プリンタの電源プラグは、定格電圧100Vのコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側にある補助電源への接続、およびスキャナの電源を接続しているコンセントと同じコンセントには接続しないでください。
発熱による火災や感電のおそれがあります。（プリンタの定格電流は100V/10Aです。）



⚠警告

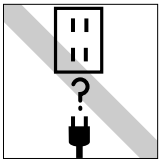
電源プラグの取り扱いには注意してください。

取り扱いを誤ると火災の原因となります。

電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。

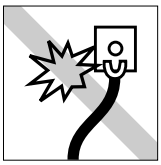
- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む

スキャナ、プリンタに添付されている電源ケーブル以外の電源ケーブルは使用しないでください。



感電・火災の原因となります。

プリンタのアース線を接続しない状態で使用しないでください。



感電・火災の原因となります。

万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、プリンタに添付されている緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

・電源コンセントのアース端子
・銅片などを650mm以上地中に埋めた物
・接地工事（第3種）を行っている接地端子

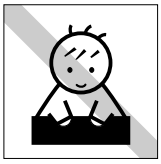
ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

次のような場所には、絶対にアース線を接続しないでください。

・ガス管（引火や爆発の危険があります）
・電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です）
・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）

⚠注意

小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。



不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。

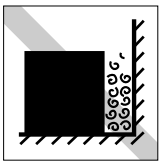
湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
感電・火災のおそれがあります。

本製品の上に乗ったり、物を置かないでください。
特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがをするおそれがあります。

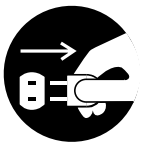
本製品の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。
次のような場所には設置しないでください。

- 押し入れや本箱など風通しの悪い狭いところ
- じゅうたんや布団の上
- 毛布やテーブルクロスのような布をかけない

また、壁際に設置する場合は、壁から10cm以上（プリンタは15cm以上）のすき間をあけてください。



連休や旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずスキャナ、プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。

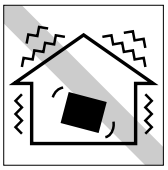


各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災のおそれがあります。

⚠注意

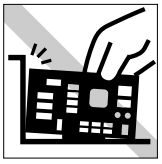
本製品を移動する場合は、安全のために電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。

他の機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。
落下によって、そばにいる人がけがをするおそれがあります。



スキャナ、プリンタは重いので、開梱や移動する場合一人で運ばないでください。
必ず二人以上（プリンタは四人以上）で運んでください。

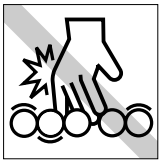
オプション類を装着するときは、表裏や前後をまちがえないでください。
まちがえて装着すると、故障の原因となります。取扱説明書の指示に従って、正しく装着してください。



プリンタを紙詰まりの状態で放置しないでください。
定着器が加熱し、発煙・発火の原因となります。

使用中に、プリンタの定着ユニットを引き出したときは定着器部分に触れないでください。
高温になっているため、火傷のおそれがあります。

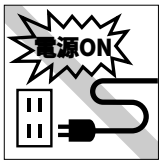
プリンタの電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近づけないでください。
指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手にとってください。



使用済みのETカートリッジや廃トナーボックス、感光体ユニットを、火の中に入れないでください。
トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。
使用済みのETカートリッジは回収していますのでご協力をお願いします。

⚠注意

本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。
電源プラグが変形し、発火の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷付いて、火災や感電の原因となることがあります。

インターフェイスケーブルやオプション製品を接続するときや消耗品を交換するときは、必ず本製品の電源スイッチをオフにしてください。
感電の原因となることがあります。

本書のご案内

詳しいもくじは次ページにあります。

原稿/用紙のセット方法や、日常的なコピーの仕方を説明しています

コピーの仕方（基本編）

コピーに関する各種の設定方法を説明しています

コピー設定の仕方

応用的なコピーの仕方を説明しています

応用コピーの設定

コピーシステムの基本的な設定方法を説明しています

管理者モードの設定

困ったときの対処方法を説明しています

困ったときは

もくじ

● 安全にお使いいただくために 1
安全上のご注意 1
● 本書のご案内 7
● コピーシステムの紹介 10
● プリンタ、スキャナの
コンピュータなどへの接続 12
● コピー設定の組み合わせについて . 13
● 各部の名称とはたらき 14
操作パネル(スイッチ・ランプ) 14
● 本文中のマークについて 16
● 複製(コピー)上のご注意 17

コピーの仕方(基本編)

● 電源の投入 20
電源の投入 20
電源オン時にエラーになった場合 22
電源をオフにするときのご注意 22
スタンバイ制御(節電機能) 23
● 原稿の向きとコピーの向き 24
A3(A3W(ノビ)、B4)を
等倍コピーする場合 25
A4(B5)を等倍コピーする場合 26
A4(B5)2枚をA3(B4)1枚に
コピーする場合 27
A4(B5)をA3(B4)に拡大コピーする場合 28
A3(B4)をA4(B5)に縮小コピーする場合 29
● スキャナへの原稿のセット 30
原稿台へのセット 30
ADF(型番:ESA3ADF2)へのセット 32
● プリンタへの用紙のセット 34
給紙経路とセットできる用紙 34
印刷できる領域 36
用紙カセットへの用紙のセット 37
用紙トレイへの用紙のセット 40
● 給紙装置の選択方法 45
自動的に給紙装置を選択する 45
手動で給紙装置を選択する 46
● 用紙の排紙先について 48
用紙と排紙トレイの関係 48
排紙トレイの切り替え 48
● コピー枚数の設定 49
● コピーの実行 50

コピー設定の仕方

● 機能の紹介 54
● 倍率の設定 57
倍率設定の仕方 57
自動倍率の設定方法 58
定形縮小/拡大、任意の倍率設定方法 59
倍率を100%(等倍)に戻す 62
フィットページ機能について 62
拡大/縮小の設定に問題がある場合 63
● コピー色(カラー/白黒)の設定 64
● 原稿タイプの設定 65
● コピー濃度(こく/うすく)の調整 67
● 色調補正 68
コントラスト調整 69
RGB調整 70
彩度調整 71
色相調整 72
● コピー設定の再利用 73
コピー設定の登録 73
登録したコピー設定の確認 74
登録したコピー設定での印刷 75
登録したコピー設定の削除 76
● 両面コピーの設定 77
● パネルの明暗調整機能 80
● コピー設定のリセット 81

応用コピーの設定

● 応用コピーについて 84
● 割り付けコピー 85
割り付けコピーについて 85
割り付けコピーの仕方 86
● とじしろコピー 91
とじしろコピーについて 91
とじしろコピーの仕方 91
● 丁合いコピー 95
丁合いコピーについて 95

丁合いコピーの仕方 95
● **ページ連写コピー 97**
ページ連写コピーについて 97
ページ連写コピーの仕方 98
● **ブック影消しコピー 102**
ブック影消しコピーについて 102
ブック影消しコピーの仕方 102

管理者モードの設定

● **管理者モード スイッチと［ステータス表示］画面 108**
● **ステータスの確認と印刷 109**
ステータスの確認 109
ステータスの印刷 109
● **［環境設定］画面 110**
キータッチ音 110
スタンバイ制御 110
自動給紙 111
コピージョブ標準値設定 111
カラーキャリブレーション調整 112
コピーユニット工場出荷時設定に戻す .. 116

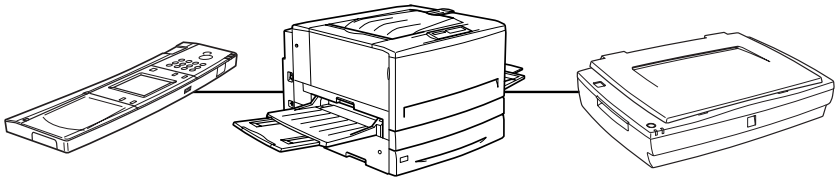
困ったときは

● **故障かな？と思ったら 118**
● **エラーメッセージ一覧 119**
プリンタ側のエラー 119
スキャナ側のエラー 129
CS-6500S本体のエラーメッセージ 131
● **スキャナのADFで原稿が詰まったときは 133**
● **プリンタで用紙が詰まったときは 135**
用紙の取り出しの注意 136
給紙口での用紙詰まり（ジャム C/D/E） 137
定着ユニットでの用紙詰まり（ジャム B）142
排紙口での用紙詰まり（ジャム A） 144
下反転ユニットでの用紙詰まり（ジャム F） 145
両面印刷ユニットでの用紙詰まり（ジャム F, D, G） 146
● **プリンタが正常に給紙/排紙をしない原因 148**
用紙が詰まる／給排紙されない 148
用紙を二重送りしてしまう 149
● **コピー品質上のトラブル 150**
端の部分がコピーされない 150
コピーにモアレ（網目状の陰影）が出る .. 151
黒い文字が黒くならない 151
写真のコピーで明るい部分が白く飛ぶ .. 151
印刷が薄い（うすくかすれる、不鮮明） 151
汚れ（点）が印刷される 152
周期的に汚れがある 152
指でこするとにじむ 152
塗りつぶし部分に白点がある 153
用紙全体が塗りつぶされてしまう 153
縦線が印刷される 153
何も印刷されない 153
白抜けがおこる 154
裏面が汚れる 154
印刷面がザラザラになる 154
● **原稿とコピー結果の色が合わない 155**
まず、操作パネルの設定を確認しましょう 155
それでも解決しないときは 155
● **消耗品の交換 157**
● **サポートのご案内 158**
エプソンFAXインフォメーション 158
エプソンインフォメーションセンター .. 158
保守サービスのご案内 158
インターネット・パソコン通信サービス 160

付録

● **オプションの紹介 162**
● **日常のお手入れ 163**
● **移動時のご注意 164**
● **CS-6500Sの基本仕様 165**
● **索引 167**

コピーシステムの紹介



高品位カラーコピー

大判 / 高画質に対応したプロフェッショナル仕様のスキャナと、高画質カラーレーザープリンタを使用するシステムですので、高品位なカラーコピーを実現します。
使用可能なスキャナとプリンタは次の通りです。

- スキャナ：EPSON ES-9000H
- プリンタ：EPSON LP-8500C、LP-8300C

簡単・素早くカラーコピー

操作パネルでコピーの操作をしますので、パソコンを使用してスキャナから原稿を取り込み、プリンタで印刷する場合に比べ、はるかに簡単・素早くカラーコピーができます。

さまざまなコピー設定

拡大/縮小などの設定の他、原稿タイプに合わせてのコピー設定や、両面コピー、色調の補正など、様々なコピー設定が可能です。
また、定形紙（A3、A4、B4、B5）の用紙サイズを検知し、出力用紙を自動選択したり、用紙サイズに合わせた自動倍率設定もできます。

ポイント

両面コピー（片面→両面、両面→両面）は、プリンタにオプションの両面印刷ユニットが装着されている場合のみ可能です。

応用コピー

通常のコピーの他、次のコピーが可能です。

- 割り付けコピー☞本書「割り付けコピー」P.85
- とじしろコピー☞本書「とじしろコピー」P.91
- 丁合いコピー☞本書「丁合いコピー」P.95
- ページ連写コピー☞本書「ページ連写コピー」P.97
- ブック影消しコピー☞本書「ブック影消しコピー」P.102

丁合いコピーは、プリンタにオプションのハードディスクユニットが装着されている場合のみ可能です。

スキャナ、プリンタがコンピュータなどからも使用可能

CS-6500S に接続しているスキャナやプリンタを、コンピュータなどの装置やネットワークに接続する場合、CS-6500S との接続を外す必要はありません。

- **CS-6500Sとコンピュータなどから、同時にスキャナやプリンタを使用することはできません。**
- **CS-6500Sとスキャナは、スキャナのオプションスロットに専用のスキャナ用I/Fカードを取り付けて接続します。このため、スキャナのオプションスロットを使用する装置は接続できません。**

ネットワークスキャニングボックス（ESNSB1）が取り付け可能

ネットワークスキャニングボックスは、スキャナ用のオプションです。
CS-6500S の操作パネルには、ネットワークスキャニングボックスの収納スペースがありますのですっきりした設置が可能です。

- **CS-6500S と接続した状態で、スキャナをネットワーク上で使用する場合は、「Epson Server Scan Agent」、「Epson Twain HS Network」の組み合わせのみ使用可能です。**
- **ネットワークスキャニングボックスは、スキャナをネットワーク上のコンピュータから使用するためのオプションです。CS-6500Sをネットワーク上で使用するものではありません。**

プリンタ、スキャナのコンピュータなどへの接続

CS-6500S に接続しているスキャナやプリンタは、次のインターフェイスでコンピュータなどの装置やネットワークに接続できます。この場合、CS-6500S との接続を外す必要はありません。
ただし、CS-6500S とコンピュータなどから、スキャナやプリンタを同時に使用することはできません。
スキャナやプリンタを CS-6500S 以外の装置にも接続している場合、コピーの実行や、コンピュータなどからのスキャナやプリンタの操作を行う前に、スキャナやプリンタの動作が完了していることを確認してください。

●スキャナ

- 標準装備の SCSI コネクタ

●プリンタ

- 標準装備のネットワーク I/F（LP-8500C のみ）
- 標準装備のパラレル I/F
- オプションスロットに装着した I/F カード

- **スキャナにもオプションスロットが設けられていますが、CS-6500Sのスキャナ用 I/F カードを装着するため、CS-6500S 接続時は、スキャナのオプションスロットは使用できません。**
- **プリンタにオプションのHDDを装着している場合、コピー処理の実行中にネットワークインターフェイスからプリンタに送られたデータは HDD にスプール（一時的な保管）されます。**
  また、ネットワークインターフェイスで受信したデータを印刷中にコピー処理が実行された場合、コピーのデータも HDD にスプールされます。
  スプールされたデータは、印刷が終了すると続いて印刷されます。
- **上記のインターフェイスに接続できるコンピュータやオプション、および接続に必要なケーブルについては、プリンタおよびスキャナに同梱の取扱説明書を参照してください。**

コピー設定の組み合わせについて

CS-6500S には、さまざまなコピー設定があります。
これらの設定は、同時に設定することができないものもあります。
設定の組み合わせを下表に示します。

	自動用紙サイズ選択	自動倍率設定	定型縮小/拡大	ズーム（任意倍率）	フィットページ	ページ連写	丁合い	割り付け	とじしろ	ブック影消し	両面コピー
自動用紙サイズ選択	–	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○
自動倍率設定	×	–	×	×	○	×	○	×	○	○	○
定型縮小/拡大	○	×	–	×	○	×	○	×	○	○	○
ズーム（任意倍率）	×	×	×	–	×	×	○	×	○	○	○
フィットページ	○	○	○	×	–	○	○	○	○	○	○
ページ連写	×	×	×	×	○	–	○	×	○	○	○
丁合い	○	○	○	○	○	○	–	○	○	○	○
割り付け	×	×	×	×	○	×	○	–	○	○	○
とじしろ	○	○	○	○	○	○	○	○	–	○	○
ブック影消し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	○
両面コピー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–

上記の詳しい機能については、次の箇所を参照してください。

- 自動用紙サイズ選択、自動倍率設定、定型縮小/拡大、ズーム（任意倍率）、フィットページ、両面コピー：
  ☞本書「コピー設定の仕方」P.53
- 割り付け、とじしろ、丁合い、ページ連写、ブック影消し：
  ☞本書「応用コピーの設定」P.83

● ページ連写/割り付けについて

ページ連写は1枚の原稿を2枚に分けてコピーする機能です。割り付けは2枚の原稿を1枚にまとめてコピーする機能です。このように、ページ連写と割り付けは相反する機能のため、同時に設定することはできません。

● ページ連写/割り付けと、コピー倍率について

ページ連写、割り付けは、原稿サイズと出力用紙を指定することで、自動的に拡大/縮小が設定されます。このため、コピー倍率を変えることはできません。

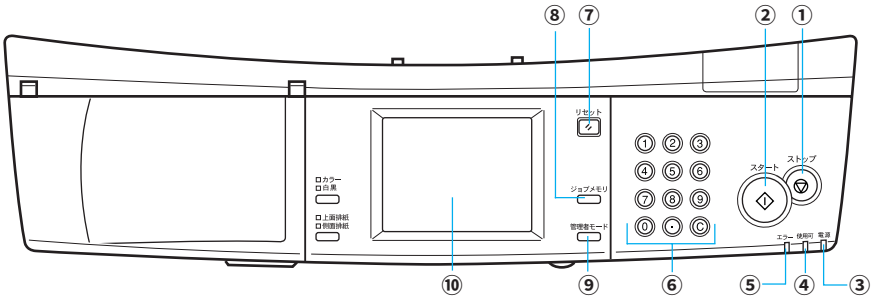
● 両面コピーについて

片面→両面コピー、両面→両面コピーを行うには、プリンタ用オプションの両面印刷ユニットが必要になります。

各部の名称とはたらき

本機の各部の名称とその機能を示します。

操作パネル（スイッチ・ランプ）



① **ストップ** ボタン
本ボタンは、次の場合に押します。
コピーを中止する場合
コピー実行中にエラーやワーニングが発生した場合

② **スタート** ボタン
コピーを実行します。

③ 電源ランプ（緑）
電源がオンのときに点灯します。

④ 使用可ランプ（緑）
点灯：コピー可能な状態です。
点滅：コピー処理の実行中です。

⑤ エラーランプ（赤）
エラー発生時、点灯します。

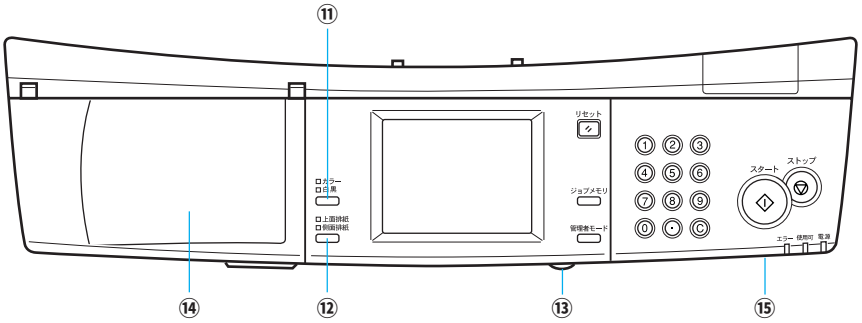
⑥ テンキー
コピー枚数やコピー倍率、および各種コピー設定で、数値を指定する場合に押します。

⑦ **リセット** ボタン
コピー設定の値を、標準値（電源オン時の値）に戻すときに押します。

⑧ **ジョブメモリ** ボタン
本ボタンを押すと、液晶ディスプレイの表示がメモリ設定基本画面に変わります。
現在のコピー設定をメモリに登録する場合、登録した設定値を呼び出す場合、削除する場合に、本ボタンを押します。

⑨ **管理者モード** ボタン
本ボタンを押すと、液晶ディスプレイの表示が管理者モード画面に変わります。
コピーシステムの管理者の方が、基本的な設定を変更する場合に押します。

⑩ 液晶ディスプレイ
電源がオンになるとコピー基本画面が表示され、現在のコピー設定を確認できます。
画面に表示される各種のボタンを押すと、コピー設定を変更できます（タッチパネル方式）。



⑪ **コピー色選択ボタン**

カラーコピー / 白黒コピーを選択します。本ボタンを押す度に、カラー LED と白黒 LED の点灯が切り替わります。

⑫ **排紙トレイ選択ボタン**

コピーした用紙の排紙先（プリンタの排紙装置）を選択します。
本ボタンを押す度に上面排紙LEDと側面排紙 LED の点灯が切り替わります。
「上面排紙」のときは、プリンタのフェイスダウントレイに排紙されます。
「側面排紙」のときは、プリンタのフェイスアップトレイに排紙されます。

⑬ **輝度調整ボリューム**

液晶ディスプレイの明るさを調整する場合に回します（図では、実際よりも大きく描いています）。

⑭ **ネットワークスキャニングボックス収納部**

スキャナ用オプションのネットワークスキャニングボックスを取り付けるためのスペースです。小物入れなどとしても使用できます。

⑮ **センサー**

操作パネルの正面に人が近づくとそれを感知して、プリンタとスキャナの節電状態を解除します（スタンバイ制御機能）。

本文中のマークについて

マークが付いている文章は次のように重要な内容を記載しています。必ずお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、装置本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。

お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）を記載しています。

用語（＊1）　**分かりにくい用語の説明を、欄外に記載している事を示しています。**

☞　**関連した内容の参照ページを示しています。**

複製（コピー）上のご注意

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券をコピーすること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類をコピーすること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、官製はがきなどをコピーすること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類をコピーすること

次のものは、コピーするにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

書籍、絵画、版画、図面、写真などの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

※本機設置にあたり、管理者は使用者が上記行為を行わないよう管理する必要があります。

MEMO

コピーの仕方(基本編)

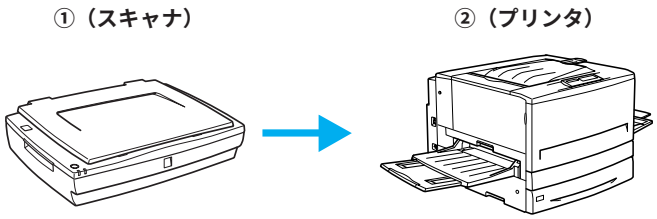
ここでは、簡単なコピーの仕方について説明しています。

- 電源の投入 P.20
- 原稿の向きとコピーの向き P.24
- スキャナへの原稿のセット P.30
- プリンタへの用紙のセット P.34
- 給紙装置の選択方法 P.45
- 用紙の排紙先について P.48
- コピー枚数の設定 P.49
- コピーの実行 P.50

電源の投入

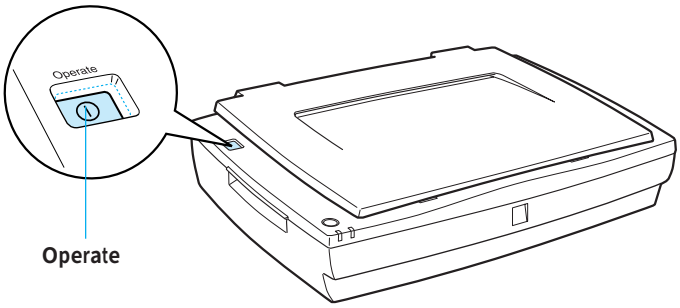
電源を投入して、コピーシステムを利用可能な状態にします。
プリンタの電源をオンにすると、CS-6500S の電源もオンになります。
電源がオンになると、CS-6500S はプリンタとスキャナの接続や、それぞれの状態を確認しますので、スキャナの電源をオンにしてからプリンタの電源をオンにしてください。

電源投入の順序



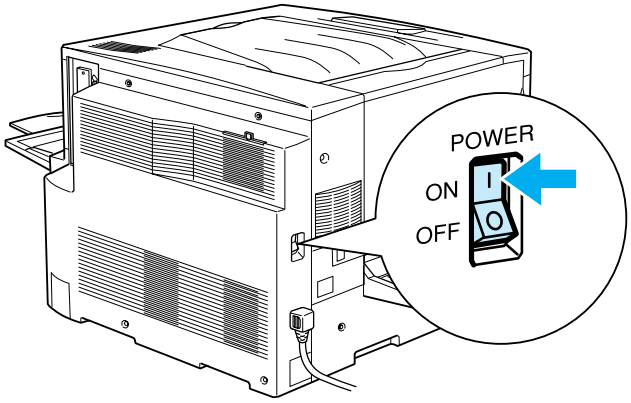
電源の投入

1 **スキャナの Operate スイッチを押して電源をオンにします。**



2 **プリンタの電源スイッチを押して電源をオン（｜）にします。**

プリンタの電源をオンにすると、CS-6500S の電源もオンになります。

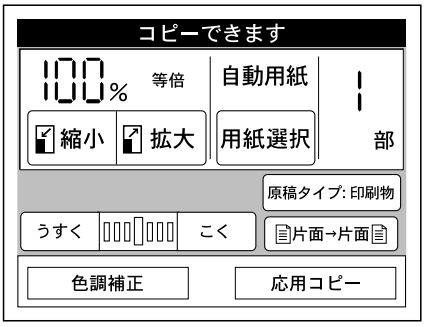


❸ CS-6500Sがスキャナとプリンタのチェックを始めます。操作パネルに次の画面が表示されます。

スキャナ用オプションのネットワークスキャニングボックスを接続している場合など、チェックに時間がかかる場合、次の画面が表示されます。チェックが完了すると、［コピー基本］画面が表示されます。

しばらくして、操作パネルに［コピー基本］画面が表示されたら、コピー可能状態になります。

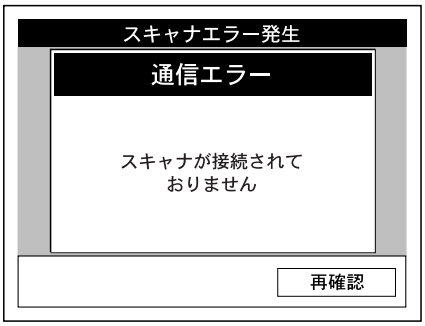
［コピー基本］画面



エラーメッセージが表示された場合は、次ページを参照して対処してください。

電源オン時にエラーになった場合

プリンタまたはスキャナの接続に問題がある場合、プリンタまたはスキャナの機種がCS-6500Sで使用できないものである場合、電源をオンにすると次のようなエラー画面が表示されます。



（表示されるエラーは、状況により異なります。）
上記の画面が表示された場合は、次の点を確認し、問題がある場合は必要な処置を行ってください。

- CS-6500Sが、プリンタやスキャナと正しく接続されているか。
- スキャナの電源がオンになっているか。
- スキャナやプリンタ側でエラーが発生していないか。
- スキャナやプリンタが、CS-6500Sに接続可能な機種かどうか。

確認の結果、スキャナ、プリンタ側に問題がない場合、画面上の 再確認 ボタンを押してください。
再確認 ボタンを押すと、CS-6500Sがスキャナ、プリンタのチェックを行います。

電源をオフにするときのご注意

コピー実行中や、電源をオンにしてから［コピー基本］画面が表示されるまでの間は、各機器の電源をオフにしないでください。動作不良や故障の原因になります。

スタンバイ制御（節電機能）

本機を使用しない時間が10分を経過すると、操作パネルのバックライトが消灯し、節電状態になります。
節電状態のときに、操作パネルの正面に人などが近づいた場合に内蔵のセンサが感知して、本機は節電モードを解除します。同時にプリンタが節電状態になっている場合は、プリンタとスキャナの節電状態も解除しウォーミングアップを開始します。ウォーミングアップを操作パネルの設定開始前に行うため、待ち時間を短縮することができます。

ポイント

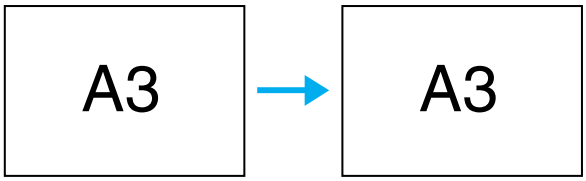
プリンタ側で節電機能を無効に設定している場合、プリンタに対するスタンバイ制御は行われません。
プリンタが節電状態に入るまでの時間は、初期状態では 60 分に設定されています。この時間は、プリンタの操作パネルの設定で変更できます。

スタンバイ制御の有効 / 無効は、CS-6500S の 管理者モード スイッチを押して変更できます。
☞本書「スタンバイ制御」P.110

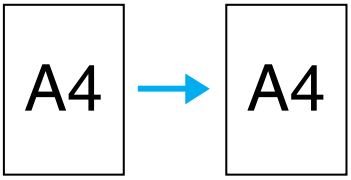
原稿の向きとコピーの向き

ここでは、スキャナへの原稿のセット方向と、プリンタへの用紙のセット方向について説明します。

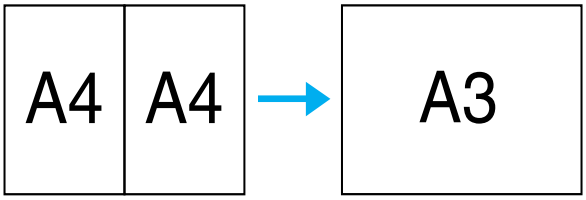
■ A3（A3W（ノビ）、B4）を等倍コピーする場合 ☞P.25



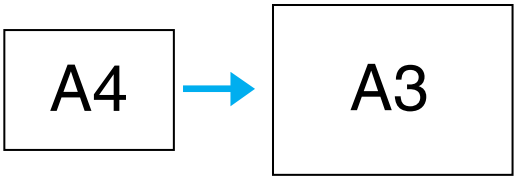
■ A4（B5）を等倍コピーする場合 ☞P.26



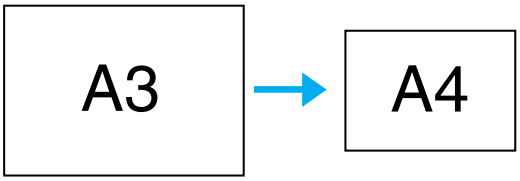
■ A4（B5）2枚を A3（B4）1枚にコピーする場合 ☞P.27



■ A4（B5）を A3（B4）に拡大コピーする場合 ☞P.28



■ A3（B4）を A4（B5）に縮小コピーする場合 ☞P.29

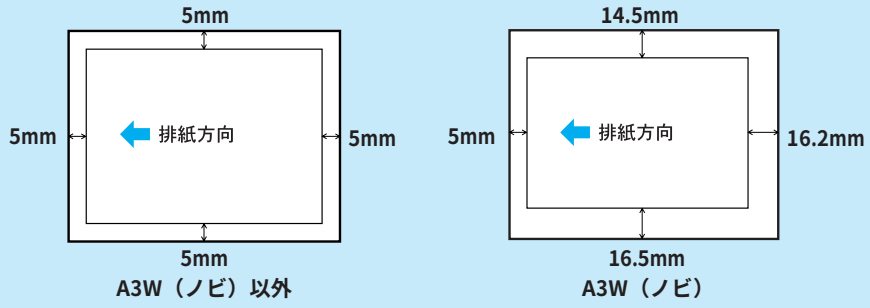


ポイント

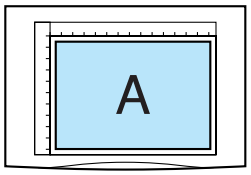
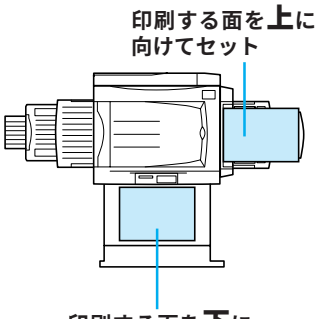
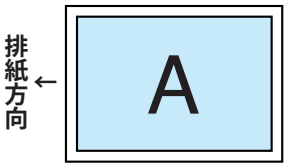
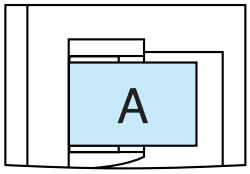
原稿と用紙のセット方向が正しくない場合は、意図したコピー結果が得られないことがあります。

ポイント

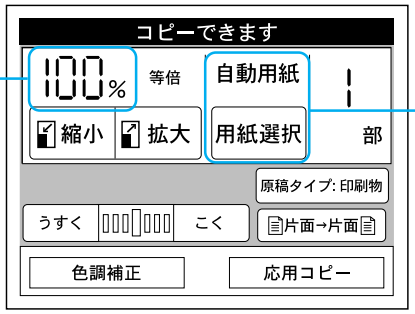
プリンタには上下左右に印刷できない領域（余白）があります。



A3（A3W（ノビ）、B4）を等倍コピーする場合

スキャナへの原稿のセット方向		プリンタへの用紙のセット方向	コピーの向き
原稿台			
ADF			

操作パネルの表示



100%が表示されていることを確認します
100%に設定する場合は**等倍**ボタンを押します

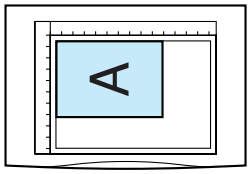
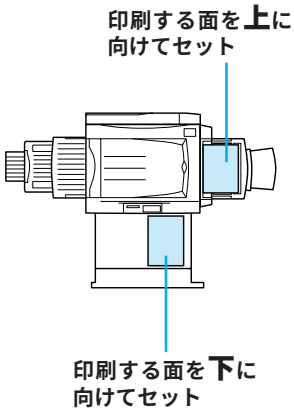
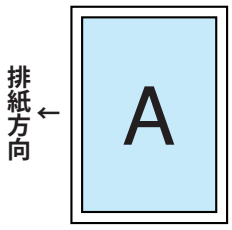
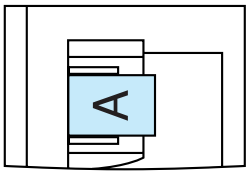
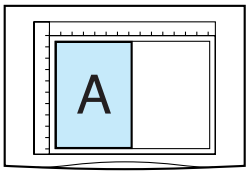
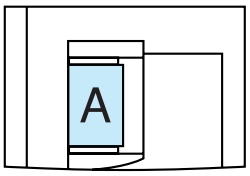
［自動用紙］が表示されていることを確認します
［自動用紙］を選択する場合は**用紙選択**ボタンを押します

ポイント

スキャナは、A3W（ノビ）の原稿全体を読み取ることはできません。スキャナの取り込み範囲については、以下のページを参照してください。

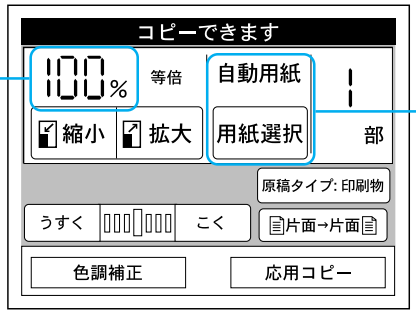
☞本書「スキャナへの原稿のセット」P.30

A4（B5）を等倍コピーする場合

スキャナへの原稿のセット方向			プリンタへの用紙のセット方向	コピーの向き
横長の原稿の場合	原稿台			
	ADF			
縦長の原稿の場合	原稿台			
	ADF			

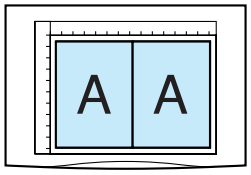
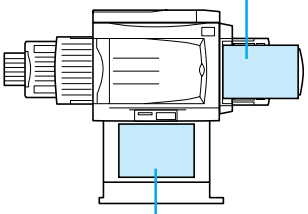
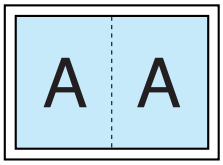
操作パネルの表示

100%が表示されていることを確認します
100%に設定する場合は[等倍]ボタンを押します



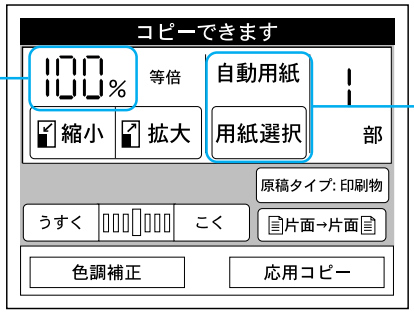
[自動用紙]が表示されていることを確認します
[自動用紙]を選択する場合は[用紙選択]ボタンを押します

A4（B5）2 枚を A3（B4）1 枚にコピーする場合

スキャナへの原稿のセット方向	プリンタへの用紙のセット方向	コピーの向き
 原稿台（この場合、ADF は使えません）		排紙方向 ← 

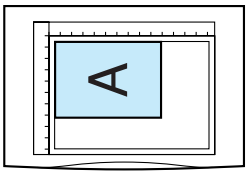
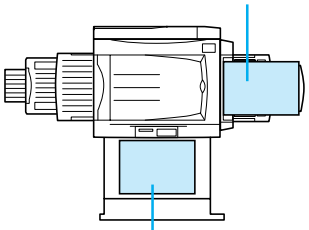
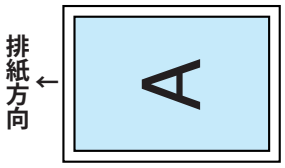
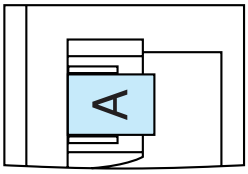
操作パネルの表示

100% が表示されていることを確認します
100% に設定する場合は 等倍 ボタンを押します

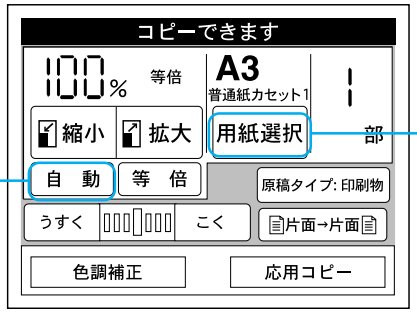


［自動用紙］が表示されていることを確認します
［自動用紙］を選択する場合は 用紙選択 ボタンを押します

A4（B5）をA3（B4）に拡大コピーする場合

スキャナへの原稿のセット方向	プリンタへの用紙のセット方向	コピーの向き
原稿台 		
ADF 		

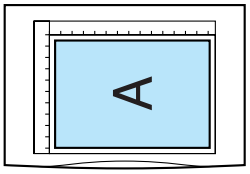
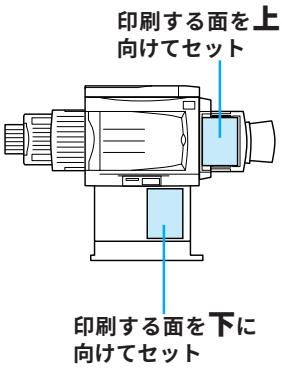
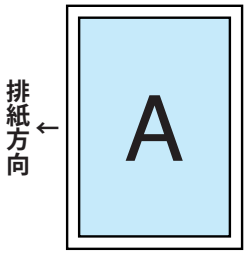
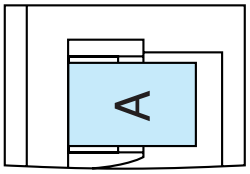
操作パネルの表示



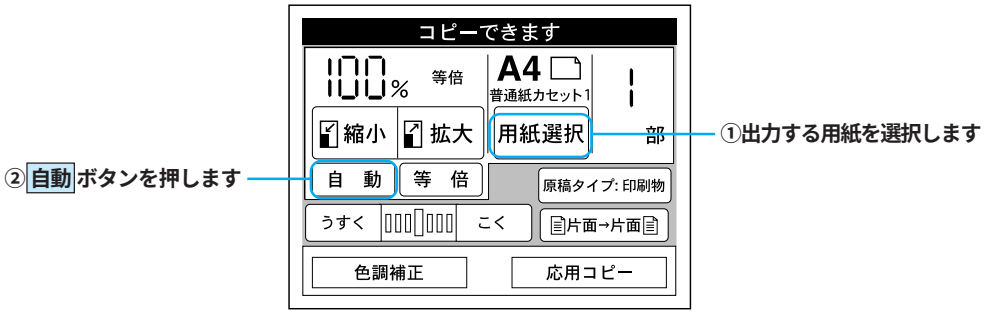
②自動ボタンを押します

①出力する用紙を選択します

A3（B4）をA4（B5）に縮小コピーする場合

スキャナへの原稿のセット方向		プリンタへの用紙のセット方向	コピーの向き
原稿台			
ADF			

操作パネルの表示



スキャナへの原稿のセット

ここでは、スキャナへの原稿のセット手順について説明します。A3、B4、A4、B5 サイズの原稿のみスキャナが原稿サイズを自動的に検知します。

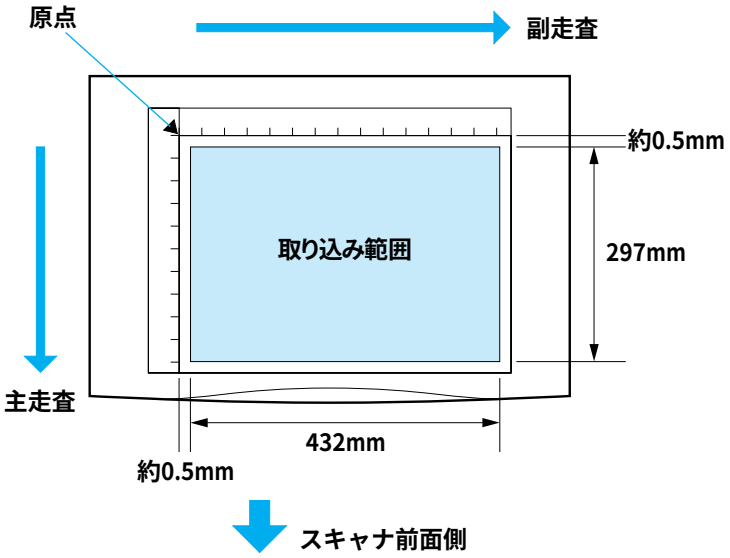
■原稿台にセットする場合 ☞以下の説明をお読みください。

■オプションのオートドキュメントフィーダ（ADF）にセットする場合 ☞P.32

原稿台へのセット

セットできるサイズ

最大 A3 サイズまでの大きさの原稿を取り込むことができます。



主走査：センサで読み取る画素の 1 ラインごとの読み取り方向
副走査：キャリッジの移動による読み取り方向

ポイント

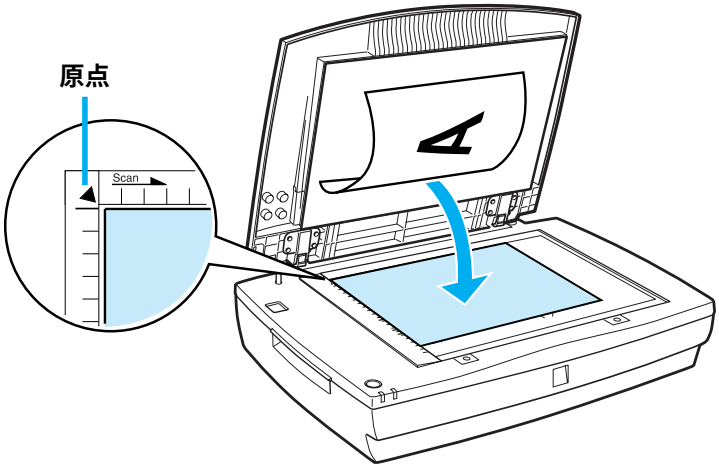
●縦横のスケールには、原稿サイズのおおよその目安が示してあります。
- B5　（182mm × 257mm）
- LTR　（216mm × 279mm：アメリカで使われるレターサイズ）
- A4　（210mm × 297mm）
- A3　（297mm × 420mm）

●図面やイラストなどの直線の多い原稿をコピーするときは、線の向きをスキャナの主走査または副走査にそろえるようにして原稿をセットすると、線のギザギザが少なくなります。

●スキャナで取り込める原稿の条件や、原稿台よりも大きい原稿、本などの厚い原稿のセット方法については、スキャナに同梱のユーザーズガイド「使用できる原稿」に記載されていますので、併せてご覧ください。

1 原稿カバーを開きます。原稿のコピーする面を下に向け、原稿台にセットします。

原点を合わせてまっすぐにセットしてください。

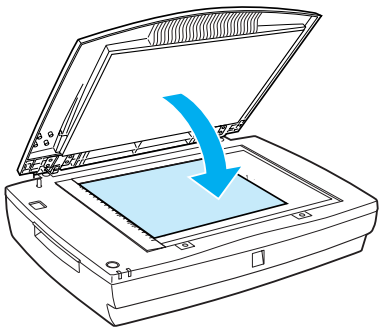


ポイント

別冊の「原稿の向きとコピーの向き（早見表 1）」を参考に、原稿のセット方向を決めてください。

2 原稿が動かないよう注意しながら、原稿カバーを静かに閉じます。

原稿カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。原稿が動くと、画像が斜めにコピーされてしまいます。



以上で原稿のセットは終了です。この後は、プリンタに用紙をセットします。
☞本書「プリンタへの用紙のセット」P.34

ADF（型番：ESA3ADF2）へのセット

セットできる原稿

ADF（オートドキュメントフィーダ）にセットできる用紙は以下の通りです。
写真原稿など特に貴重な原稿は、カールなどで原稿を傷めるおそれがありますので使用しないでください。

ポイント

- ADFは原稿を連続してコピーすることができる装置です。
- ES-9000Hで使用できるADFは型番：ESA3ADF2のみです。

サイズ （違うサイズの用紙を一緒にセットしないでください。）	官製ハガキ（100 × 148mm） A6　（105 × 148mm） A5　（148 × 210mm） B5　（182 × 257mm） A4　（210 × 297mm） B4　（257 × 364mm） A3　（297 × 420mm）
	LETTER　（216 × 279mm） LEGAL　（216 × 356mm） LEDGER　（280 × 432mm）
	不定形紙　幅　：148 ～ 297mm 長さ：100 ～ 432mm
セットできる枚数	100枚（80g/m²） （エッジガイドの目盛りを超えてセットしないこと）
紙質	上質紙、中質紙、インクジェットプリンタ専用紙（ファイン紙、スーパーファイン紙相当）、ボンド紙
紙厚	50 ～ 127g/m²

注 意

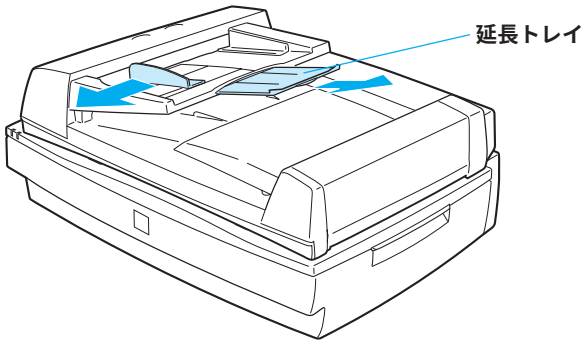
以下の用紙は、ADFでは使用しないでください。給紙不良、またADFの故障などの原因になります。

- 折り目、反り（カール）、しわ、破れのある用紙
  （原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください。）
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- 貼り合わせ、（切り貼り）、ラベル紙（裏面糊付）、ルーズリーフの多穴原稿
- 綴じのある用紙（製本物）
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 透明紙（OHPシートなど）、半透明紙、光沢紙

※カタログ類は、正常に給紙されない場合があります。

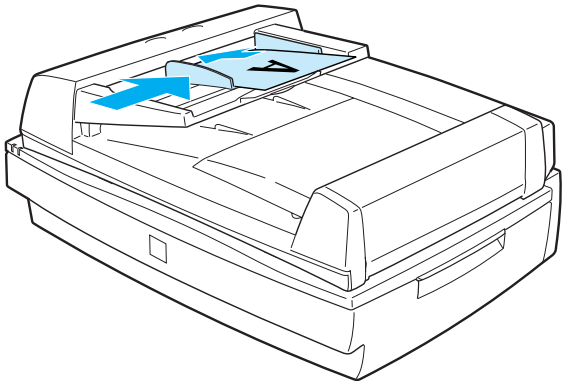
1 ADFのエッジガイドを、セットする原稿サイズの目盛りの位置まで広げます。

B4以上の原稿をセットするときは、延長トレイを引き出します。



2 原稿のコピーする面を上にして、ADFの目盛りに合わせて奥に突き当たるまで差し込みます。

原稿を差し込んだら、エッジガイドを原稿にぴったりと合わせます。



ポイント

別冊の「原稿の向きとコピーの向き（早見表1）」を参考に、原稿のセット方向を決めてください。

以上で原稿のセットは完了です。この後は、プリンタに用紙をセットします。
☞次のページへ進みます。

プリンタへの用紙のセット

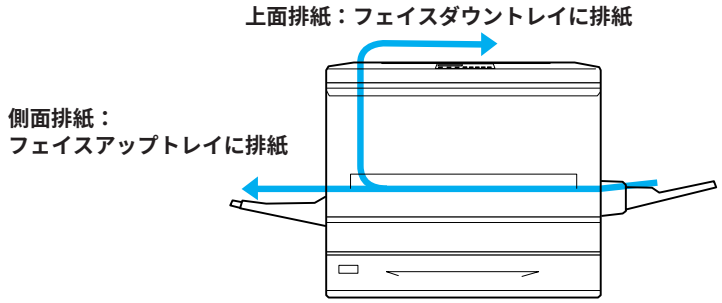
ここでは、プリンタに用紙をセットする手順について説明します。

給紙経路とセットできる用紙

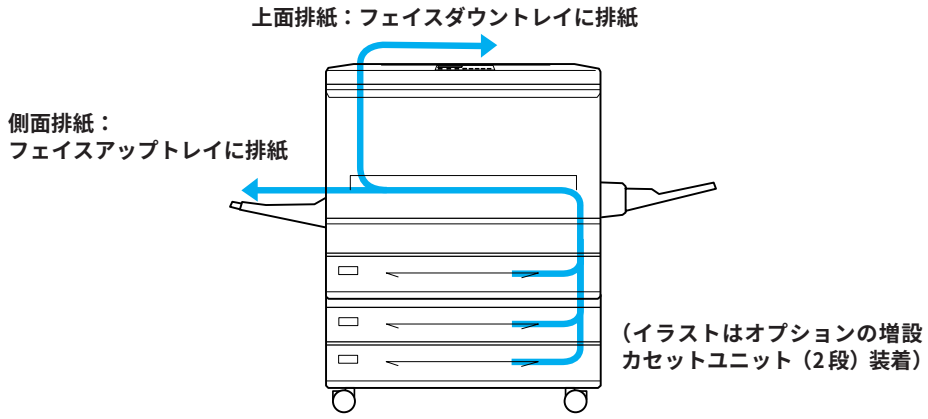
給紙経路

プリンタ内部の給紙経路は、給紙装置/排紙装置の組み合わせで次のようになります。

●用紙トレイから給紙する場合



●用紙カセットから給紙する場合



- ハガキ、厚紙、OHPシートなどの特殊紙は用紙トレイからのみ給紙できます。（コート紙を除く）
- B5サイズより小さい用紙やハガキ、厚紙、OHPシートは、上面排紙（フェイスダウントレイへの排紙）はできません。自動的に側面排紙（フェイスアップトレイへの排紙）になります。

給紙装置と対応用紙

ポイント

プリンタのユーザーズガイド「用紙について」も参照してください。ただし、プリンタ単体で使用時とコピーシステムとして使用時では、使用できる用紙が一部異なりますのでご注意ください。

給紙装置		用紙種類		用紙サイズ	紙　厚	容　量
標準装備の給紙装置	用紙トレイ	普通紙 EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A3W（ノビ）*1, A3, A4, B4, B5	64 ～ 105g/m²	150 枚 (または 総厚 16mm)
		特殊紙	官製ハガキ	100mm x 148mm	190 g/m²	75 枚
			厚紙	ハガキ大～ A3	106 ～ 220g/m²	75 枚
			EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙	A4, A3, A3W（ノビ）	105g/m²	150 枚 （または 総厚 16mm）
			EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	A4	140g/m²	75 枚
	用紙カセット	普通紙 EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A3 , A4 , B4 , B5	64 ～ 105g/m²	250 枚 （または 総厚 26mm）
		EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙		A4, A3	105g/m²	250 枚 （または 総厚 26mm）
オプション	用紙カセット (A3W(ノビ)用) LP85CYC1W*2	普通紙 EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A3W（ノビ）*1	64 ～ 105g/m²	250 枚 （または 総厚 26mm）
		EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙		A3W（ノビ）*1	105g/m²	
	増設カセットユニット 2段LP85CWC2	普通紙 EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙		A4 , B4 , B5 , A3	64 ～ 105g/m²	500 枚（または 総厚 53mm） × 2 段
	1段LP85CWC1	EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙		A4, A3	105g/m²	× 1 段

*1 本機で使用可能な A3W（ノビ）サイズは、328mm x 453mm です。A3 ノビサイズ（329mm x 483mm）とはサイズが異なります。

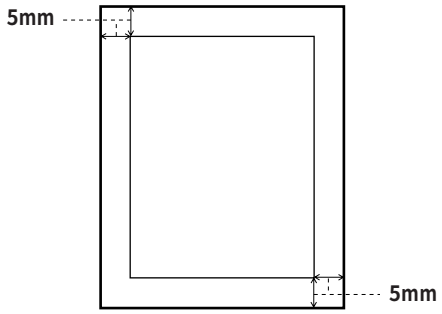
*2 用紙カセット（A3W（ノビ））：LP85CYC1Wは、プリンタに標準装備の用紙カセットと差し替えて使用します。増設カセットユニットには装着できません。

注 意

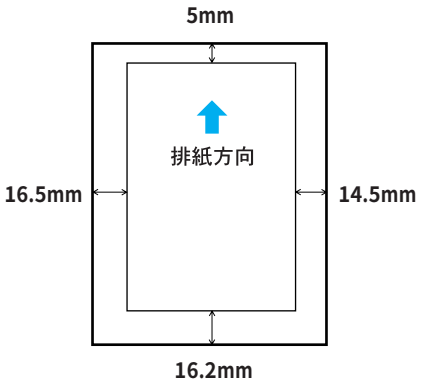
仕様外の用紙を使用すると、プリンタ本体の故障および紙詰まりの原因となります。プリンタで使用できない用紙についての詳細は、プリンタのユーザーズガイド「用紙について」を参照してください。
とくに、インクジェットプリンタ用専用紙や裏紙（本製品で使用可能なプリンタ以外のプリンタで一度印刷された用紙）は絶対に使用しないでください。

印刷できる領域

プリンタで印刷できる領域は、用紙の各端面から 5mm を除く範囲です。



A3W（ノビ）以外



A3W（ノビ）

紙面いっぱいに印刷された原稿を同じサイズの用紙にコピーするときに、100%（等倍）のまま印刷すると、上記領域外の部分が印刷されません。この場合は、以下のように対処してください。

- 元の原稿の大きさを変えたくない場合
  コピーする用紙サイズを、原稿よりも一回り大きいサイズにしてください。（原稿が B5 サイズの場合は A4 サイズ紙にコピーするなど）
- 元の原稿の大きさを多少縮小してもよい場合
  原稿と同サイズの用紙をセットし、CS-6500S の操作パネルで「フィットページ ON」に設定してコピーしてください。
  ☞本書「フィットページ機能について」P.62

用紙カセットへの用紙のセット

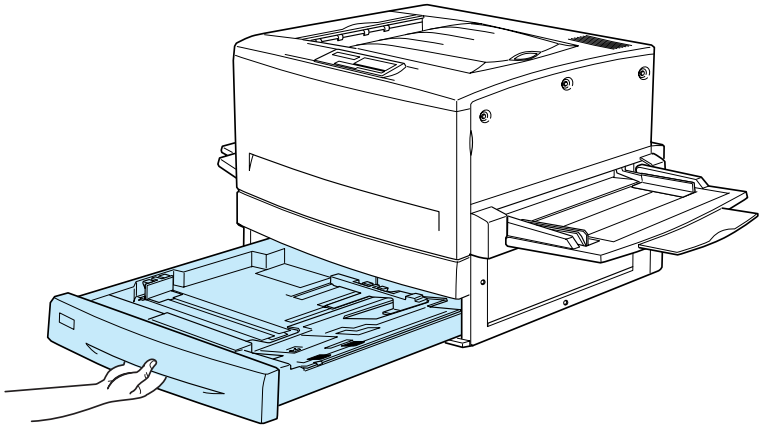
用紙カセットにセットできる用紙は次の通りです。

用紙種類	普通紙 /EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙 / EPSON 製カラーレーザープリンタ用コート紙
用紙サイズ	A4、A3、B5、B4、A3W（ノビ）*

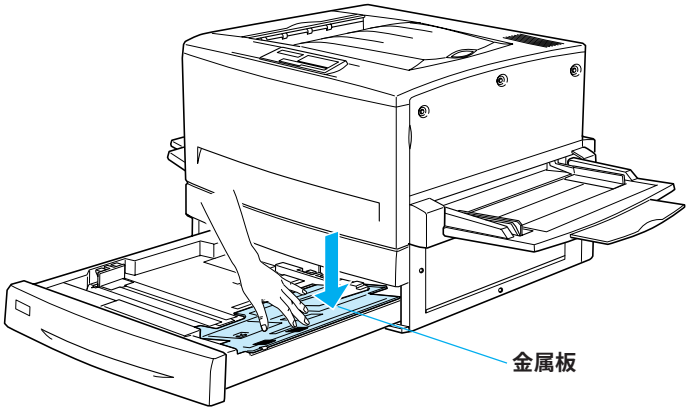
ポイント

*** オプションの用紙カセット（型番：LP85CYC1W）をプリンタに標準装備の用紙カセットと差し替えて使用する場合に限り、このオプションの用紙カセットにA3W（ノビ）サイズの用紙をセットすることができます。**

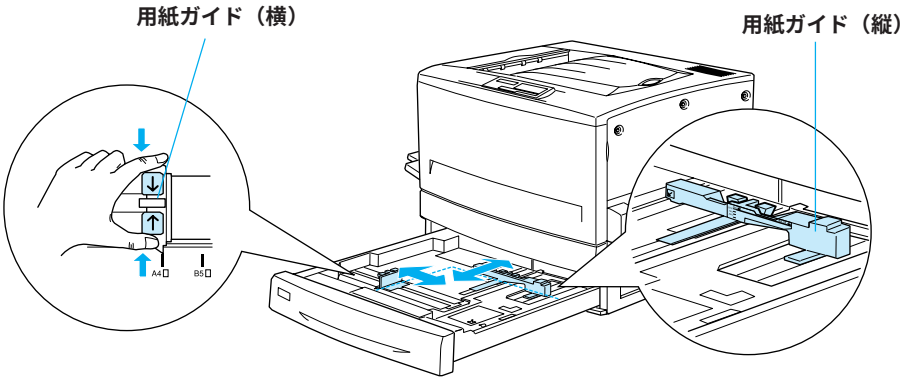
1 **用紙カセットを手前に止まるまで引き出します。**



2 **用紙カセット内部の金属板をカチッと音がして固定されるまで押し下げます。**

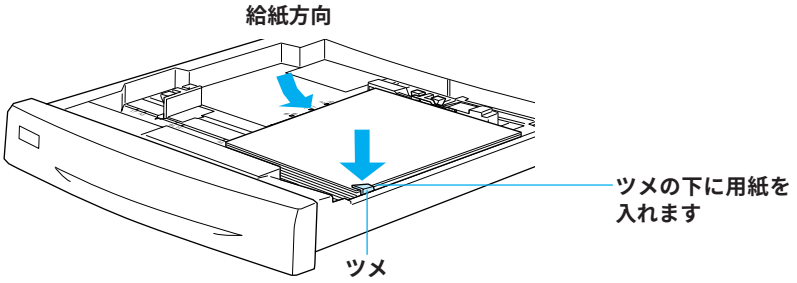


3 用紙ガイド（縦）/（横）を、用紙がセットできるようにずらします。



4 用紙をセットします。

用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下に向けて、用紙カセットの右側のツメの下に差し込むようにしてセットします。
このとき、用紙カセット右側のツメの上に用紙が乗り上げないように注意してください。



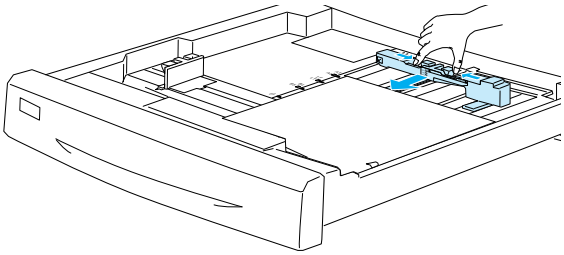
ポイント

用紙のセット時には、次の点に注意してください。

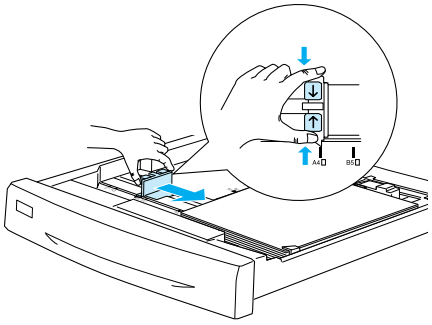
- **折り目やシワの入った用紙は取り除いてください。**
- **最大セット枚数以上の用紙をセットしないでください。**
- **用紙の端が右側のツメの上に乗らないようにセットしてください。**
- **A4サイズ以下の用紙は給紙方向に対して横長の状態でセットします。A4サイズより大きい用紙は給紙方向に対して縦長の状態でセットします。**

5 用紙ガイド（縦）を用紙の幅に合わせてずらします。

用紙ガイド（縦）が用紙の側面に軽く当たる状態にしてください。



6 用紙ガイド（横）をずらして、用紙カセット底面の用紙サイズ目盛りに合わせます。



ポイント

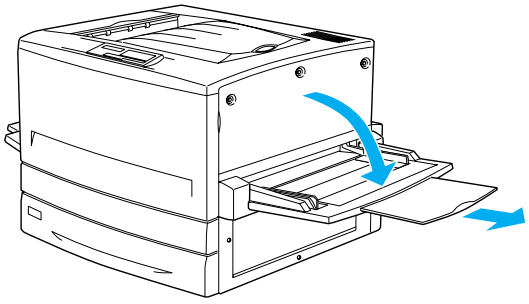
用紙ガイド（横）は、必ず用紙カセット底面の用紙サイズ目盛りに合わせてください。用紙ガイド（横）は、用紙カセットの用紙サイズをプリンタとCS-6500Sに知らせる働きがあります。用紙ガイド（横）が用紙サイズ目盛りに合っていない場合、プリンタとCS-6500Sは用紙サイズを正しく把握できないためコピーが行えません。

7 用紙カセットをプリンタ側に押し込みます。

以上で用紙カセットへの用紙のセットは終了です。

用紙トレイへの用紙のセット

1 **セットする用紙のサイズに応じて、用紙トレイの延長部を引き出します。**

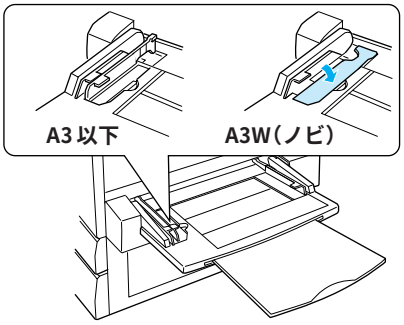


2 **用紙ガイド（左）を確認します。**

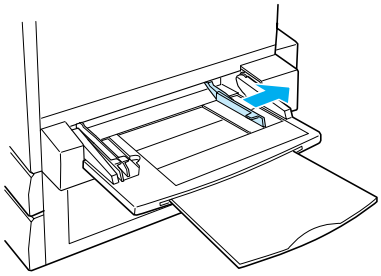
A3W（ノビ）のサイズの用紙の場合、用紙ガイド（左）を倒します。
A3W（ノビ）以外の用紙の場合、用紙ガイド（左）は起こした状態で使用します。

ポイント

用紙ガイド（左）を倒した状態で A3W（ノビ）以外の用紙をセットすると、印刷位置がずれます。



3 **用紙ガイド（右）を、用紙のサイズより広くなるようにずらします。**



4

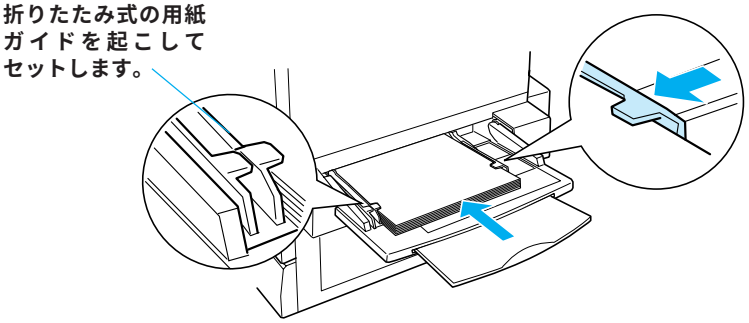
用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上に向け、左側面を用紙ガイド（左）に沿わせて用紙の束を用紙トレイに差し込み、用紙ガイド（右）を用紙の端に合わせてずらします。

このとき、用紙ガイドの上に用紙が乗り上げないように注意してください。
用紙ガイド（右）は、用紙の端に軽く当たる状態にしてください。

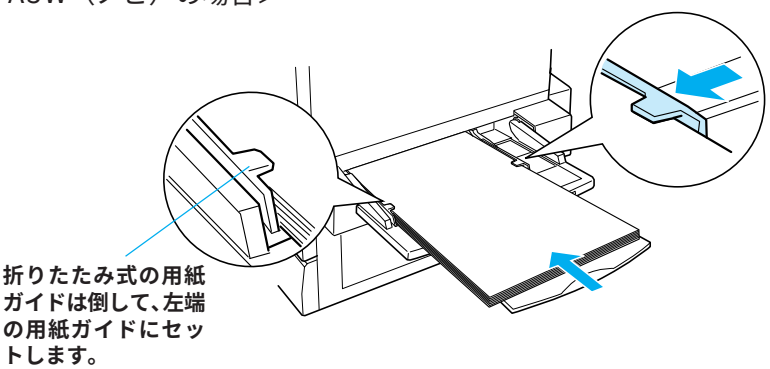
ポイント

用紙のセット時には、次の点に注意してください。
- **折り目やシワの入った用紙は取り除いてください。**
- **最大セット枚数以上の用紙をセットしないでください。**
- **用紙の端が左右のツメの上に乗らないようにセットしてください。**
- **A4サイズ以下の用紙（ハガキ除く）は給紙方向に対して横長の状態でセットします。**
- **A4サイズより大きい用紙は給紙方向に対して縦長の状態でセットします。**

＜A3W（ノビ）以外の場合＞



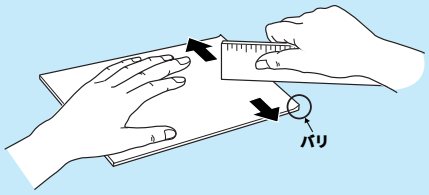
＜A3W（ノビ）の場合＞



ポイント

ハガキのセット方向については、プリンタのユーザーズガイド「用紙について」を参照してください。
ハガキによっては、裏面に「バリ」（断裁時のかえり）が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合には以下の方法に従って除去してください。

ハガキを水平なところに置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に１～２回こすり、「バリ」を除去します。



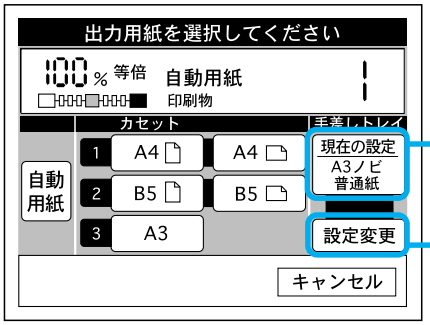
「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、用紙が給紙できなくなるおそれがあります。

5 セットした用紙のサイズと用紙の種類を設定します。

画面右側の「手差しトレイ」で、現在の設定 ボタンに表示されている用紙サイズと用紙の種類を確認します。

- 用紙サイズと用紙の種類に問題がない場合、現在の設定 ボタンを押すと、手差しトレイ（プリンタの用紙トレイ）が選択され、［コピー基本］画面に戻ります。
- 用紙サイズと用紙の種類がプリンタ側の設定と異なる場合、設定変更 ボタンを押して設定を変更します。
  手順①、②に進んでください。

●［用紙選択］画面



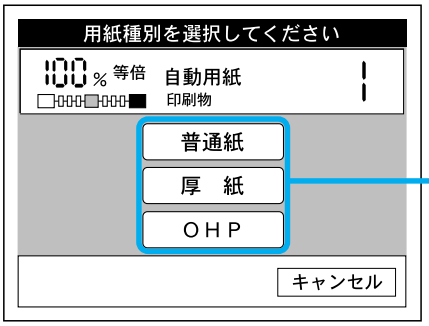
現在の設定のまま、手差しトレイ（用紙トレイ）を選ぶ場合に押します

手差しトレイ（用紙トレイ）の設定を変える場合に押します

ポイント

プリンタに標準装備の用紙カセットは、カセット 1 のみです。
カセット 2、3 は、プリンタにオプションの用紙カセットを装着している場合に表示されます。

① ［用紙選択］画面で、「手差しトレイ」の 設定変更 ボタンを押すと、［用紙種別選択］画面が表示されます。
用紙トレイにセットしている用紙種類のボタンを押してください。



いずれかを押します

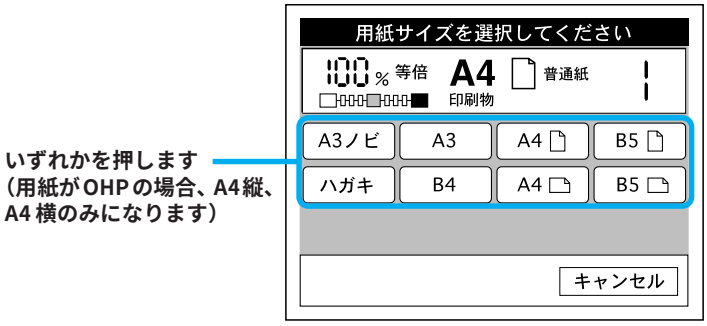
ポイント

EPSONカラーレーザープリンタ用コート紙の場合、普通紙 ボタンを押してください。

②［用紙種別選択］画面でボタンを押すと、［用紙サイズ選択］画面が表示されます。（用紙の種類にOHPを選択している場合、表示されるボタンはA4縦、A4横のみになります。）
用紙トレイにセットしている用紙サイズのボタンを押して選択します。

ポイント

A4、B5の用紙の場合、用紙の向きが縦長のボタンと横長のボタンが表示されます。
プリンタの用紙のセット方向は一定ですが、スキャナではA4サイズ以下の用紙を縦長/横長にセットできます。原稿を横長にセットしている場合、下図の画面で、用紙の向きが横長（□）のボタンを押してください。
スキャナで読み取ったデータを90度回転してプリンタに送ります。



給紙装置の選択方法

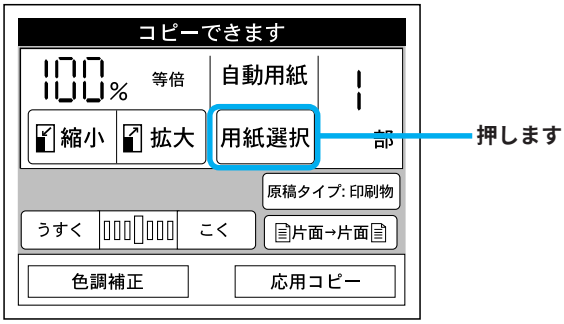
給紙装置の選択は、スキャナにセットされた原稿のサイズに合わせて給紙装置を自動的に選択するか、任意の給紙装置を手動で選択することができます。

自動的に給紙装置を選択する

スキャナにA3、A4、B4、B5サイズの原稿をセットした場合は［自動用紙］に設定しておくことで、スキャナにセットされた用紙サイズと同じサイズの用紙がセットされた給紙装置から自動的に給紙することができます。

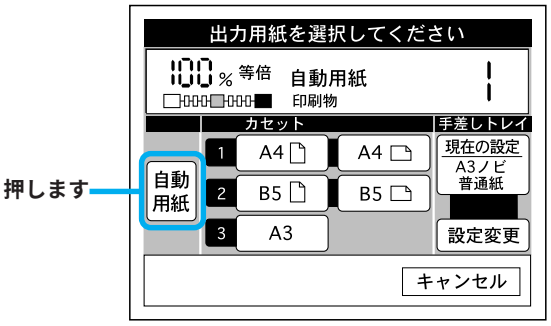
1 用紙選択 ボタンを押します。

［用紙選択］画面が表示されます。［自動用紙］と表示されている場合は、以降の操作は必要ありません。



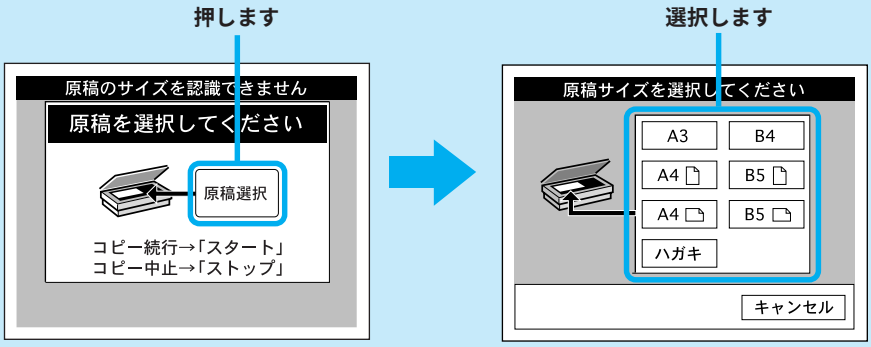
2 自動用紙 ボタンを押します。

［コピー基本］画面に戻ります。



ポイント

- A3、A4、B4、B5以外のサイズの原稿をセットして印刷を実行した場合または、すでに原稿がセットされている状態で電源をオンにした場合に、以下の画面が表示されます。原稿選択 ボタンを押してスキャナにセットした原稿のサイズを選択してください。



- A4またはB5サイズの場合は、原稿の向き（ ）が表示されます。スキャナにセットされている原稿の向きに合わせて（ ）どちらかを選択してください。

手動で給紙装置を選択する

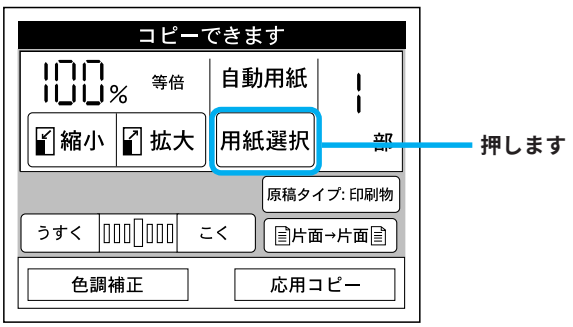
スキャナにA3、A4、B4、B5サイズ以外の原稿をセットした場合などは給紙装置を選択する必要があります。ここでは、コピー時の給紙装置の選択方法を説明します。

ポイント

定形紙（A3、A4、B4、B5）をスキャナにセットした場合は、［自動用紙］に設定しておくことで、スキャナにセットされた用紙サイズと同じサイズの用紙がセットされた給紙装置から自動的に給紙しますので選択の必要はありません。

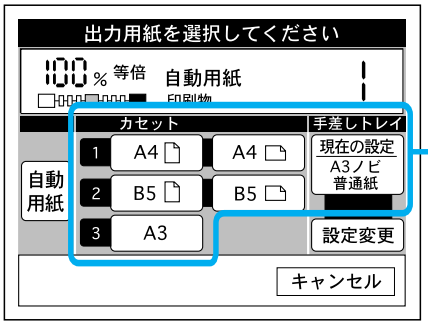
1 用紙選択 ボタンを押します。

［用紙選択］画面が表示されます。



2 出力したいサイズの用紙がセットされた給紙装置を押して選択します。

［コピー基本］画面に戻ります。



ポイント

- 用紙カセット2、3はプリンタにオプションの用紙カセットが装着されている場合に表示されます。
- A4またはB5サイズの場合は、原稿の向き（□ ▭）が表示されます。スキャナにセットされている原稿の向きに合わせて（□ ▭）どちらかを選択してください。

用紙の排紙先について

用紙と排紙トレイの関係

コピーした用紙の排紙先には、次の 2 つがあります。

- 上面排紙：フェイスダウントレイ（プリンタの上面）に排紙します。
- 側面排紙：フェイスアップトレイ（プリンタの側面）に排紙します。

フェイスアップトレイとフェイスダウントレイに排紙可能な用紙と、各トレイで保持できる用紙枚数は次の通りです。

排紙トレイ	排紙可能な用紙	保持できる用紙枚数
上面排紙 （フェイスダウントレイ）	B5 サイズ（182mm x 257mm）以上の普通紙。EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙 / コート紙	250 枚（紙厚 64 ～ 105g/m²）
側面排紙 （フェイスアップトレイ）	制限なし	150 枚（A4 未満、紙厚 64 ～ 105g/m²） 50 枚（A4 以上、紙厚 64 ～ 105g/m²）

ポイント

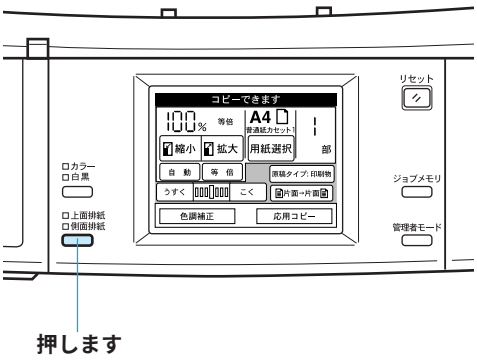
B5 サイズより小さい用紙やハガキ、厚紙、OHP シートは、フェイスダウントレイへの排紙はできません。常にフェイスアップトレイに排紙されます。

排紙トレイの切り替え

上面排紙 / 側面排紙は、操作パネル左側の 排紙トレイ選択 ボタンを押して切り替えます。

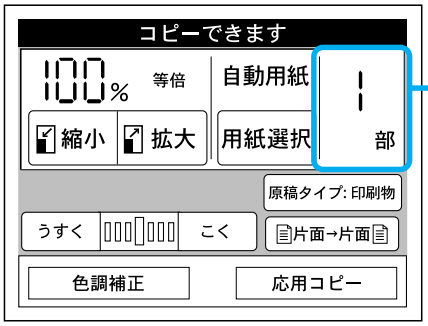
ボタンを押すたびに、上面排紙 LED と側面排紙 LED の点灯が切り替わります。

工場出荷時は、上面排紙に設定されています。



コピー枚数の設定

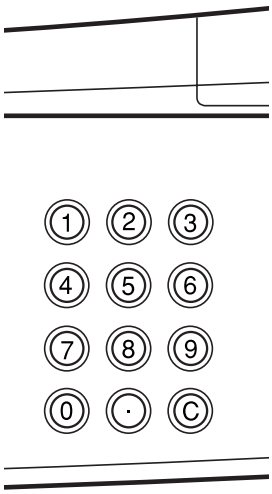
コピー枚数は、1枚から999枚まで設定することができます。初期設定は「1枚」です。



コピー枚数の値が表示されます

1 テンキーを使ってコピー枚数を入力します。

誤って入力した場合は、「C」キーで数値を「1」に戻すことができます。
「・」キーは無効です。



コピーの実行

ここでは、普通紙にコピーする場合を例に、一般的なコピーの手順について説明します。

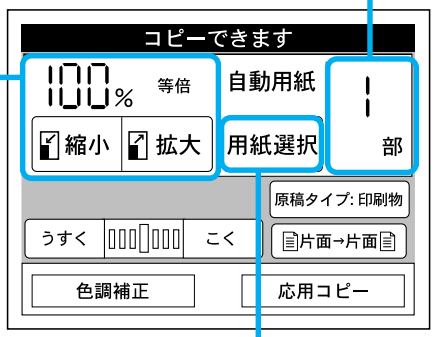
1 スキャナに原稿をセットし、プリンタに普通紙をセットします。

2 必要に応じて、各項目を設定します。

日常よく設定を変更する項目は、以下の通りです。

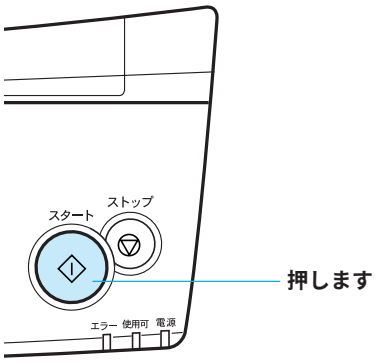
拡大 / 縮小の設定
A4 → B5、B5 → A4 などのコピーの場合に、拡大率 / 縮小率を設定します。
☞本書「倍率の設定」P.57

コピー枚数の設定
操作パネル右側のテンキーを押して、コピー枚数を入力します。
☞本書「コピー枚数の設定」P.49



給紙装置の選択
コピーで使用する用紙カセット / トレイを選択します。
☞本書「給紙装置の選択方法」P.45

3 スタート ボタンを押して、コピーを実行します。

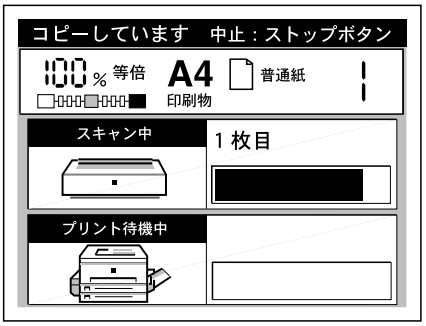


注 意

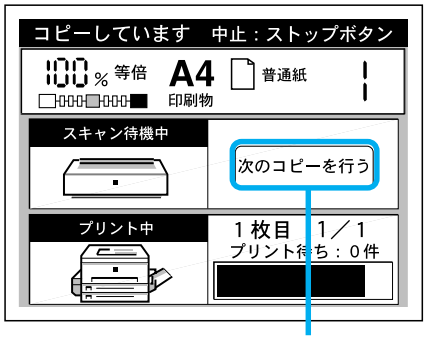
コピーの実行中は、プリンタやスキャナのスイッチ類を操作しないでください。
コピーが正常に行われなくなります。

コピーを実行すると、操作パネルの液晶ディスプレイの表示が次のように変わり、現在の動作が表示されます。
コピーが完了すると、［コピー基本］画面に戻ります。

●原稿の読み込み中



●取り込んんだ原稿の印刷中



このボタンが表示されると、次のコピーが行えます

コピー実行時、スキャナ側の動作が完了して、次の原稿の読み取りが可能になると、スキャナの絵の横に［次のコピーを行う］と表示されます。
この場合、次のコピーを行うには、次の 2 つの方法があります。

- スタート ボタンを押す。
  現在のコピー設定のまま、原稿の読み取りが始まります。
  プリンタにオプションのハードディスクが装着されていると、最大 8 回まで続けてコピーができます。
- 次のコピーを行う ボタンを押す。
  画面が［コピー基本］画面に変わり、コピー設定を変更できるようになります。
  続いて スタート ボタンを押すと、原稿の読み取りが始まります。

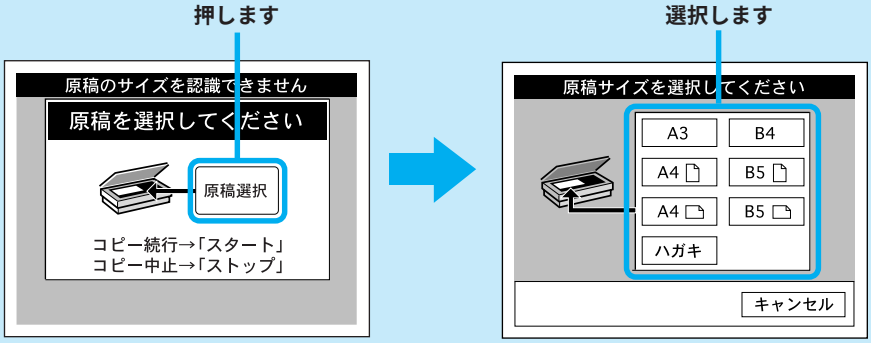
コピーを中止するには

ストップ ボタンを押します。
操作パネルに「コピー中止しています。」と表示され、コピーを中止します。

- スキャナで入力中の原稿は、そのデータを破棄します。
- プリンタで印刷中の場合、印刷処理を中止します。
  （コピー中止処理に時間がかかるため、数枚印刷される場合があります。）

ポイント

- **A3、A4、B4、B5 以外のサイズの原稿をセットして印刷を実行した場合または、すでに原稿がセットされている状態で電源をオンにした場合に、以下の画面が表示されます。原稿選択 ボタンを押してスキャナにセットした原稿のサイズを選択してください。**



- **A4 または B5 サイズの場合は、原稿の向き（縦 横）が表示されます。スキャナにセットされている原稿の向きに合わせて（縦 横）どちらかを選択してください。**

コピー設定の仕方

ここでは、コピーに関する各種の設定方法について、説明します。ここで説明していない項目については、次の箇所を参照してください。

- 用紙の選択、排紙先の選択 :「コピーの仕方（基本編）」(P.19)
- 応用コピー :「応用コピーの設定」(P.83)

● 機能の紹介 P.54
● 倍率の設定 P.57
● コピー色（カラー / 白黒）の設定 P.64
● 原稿タイプの設定 P.65
● コピー濃度（こく / うすく）の調整 P.67
● 色調補正 P.68
● コピー設定の再利用 P.73
● 両面コピーの設定 P.77
● パネルの明暗調整機能 P.80
● コピー設定のリセット P.81

機能の紹介

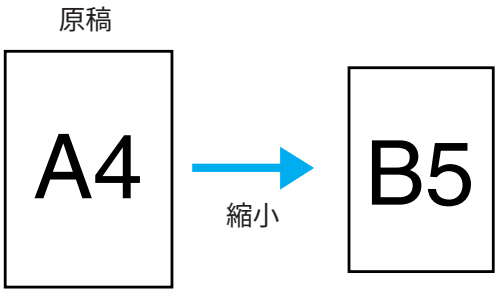
ここでは、コピーシステムを使ってできることを説明しています。

■倍率を変えてコピーする

☞本書「倍率の設定」P.57

拡大、または縮小してコピーすることができます。

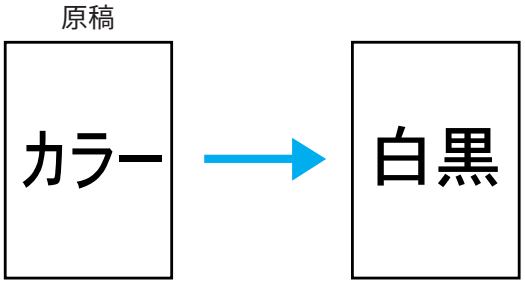
A3、A4、B4、B5 サイズの場合、スキャナにセットされている原稿のサイズを判別して自動的に倍率を設定することができます。また、任意に倍率を設定することもできます。



■カラーの原稿を白黒でコピーする

☞本書「コピー色（カラー / 白黒）の設定」P.64

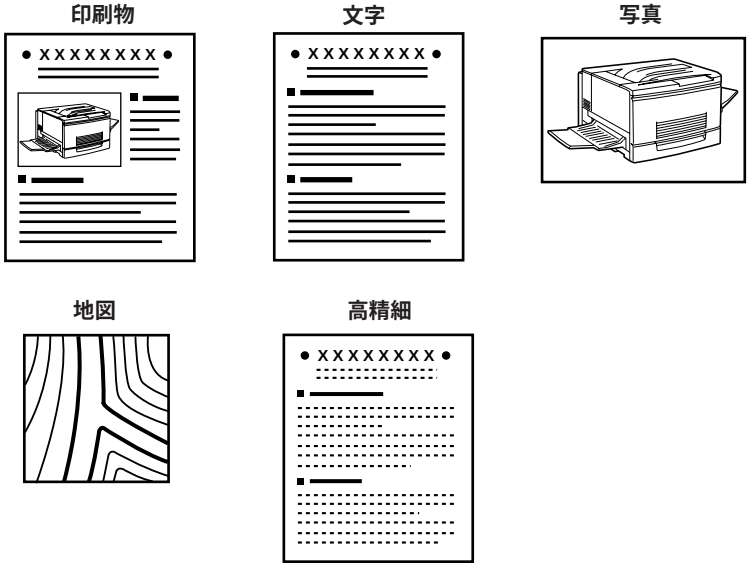
プリンタのカラートナーを使わずに、黒トナーだけを使ってコピーすることができます。



■原稿に応じて最適にコピーする

☞本書「原稿タイプの設定」P.65

原稿タイプを設定することで、黒い文字だけの原稿では文字をくっきりと黒く、写真原稿では写真をきれいに、雑誌・カタログなどの印刷物の原稿ではモアレ（網目状の陰影）が発生しないように、地図などの原稿では薄い色もコピーするように、小さい文字など、細かい印刷内容のある原稿では、高い解像度で、最適なコピーができます。



■濃度や、色合いを変えてコピーする

☞本書「コピー濃度（こく / うすく）の調整」P.67

☞本書「色調調整」P.68

コピー結果が思うようにならなかったときに、調整してみてください。

■よく使うコピー設定を記憶して、簡単にコピーする

☞本書「コピー設定の再利用」P.73

現在のコピー設定を記憶させ、次回からは登録した設定を呼び出すだけで、応用的なコピーをすることができます。

■両面コピーを行う

☞本書「両面コピーの設定」P.77

原稿の片面 / 両面、コピーの片面 / 両面を指定して、コピーができます。
両面コピーは、プリンタ用オプションの両面印刷ユニットが必要です。

■操作パネルの明るさを変える

☞本書「パネルの明暗調整機能」P.80

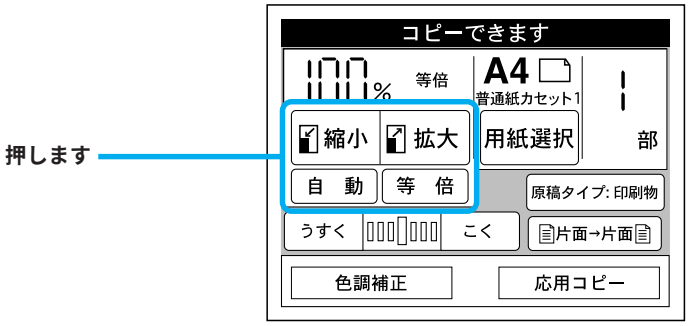
操作パネルが見にくいときに、明るさを調整することができます。

倍率の設定

倍率設定の仕方

倍率の設定には、次の 4 つがあります。

自動倍率設定	出力したいサイズの用紙がセットされている給紙装置を選択するとスキャナにセットされている原稿のサイズを判別し、自動的に倍率を設定して印刷します。自動倍率設定が可能なサイズはA3、A4、B4、B5 です。 自動 ボタンを押します。
定型縮小	あらかじめ設定された縮小倍率の中からコピー倍率を選びます。 縮小 ボタンを押して、［縮小メニュー］画面で選びます。
定型拡大	あらかじめ設定された拡大倍率の中からコピー倍率を選びます。 拡大 ボタンを押して、［拡大メニュー］画面で選びます。
任意倍率	25%～400%の範囲で 1%単位でコピー倍率を設定します。 縮小 / 拡大 ボタンを押して、［縮小メニュー］/［拡大メニュー］画面を表示し、画面中の ズーム ボタンを押して、ズーム倍率画面で設定します。



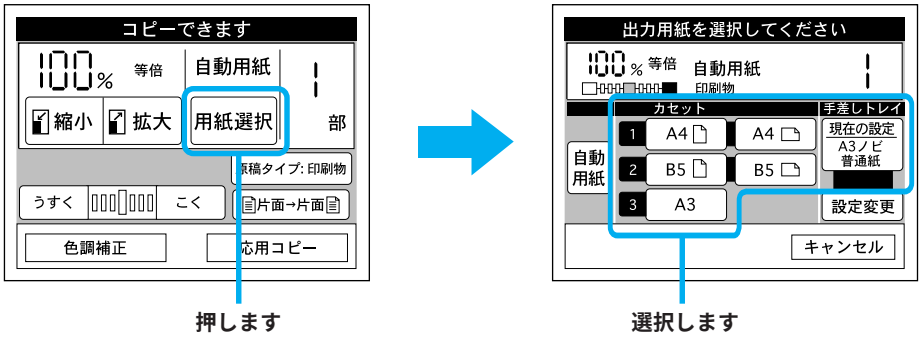
ポイント

現在のコピー倍率が 100%の場合、上記の画面で 等倍 ボタンを押しても画面は変わりません。

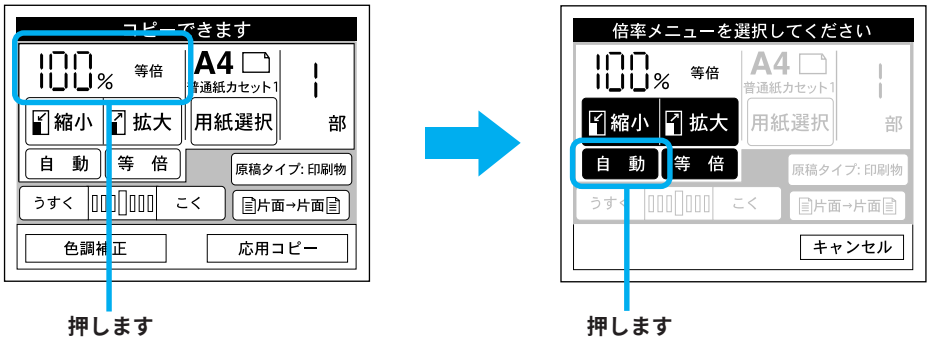
自動倍率の設定方法

判別可能な原稿のサイズはA3、A4、B4、B5のみです。それ以外のサイズの原稿をスキャナにセットした場合は、自動的に倍率を設定できません。

1 **［コピー基本］画面で 用紙選択 ボタンを押して、出力したいサイズの用紙がセットされている給紙装置を選択します。**

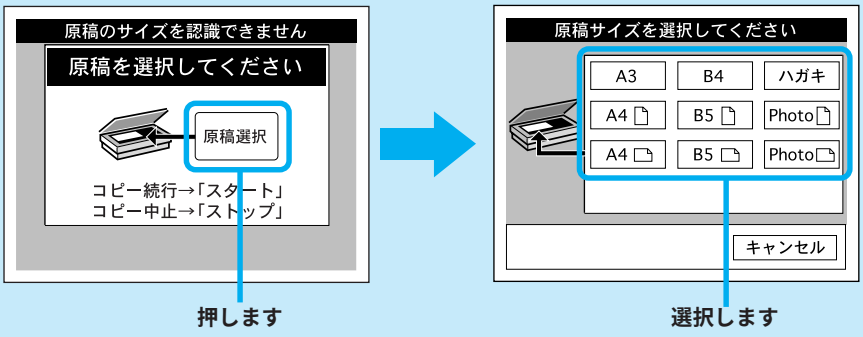


2 **［コピー基本］画面で「倍率表示部」を押して、［自動］を選択します。**



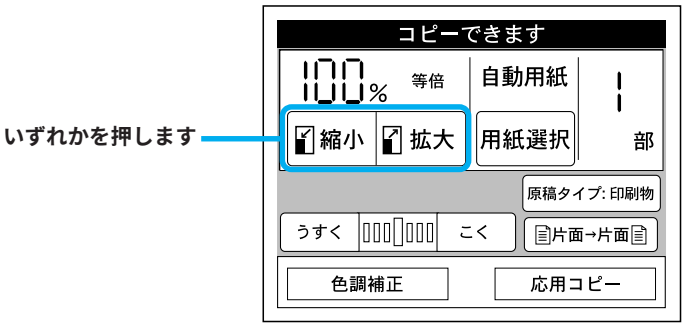
ポイント

印刷を実行した際にスキャナが原稿のサイズを判別できない場合は、以下の画面が表示されます。原稿選択 ボタンを押して、スキャナにセットした原稿のサイズを選択してください。



定形縮小 / 拡大、任意の倍率設定方法

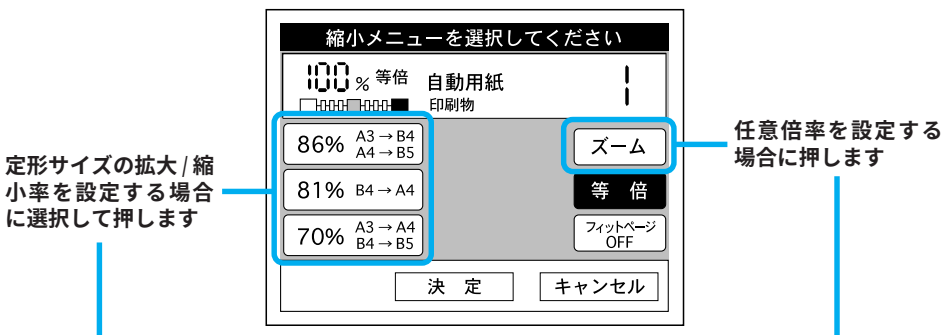
1 コピー基本画面で 縮小 ボタン、または 拡大 ボタンを押します。



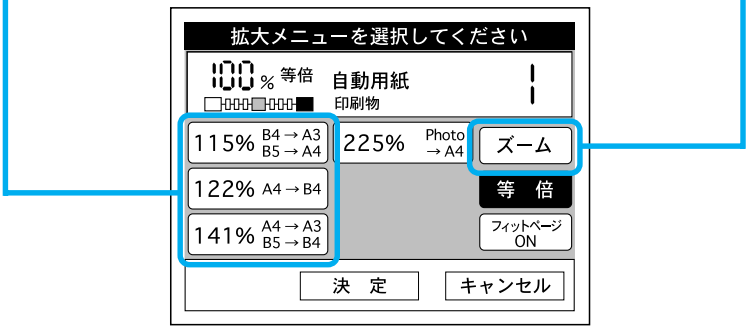
2 縮小メニュー画面、または拡大メニュー画面が表示されます。

- 定形サイズの拡大/縮小率を設定する場合は、左側のボタンのいずれかを選択して押します。
- 任意倍率を設定する場合は、ズーム ボタンを押します。
  ☞本書「ズーム（任意倍率）の倍率設定」P.61

●縮小メニュー画面



●拡大メニュー画面



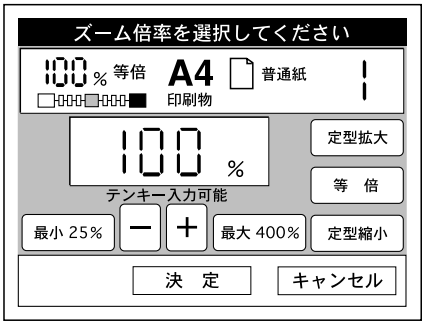
- 倍率 ボタン　：拡大率 / 縮小率が%で表示されているボタンです。押したボタンは反転表示され、現在選択されていることを示します。
- ズーム ボタン　：ズーム倍率画面を表示します。
  コピー倍率を任意に設定する場合に押します。
  [自動用紙] を選択している場合は使用できません。
  ☞本書「ズーム倍率画面」P.61
- 等倍 ボタン　：コピー倍率を 100% にする場合に押します。
- フィットページ ボタン　：フィットページ機能のオン / オフを切り替えます。
  フィットページ機能については、以下のページを参照してください。
  ☞本書「フィットページ」P.62
- 決定 ボタン　：設定した値を有効にします。
  - [コピー基本] 画面から、倍率設定の画面を表示させた場合、続いて［用紙選択］画面が表示されます。
  - [用紙選択] 画面で設定を行った後、倍率設定の画面が表示された場合、続いて [コピー基本] 画面が表示されます。
- キャンセル ボタン　：設定した値を無効にして、コピー基本画面に戻ります。

ズーム（任意倍率）の倍率設定

［ズーム倍率］画面は、［縮小メニュー］画面または［拡大メニュー］画面で、ズームボタンを押すと表示されます。

ポイント

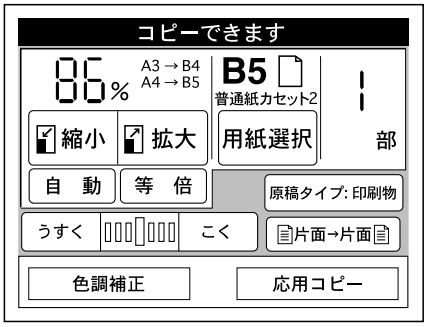
［用紙サイズ］で［自動用紙］を選択している場合はズーム（任意倍率）の設定はできません。用紙選択ボタンを押して出力する給紙装置を選択してください。



−ボタン	：コピー倍率を 1%ずつ小さくします。 押し続けると、値が素早く変わります。
＋ボタン	：コピー倍率を 1%ずつ大きくします。 押し続けると、値が素早く変わります。
最小　25%ボタン	：コピー倍率を、最小の 25%に設定します。
最大　400%ボタン	：コピー倍率を、最大の 400% に設定します。
定型拡大ボタン	：［拡大メニュー］画面を表示します。
定型縮小ボタン	：［縮小メニュー］画面を表示します。
等倍ボタン	：倍率を 100% に設定します。
決定ボタン	：設定した値を有効にします。 • ［コピー基本］画面から、倍率設定の画面を表示させた場合、続いて［用紙選択］画面が表示されます。 • ［用紙選択］画面で設定を行った後、倍率設定の画面が表示された場合、続いて［コピー基本］画面が表示されます。
キャンセルボタン	：設定した値を無効にして、［コピー基本］画面に戻ります。

倍率を 100%（等倍）に戻す

コピー倍率を変更している場合、コピー基本画面に 等倍 ボタンが表示されます。 等倍 ボタンを押すと、倍率を 100% に戻すことができます。

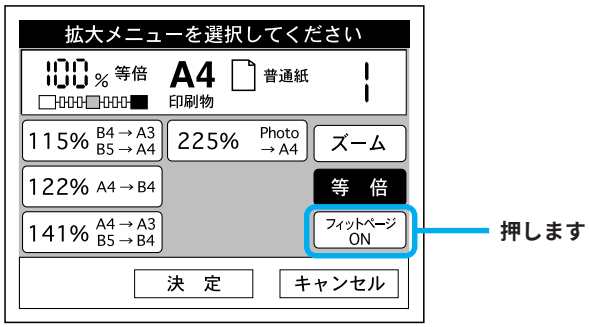


フィットページ機能について

フィットページ機能は、選択されているコピー倍率よりも少し小さめに縮小してコピーする機能です。

プリンタでの印刷は印刷可能な領域に制限があり、用紙全体に印刷する事ができません。
このため、例えばコピー倍率が 100%の場合に、用紙全体に印刷されている原稿を同じサイズの用紙にコピーすると、原稿の端の部分がコピーされません。
フィットページをONにすると、設定されているコピー倍率より少し小さめの倍率でコピーするため、原稿全体の印刷内容をコピーすることができます。

フィットページ機能の有効 / 無効は、［拡大メニュー］画面、または［縮小メニュー］画面で、フィットページ ボタンを押して切り替えます。



ポイント

コピー倍率をズーム（任意倍率）で設定しているときは無効になります。

拡大 / 縮小の設定に問題がある場合

選択した拡大 / 縮小の設定に問題がある場合、画面が次のようになります。

用紙サイズや用紙方向の設定と、倍率が合っていない場合

先に 用紙選択 ボタンを押して給紙装置の設定を行っている場合、選択した倍率が用紙サイズや用紙方向と合わないと、次のメッセージが表示されます。

- 倍率設定と用紙設定が異なります。
- 倍率設定と用紙方向が異なります。

設定を変更して再度コピーを行ってください。

割り付け / ページ連写が設定されている場合

応用コピーで、割り付け、またはページ連写の設定をしている場合、原稿と用紙サイズの関係で倍率が自動的に設定されます。
このため、割り付け、またはページ連写の設定をしている場合、倍率を変更すると次のメッセージが表示されます。

- 割り付けコピーが設定されております。割り付けコピーを解除してください。
- ページ連写コピーが設定されております。ページ連写コピーを解除してください。

このメッセージが表示された場合、応用コピー ボタンを押して、割り付け、またはページ連写の設定を解除してください。

コピー色（カラー / 白黒）の設定

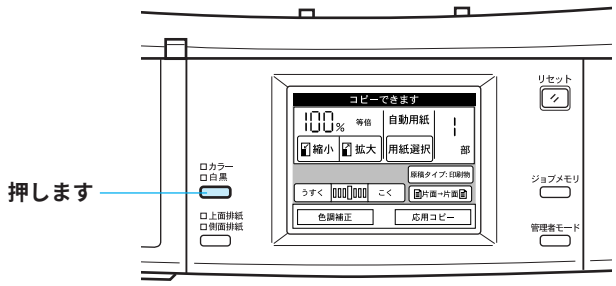
プリンタのカラートナーを使わずに、黒トナーだけを使ってコピーすることができます。白黒の原稿をコピーするときなどに設定してください。

設定項目

カラー	**カラーでコピーするときに設定します。**
白黒	**黒トナーだけでコピーするときに設定します。**

設定の仕方

カラー/白黒は、操作パネル左側の コピー色選択 ボタンを押して切り替えます。ボタンを押すたびに、カラー LED と白黒 LED の点灯が切り替わります。



原稿タイプの設定

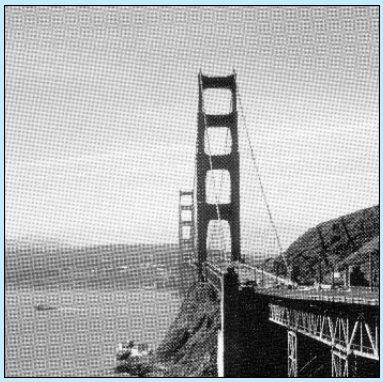
原稿のタイプをあらかじめ設定することにより、原稿に合わせた最適な取り込みとコピーを行います。

設定項目

写真	銀塩写真（カメラで撮影して現像した写真）をコピーするときに設定します。薄い色から濃い色までを忠実に再現して写真をきれいにコピーすることができます。背景除去やモアレ除去は行いません。
文字	文字原稿をコピーするときに設定します。黒い文字をくっきりと黒くコピーすることができます。背景（原稿の色）を除去したい場合も有効です。
印刷物	モアレ（網目状の陰影）除去機能を有効にしてコピーします。雑誌やカタログなどで、モアレを除去し背景を白くしたい場合などに有効です。
地図	薄い色や細い線を強調してコピーします。地図などの薄い色や細い線のある印刷物をコピーするときに有効です。
高精細	600dpiの解像度でコピーします。細かい文字や印刷内容の原稿をコピーする場合に有効です。モアレ除去と背景除去を行います。 他の原稿タイプでのコピーに比べ、コピースピードは遅くなりますが、より細密なコピー結果を得ることができます。

ポイント

- 思うような結果が得られない場合は、他の設定項目に変更してコピーされることをお勧めします。
- モアレとは網目状に発生する陰影で、肌色などの中間調部分で特に目立ちます。以下にモアレの発生した画面を掲載しますので参考にしてください。



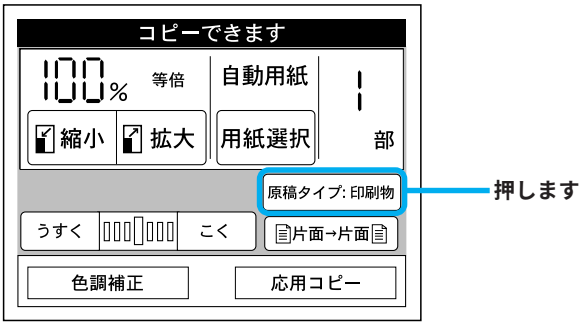
モアレの発生した画像

正常な画像

設定の仕方

1 原稿タイプ ボタンを押します。

原稿タイプ ボタンには、現在選択されている原稿タイプが表示されています。

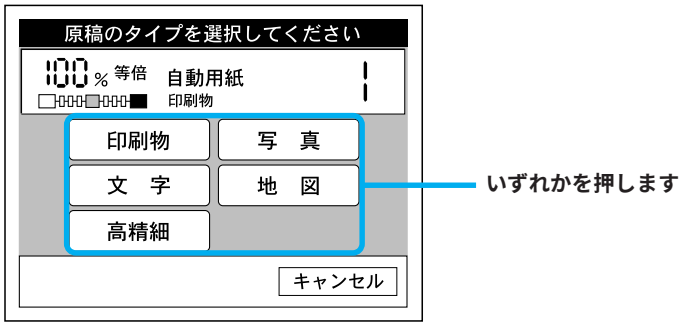


ポイント

コピー結果にモアレが出たら、「印刷物」モードに設定してください。

2 [原稿タイプ] 設定画面で、設定したい原稿タイプのボタンを押します。

原稿タイプのボタンを押すと、設定が有効になり、[コピー基本] 画面に戻ります。
画面の 原稿タイプ ボタンには、選択した原稿タイプの名前が表示されます。



コピー濃度（こく / うすく）の調整

原稿の品質が良くないときやコピーの品質が良くないとき、または原稿とコピー結果の色が合わないときなどに調整してください。

設定項目

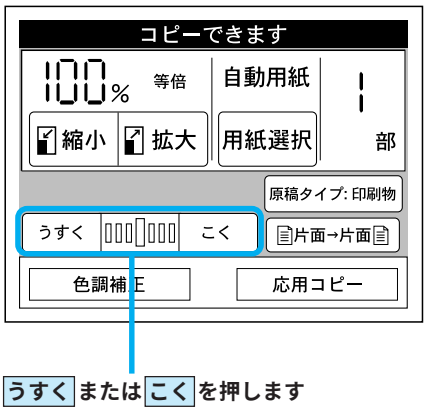
コピー濃度を、7 段階に調整します。

設定の仕方

［コピー基本］画面で、うすく ボタン、または こく ボタンを押して調整します。

ポイント

コントラスト、RGB、彩度、色相の調整は、色調補正 ボタンを押して行います。
次ページ「色調補正」を参照してください。



うすく または こく を押します

色調補正

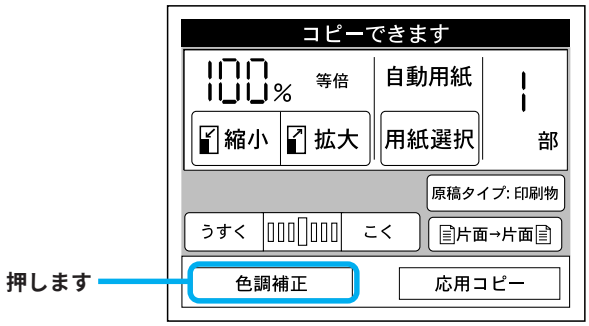
コピー基本画面で 色調補正 ボタンを押すと、[色調メニュー] 画面が表示され、カラーコピーの色に関する各種調整が行えます。
モノクロコピー（操作パネルの［白黒］LED が点灯）の場合は、コントラストの調整のみできます。

ポイント

調整の方法や調整した結果のカラーサンプルが別冊「コピー画質の調整方法」に記載されています。参考にしてください。

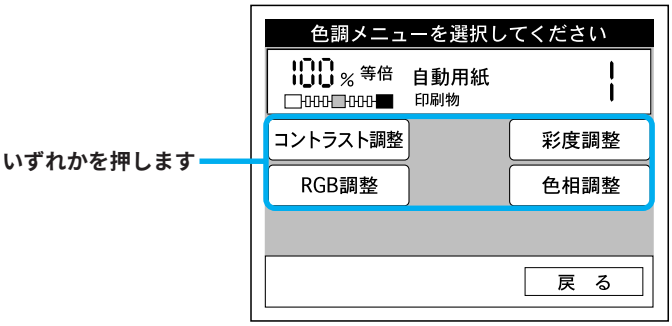
●コピー基本画面

色調補正の設定が変更されている場合、ボタンの表示が［色調補正あり詳細表示］に変わります。



●色調メニュー画面

設定が変更されている項目は、ボタンの表示が［＊＊＊＊＊あり］に変わります。

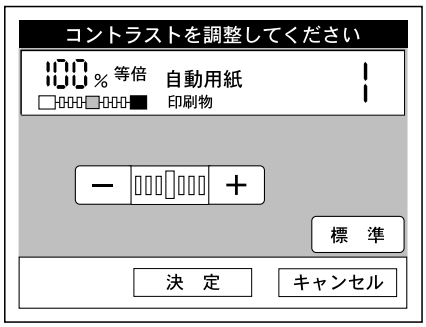


設定したい項目のボタンを押します。
戻る ボタンを押すと、現在の設定のままコピー基本画面に戻ります。

コントラスト調整

色調メニュー画面で コントラスト調整 ボタンを押すと次の画面が表示されます。
画像のコントラスト（明暗の差）を７段階に調整できます。
初期設定は、標準（設定バーの中央）です。

画面が表示されてから、どのボタンも押されない状態が60秒続くと、自動的に［コピー基本］画面に戻ります。この場合、設定値は変更されません。



調整バー　：現在の設定値を表示します。
コントラストを強める場合は ＋ ボタンを、弱める場合は − ボタンを押すと、値が一段階ずつ変わります。

標準 ボタン　：設定値を標準状態に戻します。

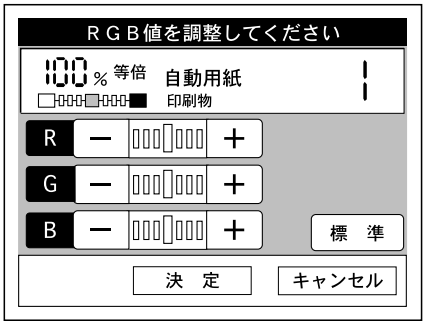
決定 ボタン　：設定した値を有効にして、コピー基本画面に戻ります。

キャンセル ボタン　：設定した値を無効にして、コピー基本画面に戻ります。

RGB 調整

色調メニュー画面で RGB 調整 ボタンを押すと、次の画面が表示されます。
R（赤）、G（緑）、B（青）の三原色について、各色の強弱を 7 段階に調整できます。
初期設定は、標準（設定バーの中央）です。

画面が表示されてから、どのボタンも押されない状態が60秒続くと、自動的に［コピー基本］画面に戻ります。この場合、設定値は変更されません。



調整バー　：現在の設定値を表示します。
調整バーの端の ＋ ボタン、－ ボタンを押すと、値が一段階ずつ変わります。
それぞれの色を強める場合は ＋ を、弱める場合は － を押します。

標準 ボタン　：設定値を標準状態に戻します。

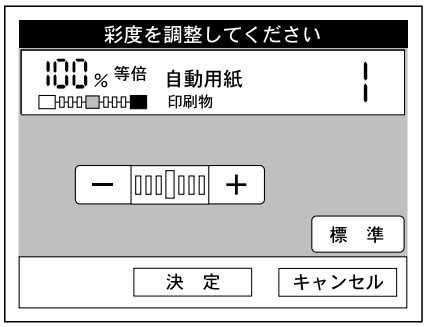
決定 ボタン　：設定した値を有効にして、コピー基本画面に戻ります。

キャンセル ボタン　：設定した値を無効にして、コピー基本画面に戻ります。

彩度調整

色調メニュー画面で 彩度調整 ボタンを押すと次の画面が表示されます。
彩度（色の鮮やかさ）を 7 段階に調整します。
初期設定は、標準（設定バーの中央）です。

画面が表示されてから、どのボタンも押されない状態が 60 秒続くと、自動的に［コピー基本］画面に戻ります。この場合、設定値は変更されません。



調整バー　：現在の設定値を表示します。
調整バーの端の ＋ ボタン、－ ボタンを押すと、値が一段階ずつ変わります。
あざやかさを強める場合は ＋ を、弱める場合は － を押します。

標準 ボタン　：設定値を標準状態に戻します。

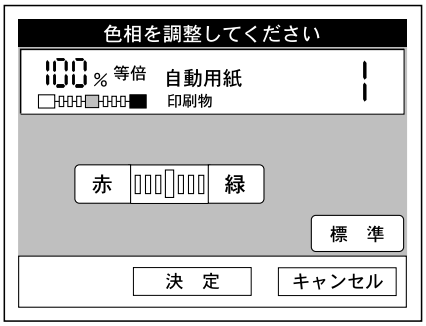
決定 ボタン　：設定した値を有効にして、コピー基本画面に戻ります。

キャンセル ボタン　：設定した値を無効にして、コピー基本画面に戻ります。

色相調整

色調メニュー画面で 色相調整 ボタンを押すと次の画面が表示されます。
色相（赤、緑のバランス）を 7 段階に調整します。
初期設定は、標準（設定バーの中央）です。

画面が表示されてから、どのボタンも押されない状態が60秒続くと、自動的に［コピー基本］画面に戻ります。この場合、設定値は変更されません。



調整バー　：現在の設定値を表示します。
調整バーの端の 赤 ボタン、緑 ボタンを押すと、値が一段階ずつ変わります。
赤を強める場合は 赤 を、緑を強める場合は 緑 を押します。

標準 ボタン　：設定値を標準状態に戻します。

決定 ボタン　：設定した値を有効にして、コピー基本画面に戻ります。

キャンセル ボタン　：設定した値を無効にして、コピー基本画面に戻ります。

コピー設定の再利用

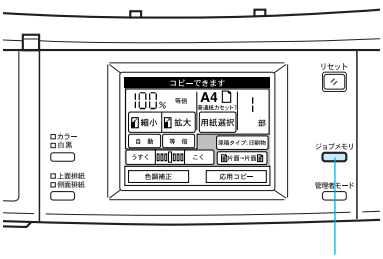
操作パネルの ジョブメモリ ボタンを押すことで、現在のコピー設定を登録し、登録したコピー設定を呼び出してコピーを実行することができます。
コピー設定は 8 つまで登録できます。

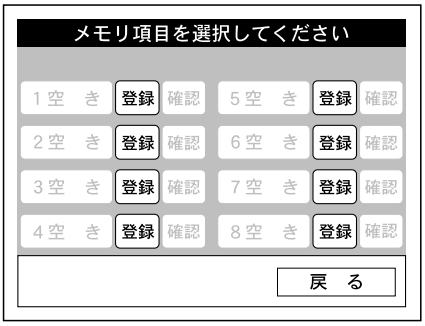
コピー設定の登録

1 **原稿タイプ、色調などコピー設定を登録したい値に変更し、［コピー基本］画面に戻ります。**

2 **操作パネルの ジョブメモリ ボタンを押します。**

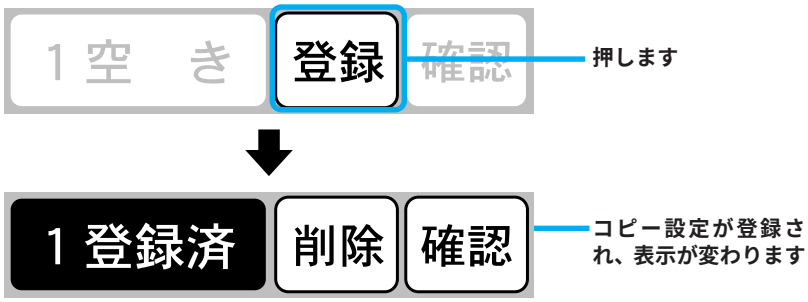
［メモリ設定］画面が表示されます。





3 **［空き］と表示されている横の 登録 ボタンを押します。**

現在のコピー設定が登録され、表示が変わります。



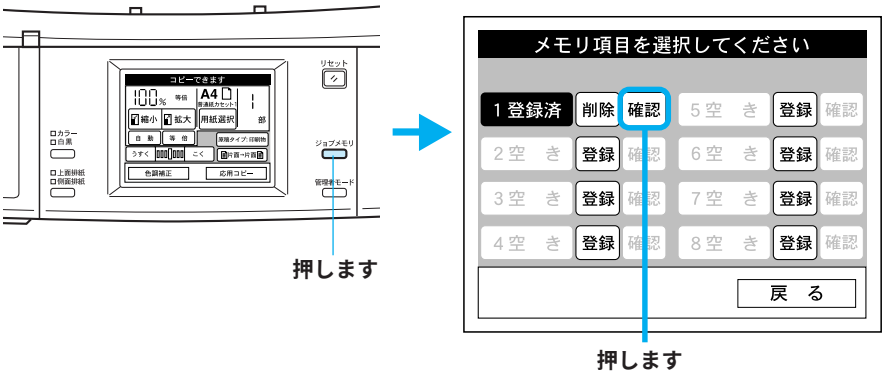
4 **［登録済］と表示されたら、 戻る ボタンを押して、［コピー基本］画面に戻ります。**

登録したコピー設定の確認

登録されているコピー設定の確認は、次のようにして行います。

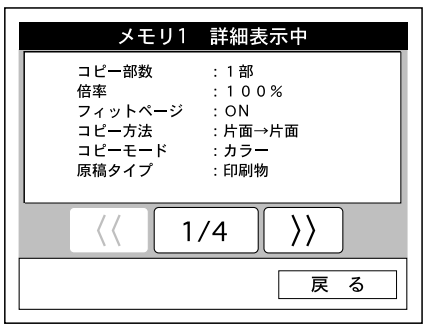
1 操作パネルの ジョブメモリ ボタンを押します。

［メモリ設定］画面が表示されます。
コピー設定を確認したい番号の 確認 ボタンを押します。



2 ［メモリ詳細表示］画面が表示され、手順❶で選択した メモリ ボタンに登録されているコピー設定の内容を確認できます。

<< ボタンと >> ボタンで、表示を切り替えます。中央の数字は、詳細情報の総画面数と現在表示している画面を表示します。
戻る ボタンを押すと、［メモリ設定］画面に戻ります。

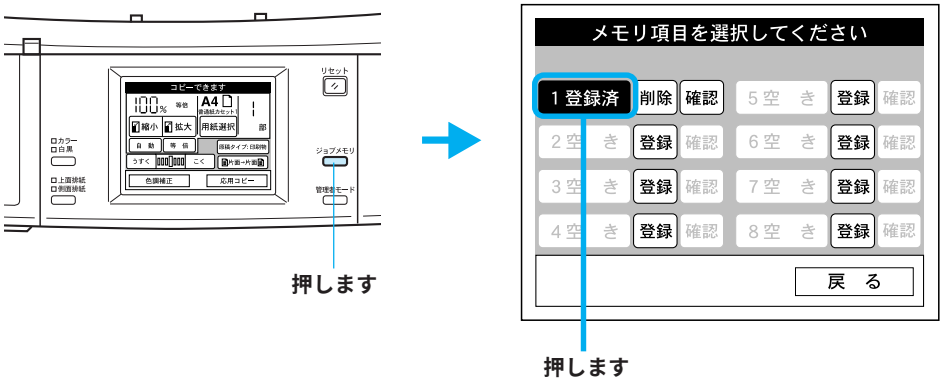


登録したコピー設定での印刷

登録したコピー設定を呼び出してコピーを行うには、次のようにします。

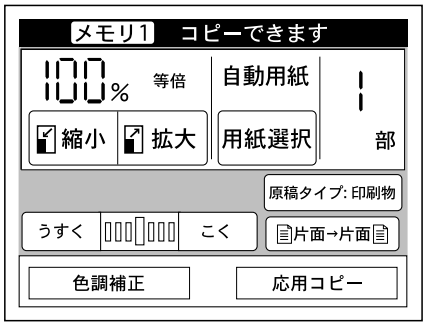
1 操作パネルの ジョブメモリ ボタンを押します。

［メモリ設定］画面が表示されます。
呼び出したいコピー設定が登録されている番号のボタン（[登録済] と表示されているボタン）を押します。
登録済みのボタンが複数あって、呼び出したいコピー設定がどのボタンに登録されているかわからない場合は、確認 ボタンを押して、登録されているコピー設定を確認してください。



2 手順❶で押したボタンに登録されているコピー設定で、［コピー基本］画面が表示されます。

画面上部に「メモリ＊　コピーできます」と表示されます。



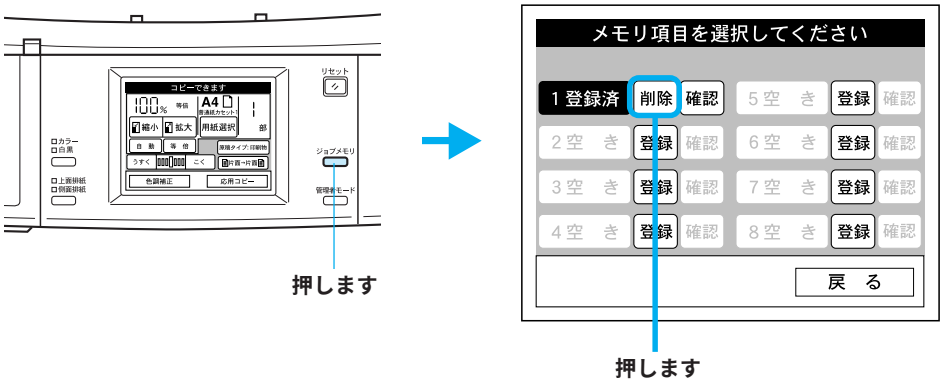
3 操作パネルの スタート ボタンを押すと、呼び出した設定でコピーが実行されます。

登録したコピー設定の削除

登録したコピー設定の削除は、次のようにして行います。

1 操作パネルの ジョブメモリ ボタンを押します。

［メモリ設定］画面が表示されます。
コピー設定を削除したい番号の右側の 削除 ボタンを押します。



2 画面上部に「メモリ＊を削除しますか」と表示されます。

削除 ボタンを押すと、コピー設定が削除されます。
キャンセル ボタンを押すと、コピー設定は削除されません。

3 コピー設定の削除が完了すると、表示が［空き］になります。

戻る ボタンを押すと、コピー基本画面に戻ります。

両面コピーの設定

設定項目

両面コピーには、次の種類があります。

- 片面→片面
- 両面→片面
- 片面→両面
- 両面→両面

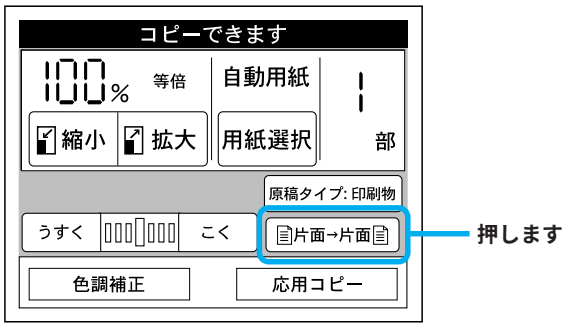
ポイント

- **片面→両面、両面→両面は、プリンタにオプションの両面印刷ユニット（型番：LPCDSP1）が装着されている場合のみ可能です。**
  両面印刷ユニットが装着されていない場合、片面→両面 ボタン、両面→両面 ボタンは選択できません。
- **スキャナにオプションの ADF（型番：ESA3ADF2）を装着している場合、両面原稿を自動的に連続して取り込むことができます。**
  ADF を装着していない場合、両面原稿は、片面を取り込むごとにセットし直してください。

設定の仕方

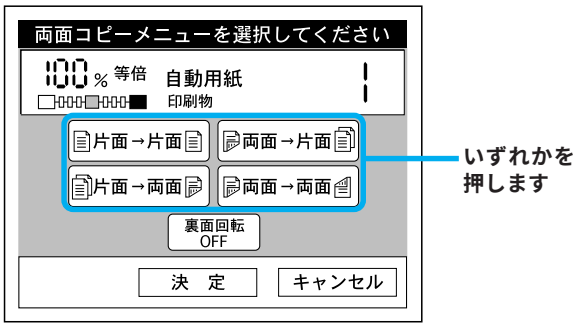
1 片面→片面 ボタンを押します。

両面コピーメニュー画面が表示されます。設定によっては、片面→片面 以外が表示されている場合もあります。



2 設定したい項目のボタンを押します。

両面印刷ユニットが装着されていない場合 片面→両面 ボタン、両面→両面 ボタンは選択できません。



片面→片面 ボタン ： [原稿の片面 / 両面→出力用紙の片面 / 両面] が表示されています。
選択したいコピーのボタンを押します。

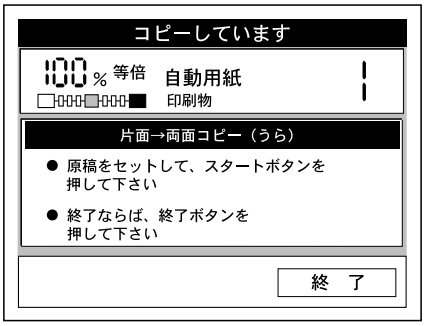
裏面回転 ボタン ： 片面→両面 ボタン、両面→両面 ボタンを押した場合のみ選択できます。
ボタンを押す度に ON/OFF が切り替わります。
裏面回転 ON にすると、用紙の裏側にコピーする内容を、180 度回転してコピーします。

原稿セットの方法

スキャナにオプションの ADF（型番：ESA3ADF2）を装着している場合、原稿は自動的に取り込まれ、読み取りと印刷が行われます。
ADF を装着していない場合、片面原稿は 1 枚ごとにセットする必要があります。また、両面原稿は、表面をコピーしたら、裏返して裏面をコピーするようセットする必要があります。

この場合、操作パネルに次のメッセージが表示されますので、メッセージに従って原稿をセットしてください。

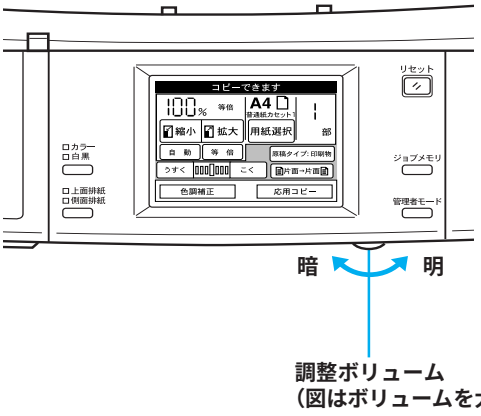
●1 枚目表面のコピー終了後の画面
（1 枚目裏面のコピーを促すメッセージが表示されます。）



パネルの明暗調整機能

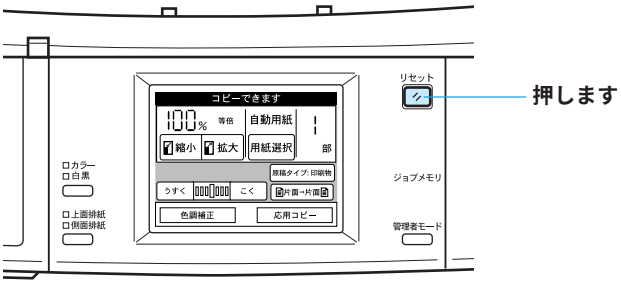
操作パネルが見にくいときに、明るさを調整することができます。

操作パネル前面にある、パネル明暗調整ボリュームで調整します。



コピー設定のリセット

操作パネルの リセット ボタンを押すと、コピーに関する設定が標準値に戻ります。



「標準値」とは、電源をオンにした直後のコピー設定の値を指します。
標準値は、管理者モード ボタンを押して、［コピージョブ標準値設定］で変更することができます。
☞本書「コピージョブ標準値設定」P.111

MEMO

応用コピーの設定

ここでは、応用的なコピーの仕方について説明しています。

● 応用コピーについて P.84
● 割り付けコピー P.85
● とじしろコピー P.91
● 丁合いコピー P.95
● ページ連写コピー P.97
● ブック影消しコピー P.102

応用コピーについて

応用コピーには、次の 5 種類があります。

● 割り付けコピー
2 枚の原稿を、1 枚の用紙の左右または上下に割り付けてコピーします。

● とじしろコピー
用紙の端に、とじしろを設けてコピーします。

● 丁合いコピー
丁合いコピー（部単位でのコピー）を行います。
丁合いコピーは、プリンタにオプションのハードディスクユニットが装着されている場合のみ使用できます。

● ページ連写コピー
1 枚の原稿を半分ずつに分けて、2 枚の用紙にコピーします。
見開き状態の本を、1 ページごとにコピーする場合などに使用します。

● ブック影消しコピー
原稿の中央や周囲の部分に、読み取らない範囲を設定してコピーします。
厚い本などを見開き状態でコピーすると、左右のページの中央に影が生じたり、開いたページの周囲に本の影が生じる場合があります。
このような影が生じないよう、原稿の中央や周囲の一定範囲をコピーしないように設定する機能です。

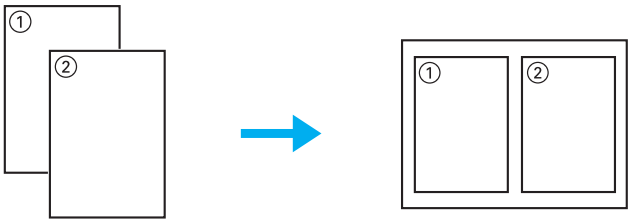
ポイント

- **割り付けコピーとページ連写コピーは相反する機能のため、同時に使用することはできません。**
- **丁合いコピーの場合は、プリンタにハードディスクユニットが装着されていても、ハードディスクユニットが他の印刷データで一杯の場合、自動的に読み取りを中止し、読み取った分の原稿を丁合いコピーします。**

割り付けコピー

割り付けコピーについて

割り付けコピーは、2 枚の原稿を、1 枚の用紙にコピーする機能です。
割り付けコピーの場合、原稿サイズと出力用紙のサイズ / 方向は、次の組み合わせのみ可能です。
コピー倍率は、原稿サイズと出力用紙サイズの関係から自動的に設定されるため変更できません。



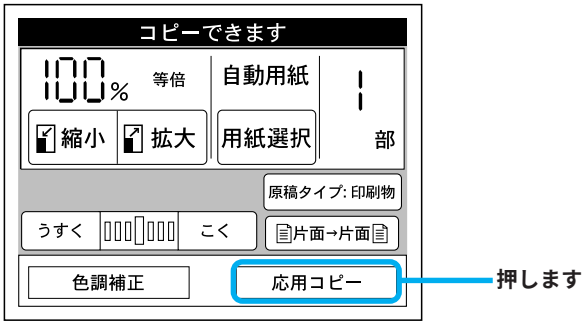
原稿　　出力用紙

原稿サイズ（方向）	出力用紙サイズ（方向）	コピー倍率
B5（縦 / 横）	B5（縦）	B5 → B6
	B4（横）	B5 → B5
	A4（縦）	B5 → A5
	A3（横）	B5 → A4
B4（横）	B5（縦）	B4 → B6
	B4（横）	B4 → B5
	A4（縦）	B4 → A5
	A3（横）	B4 → A4
A4（縦 / 横）	B5（縦）	A4 → B6
	B4（横）	A4 → B5
	A4（縦）	A4 → A5
	A3（横）	A4 → A4
A3（横）	B5（縦）	A3 → B6
	B4（横）	A3 → B5
	A4（縦）	A3 → A5
	A3（横）	A3 → A4

割り付けコピーの仕方

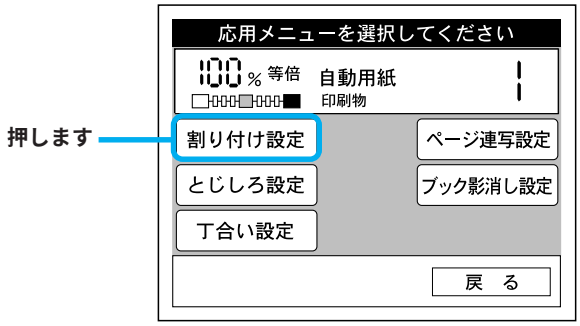
1 コピー基本画面で 応用コピー ボタンを押します。

応用コピーの設定が行われている場合、ボタンの表示は［応用コピーあり　詳細表示］となります。



2 応用メニュー画面で 割り付け設定 ボタンを押します。

割り付け設定が行われている場合、ボタンの表示は［割り付け設定あり］となります。



3 割り付け設定が行われている場合、次の画面が表示され、現在の割り付け設定を確認できます。

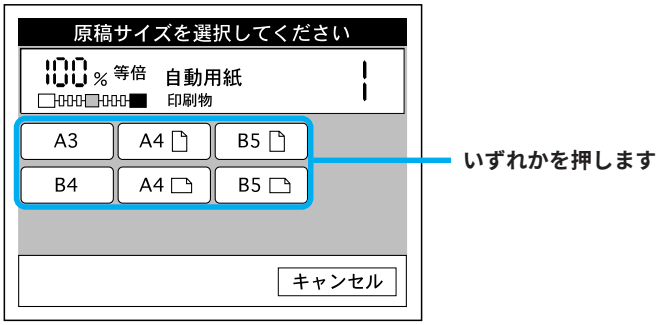
割り付け設定が行われていない場合、この画面は表示されません。この画面が表示されない場合は手順4に進んでください。

設定解除 ボタン　：割り付け設定をなしにして［応用メニュー画面］に戻ります。

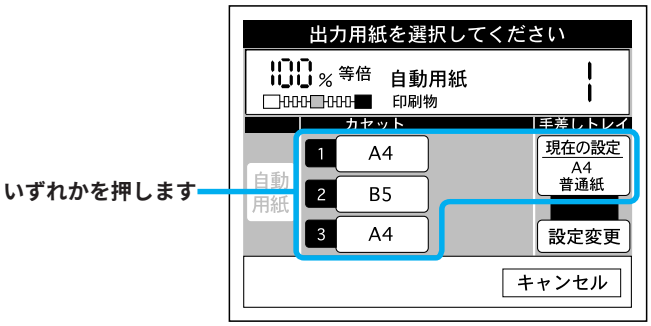
再設定 ボタン　：割り付け設定を行います。
このボタンを押した場合、手順4に進んでください。

戻る ボタン　：現在の割り付け設定のまま、［応用メニュー］画面に戻ります。

4 ［原稿サイズ選択］画面で、セットする原稿のサイズと向きが一致するボタンを押します。



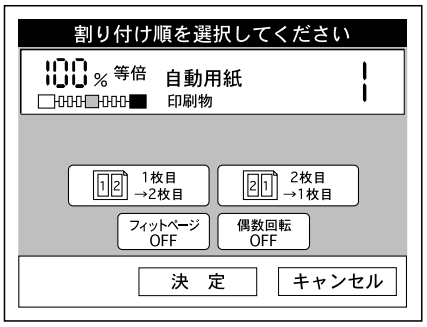
5 ［出力用紙選択］画面で、出力したい用紙サイズのボタンを押します。



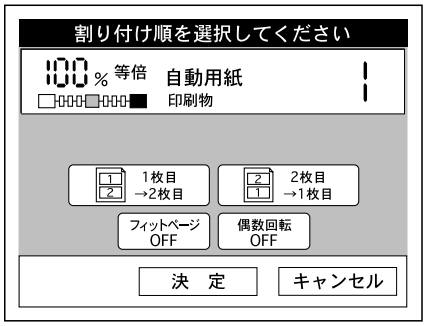
6 ［割り付け順選択］画面で、割り付けの順番を選択します。

また、必要に応じて［フィットページ］、［偶数回転］を設定します。
表示される［割り付け順選択］画面は、原稿の向きによって異なります。

●原稿が縦長の場合



●原稿が横長の場合



この画面のボタンの意味は次の通りです。

1 枚目→ 2 枚目 ボタン /
2 枚目→ 1 枚目 ボタン　：原稿の奇数（1、3、･･･）ページと偶数（2、4、･･･）ページを、1 枚の用紙に割り付ける順番を指定します。

割り付け順はボタン中に表示されています。選択したい割り付け順のボタンを押します。このボタンを押すと、下部に 決定 ボタンが表示されます。

フィットページ ボタン　：ボタンを押す度に、ON/OFF が切り替わります。

フィットページ ON に設定すると、原稿全体がコピーされるよう、原稿サイズ→出力用紙サイズの倍率より少し縮小してコピーします。

原稿全体（端から端まで）をコピーしたい場合に ON にします。

偶数回転 ボタン　：ボタンを押す度に、ON/OFF が切り替わります。

ON の場合、偶数（2、4、･･･）ページの原稿の印刷内容が、180 度回転してコピーされます。

OFF の場合、偶数ページのコピーの向きは変わりません。

7 ［割り付け設定］画面の設定が終わったら、決定 ボタンを押して［応用メニュー］画面に戻ります。

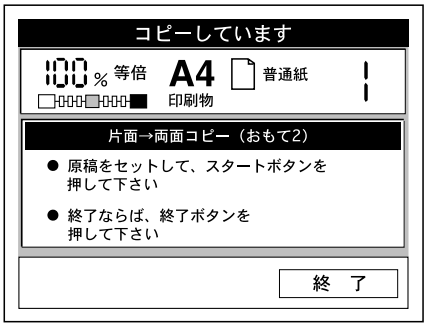
［割り付け設定］画面での設定を無効にしたい場合は キャンセル ボタンを押して［応用メニュー］画面に戻ります。

8 ［応用メニュー］画面で 戻る ボタンを押して、［コピー基本］画面に戻ります。

原稿のセット方法

スキャナにオプションの ADF（型番：ESA3ADF2）を装着している場合、原稿は自動的に取り込まれ、読み取りと印刷が行われます。

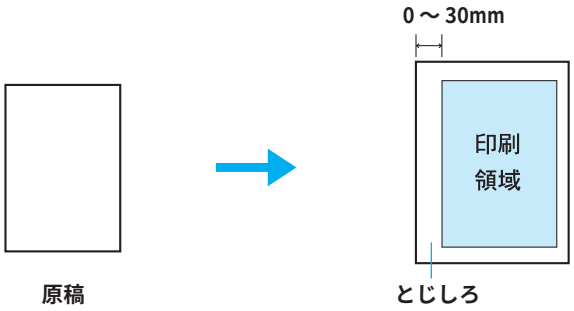
ADFを装着していない場合、原稿を1枚ごとにセットする必要があります。また、割り付けコピーと両面コピー（片面→両面）を同時に設定している場合、1枚目の原稿読み取りが終了すると、次の画面が表示されますので、メッセージに従って原稿をセットし、スタート ボタンを押してください。



とじしろコピー

とじしろコピーについて

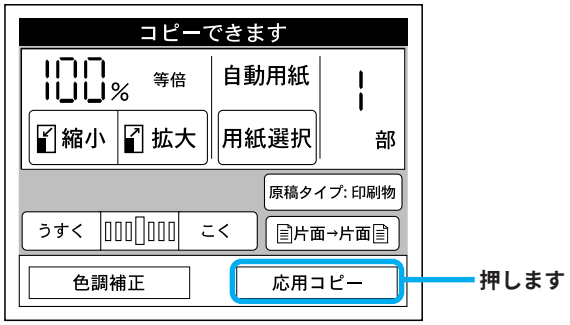
用紙の端に、とじしろを設けてコピーします。
用紙の端から何mmの範囲をとじしろとするかを、0mm～30mmの範囲で1mm単位で設定できます。
プリンタの仕様により、用紙の端5mmに印刷することはできません。このため、とじしろを 5mm 以下に設定しても、実際には 5mm の余白が生じます。



とじしろコピーの仕方

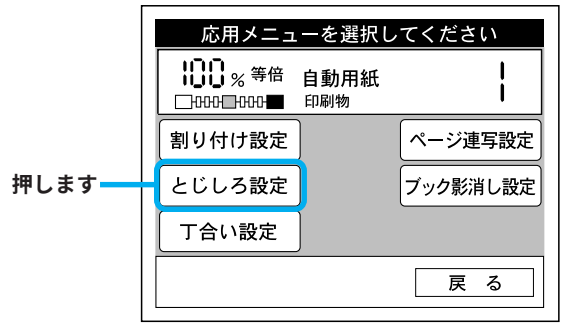
1 **コピー基本画面で 応用コピー ボタンを押します。**

応用コピーの設定が行われている場合、ボタンの表示は［応用コピーあり　詳細表示］となります。



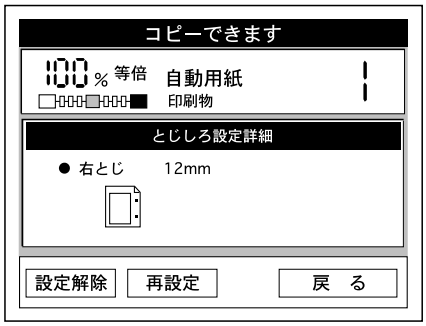
❷ 応用メニュー画面で [とじしろ設定] ボタンを押します。

とじしろ設定が行われている場合、ボタンの表示は［とじしろ設定あり］となります。



❸ とじしろ設定が行われている場合、次の画面が表示され、現在のとじしろ設定を確認できます。

とじしろ設定が行われていない場合、この画面は表示されません。この画面が表示されない場合は手順❹に進んでください。



[設定解除] ボタン　：とじしろ設定をなしにして［応用メニュー画面］に戻ります。

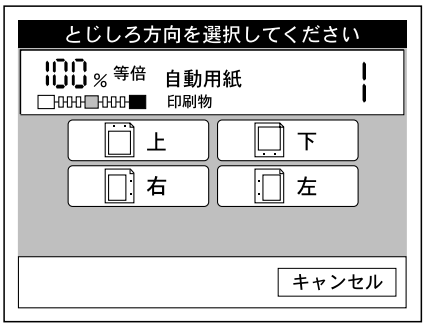
[再設定] ボタン　：とじしろ設定を行います。
このボタンを押した場合、手順❹に進んでください。

[戻る] ボタン　：現在のとじしろ設定のまま、［応用メニュー］画面に戻ります。

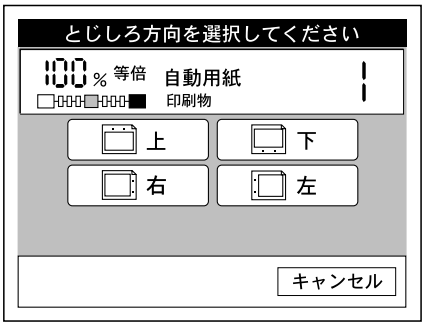
4 ［とじしろ方向選択］画面で、どの方向にとじしろを設けるかを、上下左右いずれかのボタンを押して選択します。

ここで選択するとじしろ方向は、原稿に対する方向です。
表示される［とじしろ方向選択］画面は、原稿の向きによって異なります。

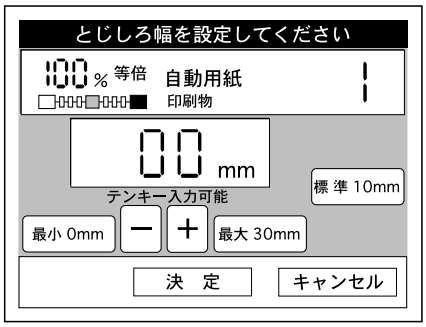
●原稿が縦長の場合



●原稿が横長の場合



5 ［とじしろ幅設定］画面で、とじしろの幅を設定します。



とじしろの値は、操作パネルのテンキーで入力します。
また、画面のボタンでも設定できます。

最小 0mm ボタン	： とじしろを最小の 0mm に設定します。
最大 30mm ボタン	： とじしろを最大の 30mm に設定します。
標準 10mm ボタン	： とじしろを標準の 10mm に設定します。
− ボタン	： とじしろの値を小さくします。ボタンを押し続けると値が素早く変わります。
＋ ボタン	： とじしろの値を大きくします。ボタンを押し続けると値が素早く変わります。

ポイント

プリンタは、用紙の端 5mmの範囲には印刷ができません。このため、5mm以下に設定しても、実際には 5mm の余白が生じます。

6 ［とじしろ幅設定］画面の設定が終わったら、決定 ボタンを押して［応用メニュー］画面に戻ります。

［とじしろ幅設定］画面での設定を無効にしたい場合は キャンセル ボタンを押して［応用メニュー］画面に戻ります。

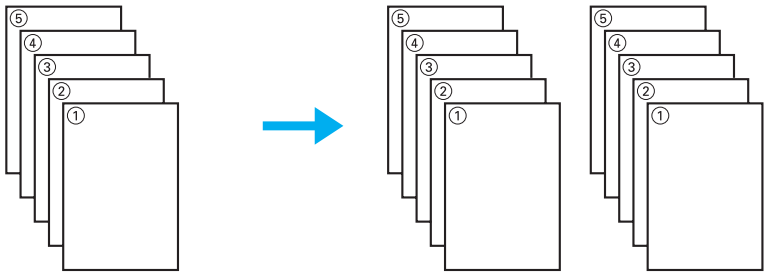
7 ［応用メニュー］画面で 戻る ボタンを押して、［コピー基本］画面に戻ります。

丁合いコピー

丁合いコピーについて

丁合いコピーは、部単位でのコピーを行う機能です。
丁合いコピーを行う設定にしている場合、例えば、5ページの原稿をコピー枚数2枚でコピーする場合、

① スキャナ側で、1ページから5ページまでを読み取ります。
② プリンタ側で、1部目（1ページから5ページまで）を印刷、排紙します。
③ 続いて、2部目（1ページから5ページまで）を印刷、排紙します。



5ページの原稿を2部コピー　　出力用紙

丁合いコピーは、プリンタにオプションのハードディスクユニットが装着されている場合のみ使用できます。

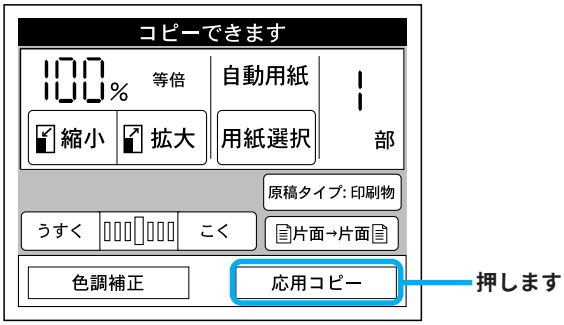
ポイント

ハードディスクユニットの空き容量が少ない状態では、全ページの原稿を読み取れない場合があります。この場合、空き容量がなくなると自動的に読み取りを中止し、読み取った分の原稿を丁合いコピーします。

丁合いコピーの仕方

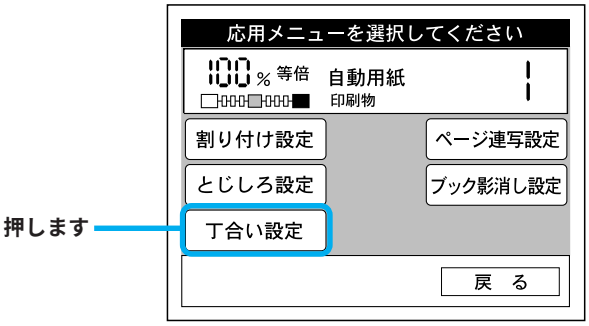
1 コピー基本画面で 応用コピー ボタンを押します。

応用コピーの設定が行われている場合、ボタンの表示は［応用コピーあり　詳細表示］となります。



2 応用メニュー画面で 丁合い設定 ボタンを押します。

丁合い設定が行われている場合、ボタンの表示は［丁合い設定あり］となります。



3 ［丁合い設定］画面が表示され、現在の丁合い設定の確認と、設定の変更ができます。

この画面のボタンの意味は次の通りです。現在選択されているボタンは反転表示されます。
丁合いあり ボタン：丁合いコピーを行います。
丁合いなし ボタン：丁合いコピーを行いません。

4 ［丁合い設定］画面の設定が終わったら、決定 ボタンを押して［応用メニュー］画面に戻ります。

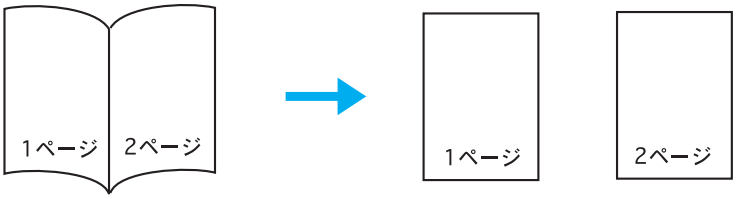
［丁合い設定］画面での設定を無効にしたい場合は キャンセル ボタンを押して［応用メニュー］画面に戻ります。

5 ［応用メニュー］画面で 戻る ボタンを押して、［コピー基本］画面に戻ります。

ページ連写コピー

ページ連写コピーについて

ページ連写コピーは、1 枚の原稿を左右または上下に分けて、2 枚の用紙にコピーする機能です。
ページ連写コピーの場合、原稿サイズと出力用紙のサイズ/方向は、次の組み合わせのみ可能です。



本などの原稿　　出力用紙

原稿サイズ（方向） 本の見開きサイズ	出力用紙サイズ（方向）	コピー倍率
B5（横）	B5（縦）	B6 → B5
	A4（縦）	B6 → A4
B4（横）	B5（縦）	B5 → B5
	A4（縦）	B5 → A4
A4（横）	B5（縦）	A5 → B5
	A4（縦）	A5 → A4
A3（横）	B5（縦）	A4 → B5
	A4（縦）	A4 → A4

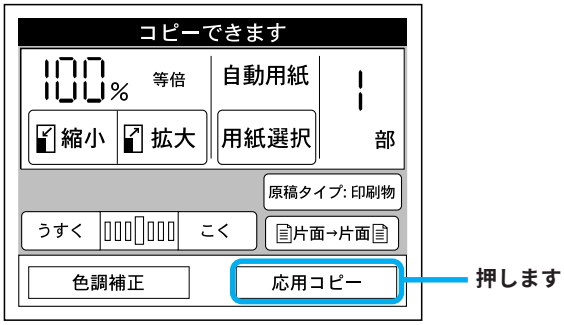
ポイント

- コピー倍率は、原稿サイズと出力用紙サイズの関係から自動的に設定されるため変更できません。
- ページ連写コピーでは、見開き状態の本のサイズを原稿サイズとして扱います。また、原稿のセット方向は、横長の状態のみになります。

ページ連写コピーの仕方

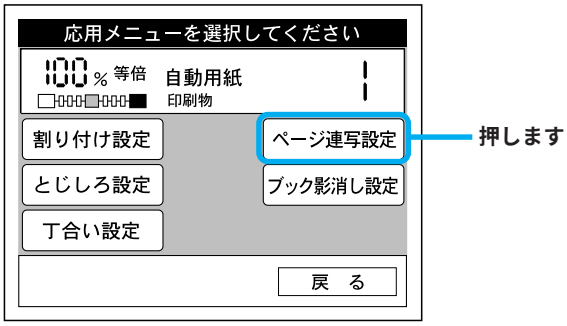
1 コピー基本画面で 応用コピー ボタンを押します。

応用コピーの設定が行われている場合、ボタンの表示は［応用コピーあり　詳細表示］となります。



2 応用メニュー画面で ページ連写設定 ボタンを押します。

ページ連写設定が行われている場合、ボタンの表示は［ページ連写設定あり］となります。



3 ページ連写設定が行われている場合、次の画面が表示され、現在のページ連写設定を確認できます。

ページ連写設定が行われていない場合、この画面は表示されません。この画面が表示されない場合は手順4に進んでください。

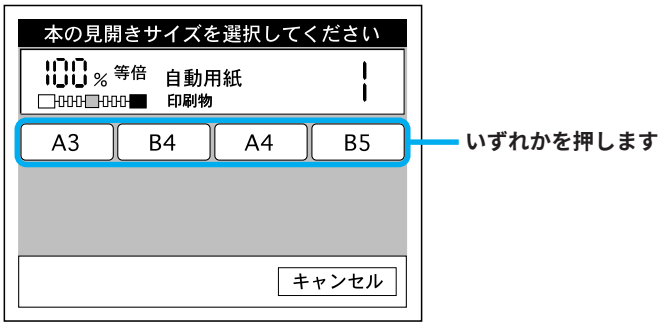
設定解除 ボタン　：ページ連写設定をなしにして［応用メニュー画面］に戻ります。

再設定 ボタン　：ページ連写設定を行います。
このボタンを押した場合、手順4に進んでください。

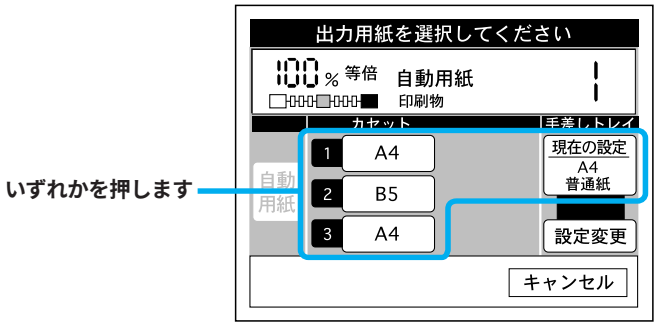
戻る ボタン　：現在のページ連写設定のまま、［応用メニュー］画面に戻ります。

4 ［本の見開きサイズ選択］画面で、セットする原稿とサイズと向きが一致するボタンを押します。

原稿が本の場合、必ず見開き状態でのサイズを選択してください。

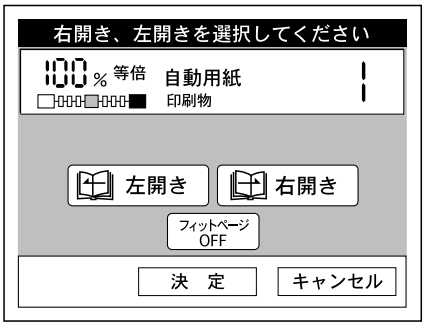


5 ［出力用紙選択］画面で、出力したい用紙サイズのボタンを押します。



6 ［右開き、左開き選択］画面で、原稿としてセットしている本に合わせて左開きか右開きかを選択します。

また、必要に応じて［フィットページ］も設定します。



左開き ボタン /
右開き ボタン　：原稿としてセットしている本が右開きか、左開きかに合わせて、どちらかのボタンを押します。

右開きの本と左開きの本とでは、見開き状態でのページの順番が逆になるため、セットしている本に合わせて正しく選択してください。このボタンを押すと、下部に 決定 ボタンが表示されます。

フィットページ ボタン　：ボタンを押す度に、ON/OFF が切り替わります。

ON に設定すると、原稿全体がコピーされるよう、原稿サイズ→出力用紙サイズの倍率より少し縮小してコピーします。

原稿全体（端から端まで）をコピーしたい場合に ON にします。

7 **［ページ連写設定］画面の設定が終わったら、決定 ボタンを押して［応用メニュー］画面に戻ります。**

［ページ連写設定］画面での設定を無効にしたい場合は キャンセル ボタンを押して［応用メニュー］画面に戻ります。

8 **［応用メニュー］画面で 戻る ボタンを押して、［コピー基本］画面に戻ります。**

ブック影消しコピー

ブック影消しコピーについて

ブック影消しコピーは、原稿の中央や周囲に、読み込まない範囲を設定してコピーする機能です。
厚い本などを見開き状態でコピーすると、左右のページの中央に影が生じたり、開いたページの周囲に他のページの影が生じた状態でコピーされる場合があります。
このような影が生じないよう、原稿の中央や周囲の一定範囲をコピーしないように設定する機能です。

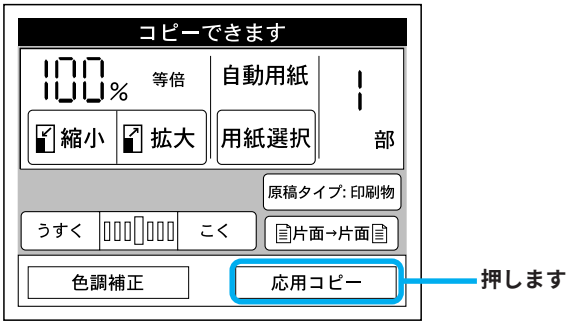
ポイント

**見開き状態の本などをコピーする場合、見開きページの中央や周囲のどの範囲に影が生じるかは、原稿とする本や、開くページによって異なります。
また、ブック影消しは、原稿の中央と周囲をコピーしないように設定する機能のため、影消しの範囲を大きく設定すると、コピーされない箇所が生じる場合があります。
ブック影消し機能を使用する場合は、少しずつ設定値を変更して、影が生じず、コピーしたい箇所が消えない値を探してください。**

ブック影消しコピーの仕方

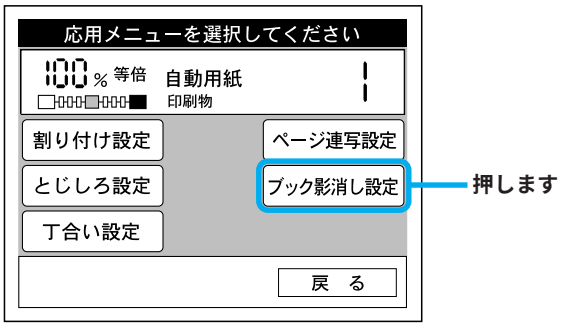
1 コピー基本画面で 応用コピー ボタンを押します。

応用コピーの設定が行われている場合、ボタンの表示は［応用コピーあり詳細表示］となります。



2 応用メニュー画面で ブック影消し設定 ボタンを押します。

ブック影消し設定が行われている場合、ボタンの表示は［ブック影消し設定あり］となります。



3 ブック影消し設定が行われている場合、次の画面が表示され、現在のブック影消し設定を確認できます。

ブック影消し設定が行われていない場合、この画面は表示されません。この画面が表示されない場合は手順4に進んでください。

設定解除 ボタン　：ブック影消し設定をなしにして［応用メニュー画面］に戻ります。

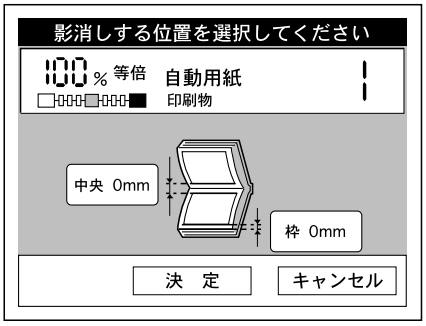
再設定 ボタン　：ブック影消し設定を行います。
このボタンを押した場合、手順4に進んでください。

戻る ボタン　：現在のブック影消し設定のまま、［応用メニュー］画面に戻ります。

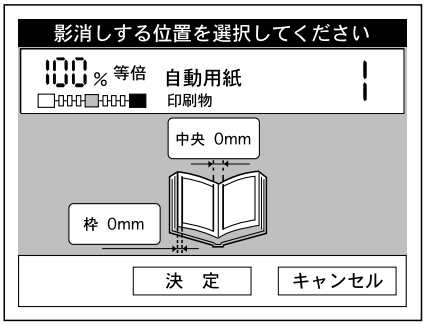
4 ［影消し位置選択］画面で、中央 ボタン、または 枠 ボタンを押します。

表示される［影消し位置選択］画面は、原稿の向きによって異なります。

●原稿が縦長の場合



●原稿が横長の場合



この画面のボタンの意味は次の通りです。

中央 ボタン　：このボタンを押すと［影消し幅設定］画面が表示され、原稿の中央に設定する影消し範囲の幅が設定できます。

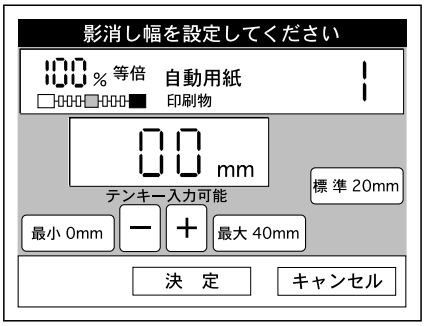
枠 ボタン　：このボタンを押すと［影消し幅設定］画面が表示され、原稿の周囲に設定する影消し範囲の幅が設定できます。

決定 ボタン　：現在表示されている影消し位置と影消し幅の設定を有効にして、応用メニューに戻ります。

キャンセル ボタン　：現在の設定を無効にして、［応用メニュー］画面に戻ります。

5 ［影消し幅設定］画面で、影消し範囲（コピーしない範囲）の値を設定します。

手順❹で 中央 ボタンを押した場合は、原稿の中央に対してコピーしない範囲が設定されます。
手順❹で 枠 ボタンを押した場合は、原稿の周囲に対してコピーしない範囲が設定されます。



影消し幅の値は、操作パネルのテンキーで入力します。
また、画面のボタンでも設定できます。

最小 0mm ボタン	：影消し幅を最小の 0mm に設定します。
最大 40mm ボタン	：影消し幅を最大の 40mm に設定します。
標準 20mm ボタン	：影消し幅を標準の 20mm に設定します。
− ボタン	：値を小さくします。ボタンを押し続けると値が素早く変わります。
＋ ボタン	：値を大きくします。ボタンを押し続けると値が素早く変わります。

6 ［影消し幅設定］画面の設定が終わったら、決定 ボタンを押して［影消し位置選択］画面に戻ります。

［影消し幅設定］画面での設定を無効にしたい場合は キャンセル ボタンを押して［影消し位置選択］画面に戻ります。

7 **原稿の中央と、原稿の周囲の両方に対して影消し範囲を設定する場合は、手順❹～手順❻を繰り返して設定を行います。**

8 **［影消し位置選択］画面で 決定 ボタンを押すと、設定した値が有効になり、［応用メニュー］画面に戻ります。**

［影消し位置選択］画面で キャンセル ボタンを押すと、設定した値が無効になり、［応用メニュー］画面に戻ります。

9 **［応用メニュー］画面で 戻る ボタンを押して、［コピー基本］画面に戻ります。**

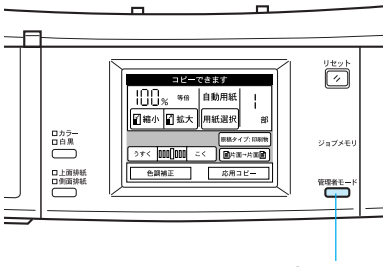
管理者モードの設定

操作パネルの 管理者モード スイッチを押すと、液晶ディスプレイの表示がステータス表示画面に変わり、コピーシステムの基本的な設定を確認 / 変更できます。
本章は、コピーシステムの管理者の方がお読みください。

- 管理者モード スイッチと［ステータス表示］画面 .. P.108
- ステータスの確認と印刷 P.109
- ［環境設定］画面 P.110

管理者モード スイッチと［ステータス表示］画面

コピーユニットが、コピー処理の実行中でないことを確認して、管理者モード ボタンを押します。
管理者モード ボタンを押すと、次の［ステータス表示］画面が表示されます。



ポイント

コピー処理の実行中は、管理者モード ボタンは無効です。
［ステータス表示］画面が表示された後、何もボタンを押さない状態が約60秒続くと、自動的に［コピー基本］画面に戻ります。

［ステータス表示］画面の構成は次の通りです。

ステータス表示部 ：本体（コピーユニット）、プリンタ、スキャナの現在のステータスが表示されます。

<< >> ボタン ：ステータス表示部の表示を切り替えます。中央の表示は詳細情報の総画面と現在表示している画面を示します。

環境設定 ボタン ：コピーユニットの基本的な環境設定を確認 / 変更する場合に押します。
☞本書「［環境設定］画面」P.110

ステータス印刷 ボタン：［ステータス表示］画面に表示される内容を、プリンタで印刷する場合に押します。

戻る ボタン ：［コピー基本］画面に戻る場合に押します。

ステータスの確認と印刷

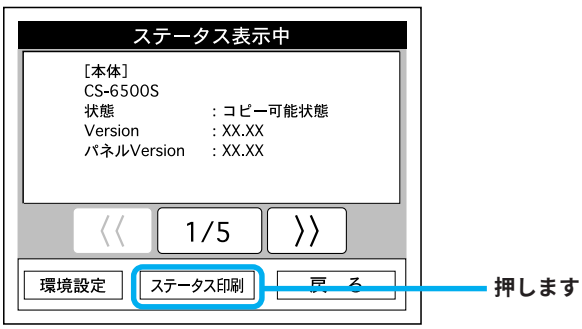
管理者モード ボタンを押すと、次の［ステータス表示］画面が表示されます。この画面では、本体（コピーユニット）、プリンタ、スキャナの各ステータスが表示されます。

ステータスの確認

<< ボタン、>> ボタンを押すことで、表示するページを切り替えることができます。

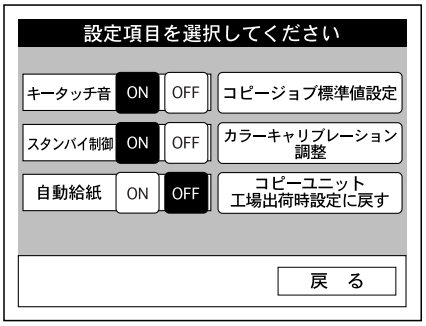
ステータスの印刷

［ステータス表示］画面で ステータス印刷 ボタンを押すと、［ステータス表示］画面に表示される内容をプリンタで印刷できます。



[環境設定] 画面

[ステータス表示] 画面で 環境設定 ボタンを押すと、次の [環境設定] 画面が表示され、CS-6500S の基本的な動作環境の設定を変更できます。



キータッチ音

操作パネルのキーを押した際のブザー音を、鳴らす / 鳴らさないを設定します。

[ON] を押す	キータッチ音を鳴らします。(工場出荷時設定)
[OFF] を押す	キータッチ音を鳴らしません。

スタンバイ制御

本機を使用しない時間が10分を経過すると、操作パネルのバックライトが消灯し、節電状態になります。
節電状態のときに、操作パネルの正面に人などが近づいた場合に内蔵のセンサが感知して、本機は節電モードを解除します。同時にプリンタとスキャナが節電状態になっている場合は、それぞれの節電状態も解除しウォーミングアップを開始します。ウォーミングアップを操作パネルの設定開始前に行うため、待ち時間を短縮することができます。

プリンタに対するスタンバイ制御機能は、プリンタ本体側の節電機能が有効になっている場合のみ機能します。

コピーユニットのスタンバイ制御を有効にするか/無効にするかを設定します。

[ON] を押す	スタンバイ制御機能を有効にします。(工場出荷時設定)
[OFF] を押す	スタンバイ制御機能を無効にします。

自動給紙

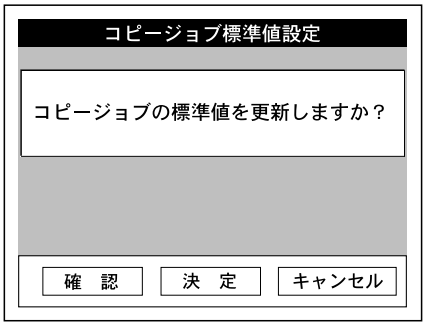
自動給紙機能は、選択した用紙サイズの用紙がセットされている給紙装置を、カセット 1 →カセット 2 →カセット 3 →用紙トレイの順に捜し、用紙がなくなると、次の給紙装置に切り替えてコピーを続行する機能です。

［ON］を押す	自動給紙を有効にします。
［OFF］を押す	自動給紙を無効にします。（工場出荷時設定）

コピージョブ標準値設定

コピージョブ標準値とは、コピーユニットの電源をオンにしたときに自動的に選択される、コピー関係の各種設定の値です。
本製品をはじめて接続し、電源をオンにした時点では、コピージョブ標準値は出荷時設定値と同じになっています。
コピージョブ標準値を変更するには、各種設定を行い、標準値としたい値に変更します。続いて、管理者モード ボタンを押して、［ステータス］画面で コピージョブ標準値設定 ボタンを押してください。

コピージョブ標準値設定 ボタンを押すと、［コピージョブ標準値設定］画面が表示されます。



この画面で 決定 ボタンを押すと、現在のコピー設定がコピージョブ標準値として登録され、登録後から、登録したコピー設定で起動するようになります。
この画面で 確認 ボタンを押すと、現在コピージョブ標準値として登録されているコピー設定を確認できます。

カラーキャリブレーション調整

原稿とコピー結果の色合いが大きく異なる場合は、カラーキャリブレーション調整を行ってください。キャリブレーション調整とは、スキャナの入力特性およびプリンタの印刷特性に合わせた補正（キャリブレーション）のためのデータを作成する機能です。色合いを微調整する場合は以下のページを参照してください。

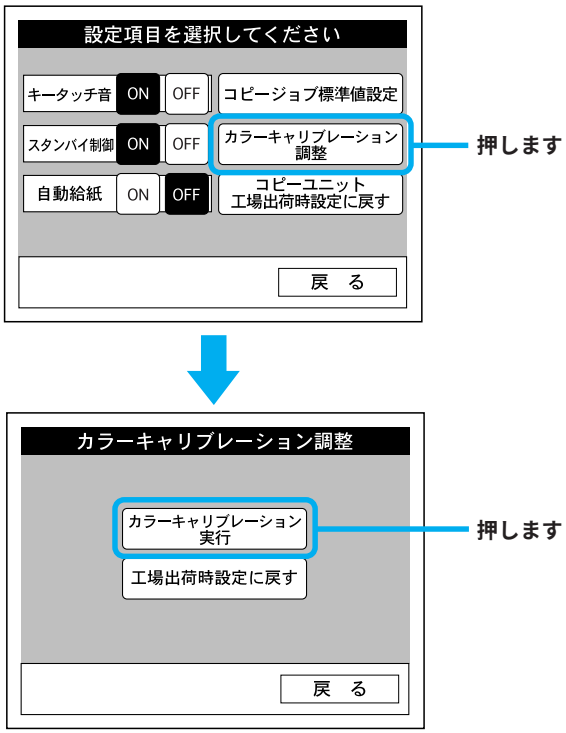
☞本書「色調補正」P.68

ポイント

キャリブレーション調整では、まず調整用のカラーパターンを印刷します。
カラーパターン印刷用の用紙は、カラーレーザープリンタ用のA4サイズの上質普通紙（型番：LPCPPA4）をお使いください。
他の用紙ではキャリブレーションが正確に行われず、かえって色が合わなくなる場合があります。

1 **操作パネルの 管理者モード スイッチを押して表示される［ステータス表示］画面で、環境設定 ボタンを押します。**

2 **[環境設定] 画面で、カラーキャリブレーション調整 ボタンを押します。次の画面が表示されます。**

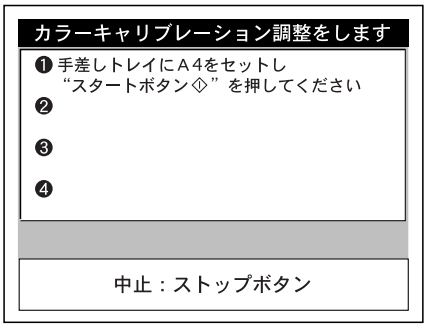


カラーキャリブレーション実行 ボタン：
キャリブレーションを行う場合に押して次の手順に進みます。

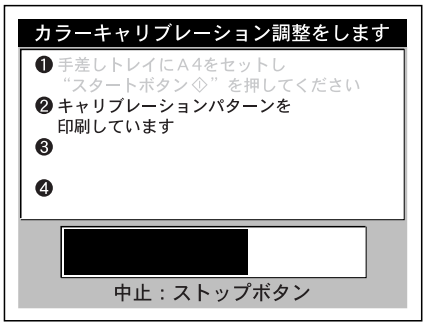
工場出荷時設定に戻す ボタン：
キャリブレーションの設定を、工場出荷時と同じ設定に戻したい場合に押します。
ボタンを押すと、「カラーキャリブレーション情報を工場出荷時の設定に戻しますか？」と表示されますので、決定 ボタンまたは キャンセル ボタンを押します。

戻る ボタン：　キャリブレーションを行わない場合に押します。

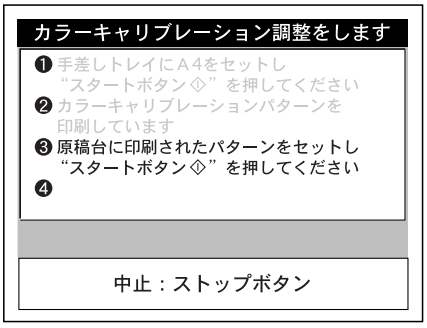
3 **次の画面が表示されたら、①プリンタの用紙トレイに A4 サイズの上質普通紙（型番：LPCPPA4）をセットし、② スタート ボタンを押します。**

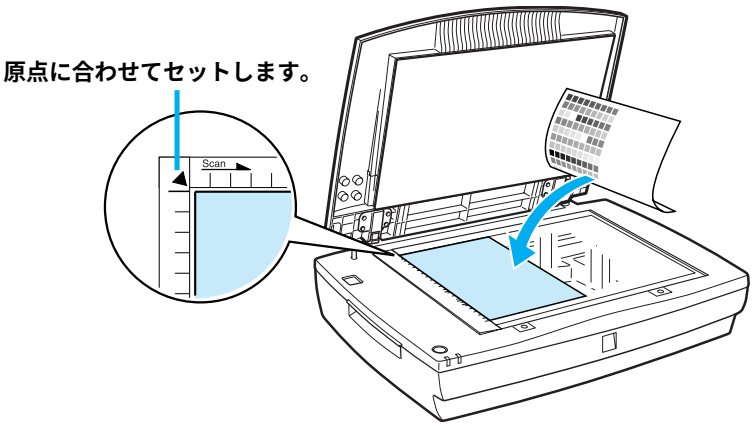


キャリブレーション用のカラーパターンが印刷されます。

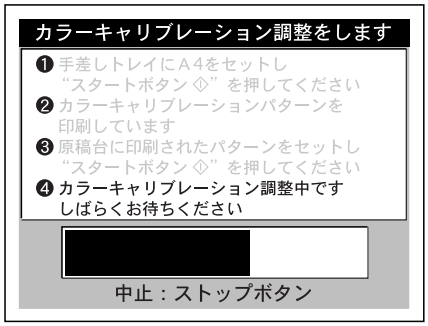


4 次の画面が表示されたら、印刷されたカラーパターンをスキャナに図の向きでセットし、スタート ボタンを押します。



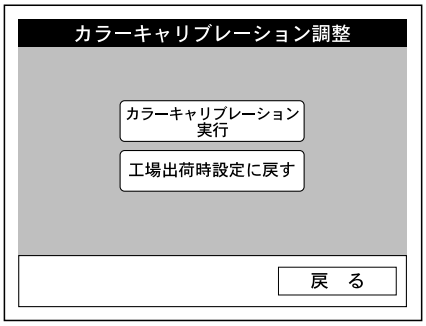


スキャナの入力特性およびプリンタの印刷特性に合わせた補正（キャリブレーション）のためのデータが作成されます。

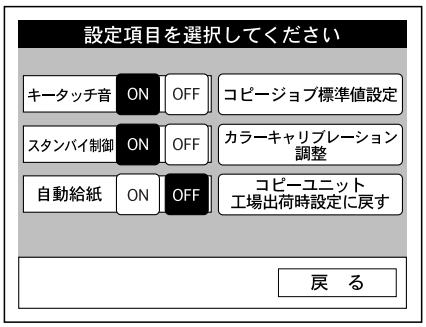


5 再び、手順❸の画面が表示されます。手順❸、❹を再度行います。

手順❸、❹の作業を 2 回繰り返すと、調整が終了します。
キャリブレーション調整が終了すると、次の画面が表示されます。戻る ボタンを押してキャリブレーション調整を終了してください。



コピーユニット工場出荷時設定に戻す



コピーユニットのすべての設定値を、工場出荷時設定に戻します。
コピーに関するすべての設定値が工場出荷時の状態に戻る他、カラーキャリブレーション調整の結果や、メモリ ボタンに登録したコピージョブ設定などもすべて削除されるため注意してください。

困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法を説明しています。

- 故障かな？と思ったら P.118
- エラーメッセージ一覧 P.119
- スキャナの ADF で原稿が詰まったときは P.133
- プリンタで用紙が詰まったときは P.135
- プリンタが正常に給紙 / 排紙をしない原因 P.148
- コピー品質上のトラブル P.150
- 原稿とコピー結果の色が合わない P.155
- 消耗品の交換 P.157
- サポートのご案内 P.158

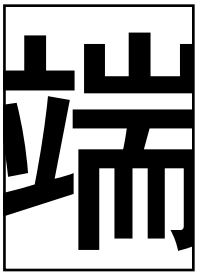
故障かな？と思ったら

現在の症状がどれにあてはまるかを次の中から選び、それぞれの参照先をご覧ください。

コピー時のトラブル（エラー発生）

プリンタエラー発生 用紙なし	コピー時にエラーが発生した場合の対処方法を説明しています。 ☞ 本書「エラーメッセージ一覧」次ページ

コピー品質上のトラブル

	• 端の部分がコピーされない、コピー品質が良くないなどのトラブルの対処方法を説明しています。 ☞本書「コピー品質上のトラブル」P.150 • 画質の調整方法などについては、別冊「コピー画質の調整方法」をご覧ください。

ポイント

本文や表中に、プリンタに添付のユーザーズガイドの参照箇所を記載している場合があります。

エラーメッセージ一覧

コピー中に何らかの問題が発生した場合、CS-6500Sの操作パネルにエラーメッセージが表示されます。このときは、次のように対処してください。

プリンタ側のエラー

プリンタ側のエラーについては、操作パネル上と、プリンタ本体のパネルに同時に表示されます。パネルに表示されるメッセージには次の種類があります。

ワーニングメッセージ	何らかの注意または警告を表示します。
エラーメッセージ	トラブルの発生を表示します。
サービスコールエラーメッセージ	エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生したときに表示します。

ポイント

プリンタパネルに表示される「＊＊＊＊トナー」または「＊＊＊＊カートリッジ」の「＊＊＊＊」の部分には、Y（イエロー）、M（マゼンタ）、C（シアン）、K（黒）のいずれかが表示されます。

ワーニングメッセージ

操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタワーニング 発生 ROMモジュール ストップボタンを押して ください 処理は続行します	ROMモジュールX フォーマットエラー	書き込み可能で未フォーマットのROMモジュールがソケットXに装着されています。 初めて書き込むROMモジュールの場合： 問題ありません。 書き込み終了後のROMモジュールの場合： ①再度ROMモジュールへの書き込みを行います。 ②さらに同じメッセージが表示された場合は、ROMモジュールが破損している可能性がありますので、プリンタの電源をオフにしてからROMモジュールを取り外してください。
プリンタワーニング 発生 感光体ユニット ストップボタンを押して ください 処理は続行します	カンコウタイ ユニット コウカン マヂカ	感光体ユニットの寿命が近づきました。新しい感光体ユニットに交換してください。 ☞プリンタユーザーズガイド「感光体ユニットの交換」

操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタワーニング 発生 定着ユニット ストップボタンを押して てください 処理は続行します	テイチャクユニット コウカンマヂカ	定着ユニットの寿命が近づいています。プリンタを購入した販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
プリンタワーニング 発生 電池交換 ストップボタンを押して てください 処理は続行します (LP-8500C のみ)	デンチ　コウカン	プリンタに内蔵されている時計の電池がなくなりました。 プリンタは使用できますが、ジョブ管理用の日時が記録できません。プリンタを購入した販売店または保守サービス実施店にご連絡いただき、電池を交換してください。
プリンタワーニング 発生 トナーカートリッジ ストップボタンを押して てください 処理は続行します	＊＊＊＊トナーガ スクナクナリマシタ	＊＊＊＊に表示されている色のETカートリッジのトナー残量が少なくなりました。「＊＊＊＊」に表示されている色のカートリッジを新しいETカートリッジに交換してください。 ☞プリンタユーザーズガイド「ETカートリッジの交換」
プリンタワーニング 発生 廃トナーボックス ストップボタンを押して てください 処理は続行します	ハイトナーボック ス コウカン マヂカ	廃トナーボックスの空き容量が少なくなりました。新しい廃トナーボックスに交換してください。 ☞プリンタユーザーズガイド「廃トナーボックスの交換」
プリンタワーニング 発生 部数指定できませんでした ストップボタンを押して てください 処理は続行します	ブスウシテイ デキマセンデシタ	指定した部数の印刷データを扱うためのメモリまたはハードディスクの容量がたりません。ストップボタンを押すと、読み取ったページまで丁合いコピーします。
プリンタワーニング 発生 プリフィードエラー ストップボタンを押して てください 処理は続行します	プリフィード　エラー	プリンタが給紙を始めましたが、印刷データがエンジンの設定時間に用意できなかったため、強制排紙（白紙印刷）しました。

操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタワーニング 発生 メモリ不足 ストップボタンを押して ください 処理は続行します	カイゾウドヲ オト シマシタ	メモリ不足により、指定された解像度での印刷ができず、何らかの省略を行って印刷しました。
プリンタワーニング 発生 メモリ不足 ストップボタンを押して ください 処理は続行します	メモリノ ゾウセツ ヲ オススメシマス	印刷処理中にメモリ不足が発生したために、印刷処理が遅くなっている可能性があります。印刷は続行されます。
プリンタワーニング 発生 用紙が正しくありません ストップボタンを押して ください 処理は続行します	ハイシグチ　シテイ エラー	指定した排紙装置に排紙できない用紙です。 印刷は続行され、フェイスアップトレイに排紙されます。
プリンタワーニング 発生 用紙が正しくありません ストップボタンを押して ください 処理は続行します	ヨウシサイズエラー	給紙した用紙のサイズと設定されている用紙サイズが異なっています。印刷は続行されます。
プリンタワーニング 発生 用紙が正しくありません ストップボタンを押して ください 処理は続行します	ヨウシタイプ エラー	印刷時に指定した用紙サイズと用紙タイプの用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙します。印刷は続行されます。

エラーメッセージ

操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタエラー発生 HDD エラー システムの電源を再投入してください	HDD エラー	プリンタの電源をオフにした後、プリンタオプションのハードディスクユニットが正しく装着されているか確認してください。エラーの表示が消えない場合は、お買い上げの販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。
プリンタエラー発生 ROM モジュール システムの電源を再投入してください	ROM モジュール X リードエラー	プリンタに使用できない ROM モジュールが装着されています。プリンタの電源をオフにした後、その ROM モジュールを取り外してください。
プリンタエラー発生 ROM モジュール プリンタのエラー解除後ストップボタンを押してください	ROM モジュール A カキコミエラー	ROM モジュールに書き込みできませんでした。 ① ストップ ボタンを押して処理を中止します。 ② プリンタに装着されている ROM モジュールを確認してください。
プリンタエラー発生 オーバーランエラー プリンタのエラー解除後処理は続行します	ページエラー オーバーラン	印刷内容が複雑なため、プリンタの処理が追いつきません。プリンタの エラー解除 スイッチを押すと処理を続行します。
プリンタエラー発生 オプション I/F エラー システムの電源を再投入してください	I/F カードエラー	使用できないインターフェイスカードがプリンタにセットされています。 プリンタの電源をオフにして、インターフェイスカードを取り外し、電源をオンにします。
プリンタエラー発生 オフライン プリンタのエラー解除後処理は続行します		プリンタの 印刷可 スイッチを押してください。
プリンタエラー発生 カバー A オープン プリンタのエラー解除後処理は続行します	カバー A ガ アイテイマス	プリンタ左側のカバー A（排紙カバー）が開いています。または確実に閉じていません。 カバー A を確実に閉じると自動的にエラーを解除して処理を続行します（P.135 参照）。

操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタエラー発生 カバー D オープン プリンタのエラー解除 後処理は続行します	カバー D ガ アイテイマス	プリンタ右側のカバー D（本体右側給紙カバー）が開いています。または確実に閉じていません。 カバー D を確実に閉じると自動的にエラーを解除して処理を続行します（P.135 参照）。
プリンタエラー発生 カバー E オープン プリンタのエラー解除 後処理は続行します	カバー E ガ アイテイマス	プリンタ用オプションの増設カセットユニット右側のカバー E（給紙カバー）が開いています。または確実に閉じていません。 カバー E を確実に閉じると自動的にエラーを解除して処理を続行します（P.135 参照）。
プリンタエラー発生 カバー F オープン プリンタのエラー解除 後処理は続行します	カバー F ガ アイテイマス	プリンタ用オプションの両面印刷ユニット左側のカバー F（下反転ユニット）が開いています。または確実に閉じていません。 カバー F を確実に閉じると自動的にエラーを解除して処理を続行します（P.135 参照）。
プリンタエラー発生 カバーオープン プリンタのエラー解除 後処理は続行します	マエ カバーガ アイテイマス	プリンタの前カバーが開いています。 カバーを閉じるとエラー状態は自動的に解除されます。
プリンタエラー発生 紙ジャム A プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ジャム A	プリンタ内部の排紙部付近で用紙が詰まりました。 詰まっている用紙を取り除いてください。自動的にエラーを解除して処理を続行します。 ☞本書「排紙口での用紙詰まり」P.144
プリンタエラー発生 紙ジャム B プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ジャム B	プリンタ内部（給紙口以外）で用紙が詰まりました。詰まっている用紙を取り除いてください。 自動的にエラーを解除して処理を続行します。 ☞本書「定着ユニットでの用紙詰まり」P.142

操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタエラー発生 紙ジャム C/ 紙ジャム D/ 紙ジャム E プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ジャム C	プリンタの給紙口や紙送りユニットで用紙が詰まりました。 詰まっている用紙を取り除いてください。 自動的にエラーを解除して処理を続行します。 ☞本書「給紙口での用紙詰まり」P.137、140
	ジャム D	
	ジャム E	
プリンタエラー発生 紙ジャム　F プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ジャム　F	プリンタのカバー F（左カバー）内部で紙詰まりが発生しました。 詰まっている用紙を取り除いてください。 自動的にエラーを解除して処理を続行します。 ☞本書「下反転ユニットでの用紙詰まり」P.145
プリンタエラー発生 紙ジャム　G プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ジャム　G	プリンタのユニット G（両面トレイユニット）で紙詰まりが発生しました。詰まっている用紙を取り除いてください。 自動的にエラーを解除して処理を続行します。 ☞本書「両面印刷ユニットでの用紙詰まり」P.146
プリンタエラー発生 感光体ユニット システムの電源を再投入してください	カンコウタイガ コショウデス	感光体ユニットが故障しています。 使用可能な感光体ユニットをセットします。 ☞プリンタユーザーズガイド「感光体ユニットの交換」
プリンタエラー発生 感光体ユニット システムの電源を再投入してください	カンコウタイガ タダシクアリマセン	使用できない感光体ユニットがセットされています。 正しい感光体ユニットをセットします。 ☞プリンタユーザーズガイド「感光体ユニットの交換」
プリンタエラー発生 感光体ユニット システムの電源を再投入してください	カンコウタイユニットガ アリマセン	(1) 感光体ユニットがセットされていない、または（2）感光体ユニットが正しくセットされていません。 プリンタの電源をオフにして、感光体ユニットを正しくセットし、電源をオンにします。

操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタエラー発生 感光体ユニット システムの電源を再投入してください	カンコウタイニット コウカン	感光体ユニットの寿命です。新しい感光体ユニットに交換してください。 ☞プリンタユーザーズガイド「感光体ユニットの交換」
プリンタエラー発生 サービスコールエラー システムの電源を再投入してください	サービスヘレンラク シテクダサイ xxxx	プリンタにエラー状態の解除が不可能なトラブルが発生しているか、または定期交換部品の寿命が尽きています。プリンタは自動的に印刷を停止します。 プリンタユーザーズガイド「困ったときは（サービスコールエラーが表示された場合）」を参照して対処してください。
プリンタエラー発生 通信エラー プリンタのエラー解除後ストップボタンを押してください		①CS-6500S とプリンタが正しくケーブルで接続されているか確認してください。 ②確認したら、ストップボタンを押してください。 ③再度コピー操作を行ってください。
プリンタエラー発生 トナーカートリッジ プリンタのエラー解除後処理は続行します	＊＊＊＊カーリッジ ガ アリマセン	＊＊＊＊に表示されている色の ET カートリッジがセットされていません。 表示されている色のカートリッジをセットして前カバーを閉じると、自動的にエラーを解除して処理を続行します。
プリンタエラー発生 トナーカートリッジ プリンタのエラー解除後処理は続行します	＊＊＊＊カーリッジ コウカン	＊＊＊＊に表示されている色の ET カートリッジが空になりました。 表示されている色のカートリッジを交換して前カバーを閉じると、自動的にエラーを解除して処理を続行します。
プリンタエラー発生 濃度エラー システムの電源を再投入してください	ノウド エラー インサツ フカノウ	印刷色が異常に濃い値に設定された印刷データが送られました。 ①給紙口に詰まっている用紙を取り除きます（P.137 参照）。 ②プリンタの電源を入れ直します。

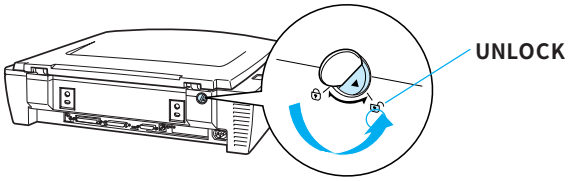
操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタエラー発生 廃トナーボックス プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ハイトナーボックス スガ アリマセン	廃トナーボックスがセットされていません。 ①廃トナーボックスをセットします。 ②プリンタの前カバーを閉じると自動的にエラーを解除して処理を続行します。
プリンタエラー発生 廃トナーボックス プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ハイトナーボックス コウカン	廃トナーボックスの空き容量がなくなりました。新しい廃トナーボックスに交換してください。 ☞プリンタユーザーズガイド「廃トナーボックスの交換」
プリンタエラー発生 フェータルエラー システムの電源を再投入してください		①プリンタの電源を一度オフにし、再度オンにします。 ②正常に復帰したら、再度コピー操作を行ってください。 正常に復帰しない場合は、プリンタの故障が考えられます。お買い求めいただいた販売店または、保守サービス実施店にご相談ください。
プリンタエラー発生 プリンタリセット プリンタのエラー解除 後ストップボタンを押してください		プリンタがリセットされるのを待って、ストップボタンを押して、処理を中止してください。
プリンタエラー発生 メモリ不足 プリンタのエラー解除 後ストップボタンを押してください	メモリオーバー メモリガタリマセン	処理中にメモリ不足が発生して印刷が続行できません。 プリンタのエラー解除スイッチを押して、操作パネルのストップボタンを押してください。処理を中止します。
プリンタエラー発生 メモリ不足 プリンタのエラー解除 後ストップボタンを押してください	リョウメンインサツ　メモリガタリマセン	両面印刷の印刷データを扱うためのメモリが足りないため、裏面側が印刷できません。 表面側のみ印刷して排紙します。

操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタエラー発生 モデルエラー バージョンが異なります （または　モデル名が異なります） プリンタのエラー解除後ストップボタンを押してください		本機に接続してカラーコピーできるのは LP-8500C/8300C のみです。それ以外のプリンタは使用できません。 LP-8500C/8300C を接続していてもこのエラーが発生した場合は、再確認 ボタンを押してください。
プリンタエラー発生 ユニット B オープン プリンタのエラー解除後処理は続行します	ユニット B ガ アイテイマス	プリンタ左側のユニット B（定着ユニット）が引き出されています。または確実に閉じていません。 ユニット B を確実に閉じると自動的にエラーを解除して処理を続行します（P.135 参照）。
プリンタエラー発生 ユニット C オープン プリンタのエラー解除後処理は続行します	ユニット C ガ アイテイマス	プリンタ右側のユニット C（紙送りユニット）が引き出されています。または確実に閉じていません。 ユニット C を確実に閉じると自動的にエラーを解除して処理を続行します（P.135 参照）。
プリンタエラー発生 ユニット G オープン プリンタのエラー解除後処理は続行します	ユニット G ガ アイテイマス	プリンタ用オプションの両面印刷ユニット前面のユニット G（水平搬送ユニット）が引き出されています。または確実に閉じていません。 ユニット G を確実に閉じると自動的にエラーを解除して処理を続行します（P.135 参照）。
プリンタエラー発生 用紙が正しくありません プリンタのエラー解除後処理は続行します	OHP シートガ タダシクアリマセン	(1) OHP シートのセット方向が間違っている、または (2) 指定外の OHP シートがセットされています。 (1) 給紙口に詰まっている OHP シートを取り除き、正しい向きで用紙トレイにセットし直してください。一旦紙送りユニットを開閉してエラーを解除すると、処理を続行します。 (2) 指定の OHP シートをセットしてください。

操作パネル表示	プリンタパネル表示	対処
プリンタエラー発生 用紙が正しくありません プリンタのエラー解除 後処理は続行します	xxxxx ヲ ヨコナガ ニ イレテクダサイ	給紙方向に対して横長にセットしなくてはならない用紙が縦長にセットされています。 用紙を横長にセットすると、処理を続行します。
プリンタエラー発生 用紙が正しくありません プリンタのエラー解除 後ストップボタンを押してください	ヨウシコウカン XXXX YYYY	印刷時に指定した給紙装置にセットされている用紙のサイズが正しくありません。 給紙装置 XXXX に、YYYY のサイズの用紙をセットしてください。
プリンタエラー発生 用紙なし プリンタのエラー解除 後処理は続行します	ヨウシナシ xxxx yyyy	(1) 用紙がセットされていない、または（2）用紙カセットがセットされていません。 (1) 給紙装置 xxxx にサイズ yyyy の用紙をセットすると自動的にエラーを解除して印刷を行います。 (2) 用紙カセットをプリンタにセットしてください。自動的にエラーを解除して処理を続行します。
プリンタエラー発生 両面印刷できません プリンタのエラー解除 後ストップボタンを押してください	リョウメンインサツ　デキマセン	用紙のサイズまたはタイプが、両面印刷不可能な設定のため、両面印刷の実行を中止します。
プリンタ使用中 処理は続行します		プリンタが、コンピュータで使用されています（印刷動作中）。

スキャナ側のエラー

エラーメッセージ	対処
スキャナエラー発生 ADFエラー 原稿台の原稿を取り除いてストップボタンを押してください	スキャナのADFと原稿台の両方に用紙がセットされています。ストップボタンを押して処理を中止した後、どちらか片方に原稿をセットしてからコピーしてください。
スキャナエラー発生 ADFエラー スキャナのエラー解除後ストップボタンを押してください	①スキャナの電源を一度オフにし、再度オンにします。 ②正常に復帰したら、ストップボタンを押してください。 ③再度コピー操作を行ってください。正常に復帰しない場合は、スキャナの故障が考えられます。お買い求めいただいた販売店または、お近くのフィールドセンターにご相談ください。フィールドセンターの連絡先は裏表紙にあります。
スキャナエラー発生 フェータルエラー スキャナのエラー解除後ストップボタンを押してください	
スキャナエラー発生 カバーオープン スキャナのエラー解除後ストップボタンを押してください	①スキャナのADFをしっかり閉じてください。 ②ADFを閉じたら、ストップボタンを押してください。 ③再度コピー操作を行ってください。
スキャナエラー発生 紙ジャム スキャナのエラー解除後ストップボタンを押してください	①スキャナのADFに詰まった紙を取り除きます。 ☞本書「スキャナのADFで原稿が詰まったときは」P.133 ②詰まった紙を取り除いたら、ストップボタンを押してください。 ③再度コピー操作を行ってください。

エラーメッセージ	対処
スキャナエラー発生 通信エラー スキャナが接続されておりません	次のことを確認してください。 ①スキャナの電源がオンになっているか オンになっていない場合は、オンにした後、再確認ボタンを押してください。 ②プリンタとスキャナがスキャナ用ケーブルで接続されているか 接続されていない場合は、接続した後、再確認ボタンを押してください。 ③スキャナの輸送用固定ノブがUNLOCKの状態になっているか LOCKの状態になっていた場合は、スキャナの電源をオフにしてから、ノブをUNLOCKの位置に回してください。その後スキャナの電源をオンにし、再確認ボタンを押してください。 
スキャナエラー発生 通信エラー スキャナのエラー解除後ストップボタンを押してください	①スキャナの電源がオンになっているか、またはプリンタとスキャナがスキャナ用ケーブルで接続されているか確認してください。 ②確認後、ストップボタンを押してください。 ③再度コピー操作を行ってください。
スキャナエラー発生 モデルエラー バージョンが異なります（または　モデル名が異なります） スキャナのエラー解除後ストップボタンを押してください	本機に接続してカラーコピーできるのは、ES-9000Hです。それ以外のスキャナは使用できません。これらのスキャナを接続していてもこのエラーが発生した場合は、再確認ボタンを押してください。
スキャナエラー発生 用紙が正しくありません。 ストップボタンを押してください。	スキャナのADFから給紙した用紙の向き、または用紙のサイズが正しくありません。 ストップボタンを押して処理を中止した後、用紙を確認して正しくセットしてください。
スキャナ使用中 ストップボタンを押してください。	スキャナがコンピュータで使用されています（読み取り動作中）。 ストップボタンを押して、処理を中止してください。

CS-6500S 本体のエラーメッセージ

エラーメッセージ	対処
キャリブレーション エラー発生 キャリブレーション失敗 エラー解除後ストップ ボタンを押してくだ さい	キャリブレーション調整中に問題が発生しました。 ストップボタンを押すと「カラーキャリブレーション調整」画面に戻りますので、カラーキャリブレーション実行ボタンを押して、再度キャリブレーション調整を行ってください。
キャリブレーション エラー発生 キャリブレーション失敗 ストップボタンを押し てください	
キャリブレーション エラー発生 原稿位置不正 原稿を正しく設定してストップボタンを押してください 処理は続行します	キャリブレーション調整のための原稿（カラーパターン）が正しくセットされていません。 ① スキャナのカバーを開け、原稿（カラーパターン）を正しくセットし直します。 ② ストップボタンを押すと、処理を再開します。
キャリブレーション エラー発生 原稿が曲がっております 原稿を正しく設定して ストップボタンを押し てください 処理は続行します	
キャリブレーション エラー発生 補正可能値オーバー ストップボタンを押し てください	
システムエラー発生 HDD フル ストップボタンを押し てください	丁合いコピー実行時、ハードディスクの空き領域が十分でないため、1ページ分の読み取りができませんでした。ストップボタンを押すと処理を中止します。
システムエラー発生 原稿が異常です ストップボタンを押し てください	コピーシステムで使用できない原稿がセットされている可能性があります。 ストップボタンを押した後、セットした原稿を確認してください。

エラーメッセージ	対処
システムエラー発生 内部エラー システムの電源を再投入してください	① スキャナ、プリンタの電源をオフにします。 ② 3 分ほど待ってから、再度電源をオンにします。 ③ 再度同じメッセージが表示される場合は、CS-6500S 本体の故障が考えられます。 お買い求めいただいた販売店または、保守サービス実施店にご相談ください。
システムエラー発生 フェータルエラー システムの電源を再投入してください	
ワーニング発生 HDD フル ストップボタンを押してください 処理は続行します	丁合いコピー実行時、ハードディスクの空き領域が十分でないため、読み取りを中断しました。ストップボタンを押すと、読み取ったページまでの丁合い印刷を行います。

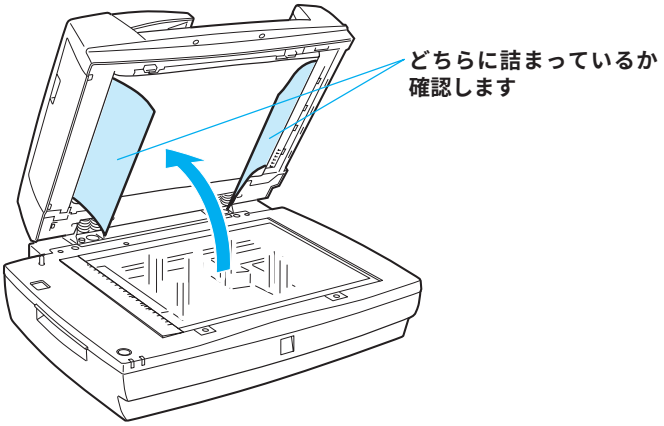
スキャナのADFで原稿が詰まったときは

スキャナのADF（オートドキュメントフィーダ）で原稿が詰まったときは、次の手順で詰まった原稿を取り除いてください。

ポイント

- ADFは原稿を連続してコピーすることができる装置です。
- ADFで詰まった用紙を取り除く場合、必ずADFのカバーを開けて用紙を取り除いてください。ADFの外側から用紙を引っ張って取り除かないでください。

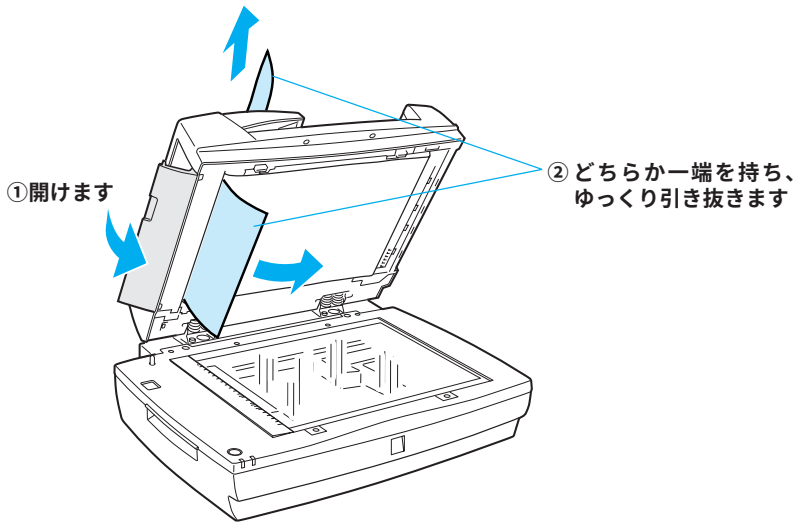
1 ADFを開け、原稿が詰まっている場所を確認します。



2 詰まっている原稿を取り除きます。

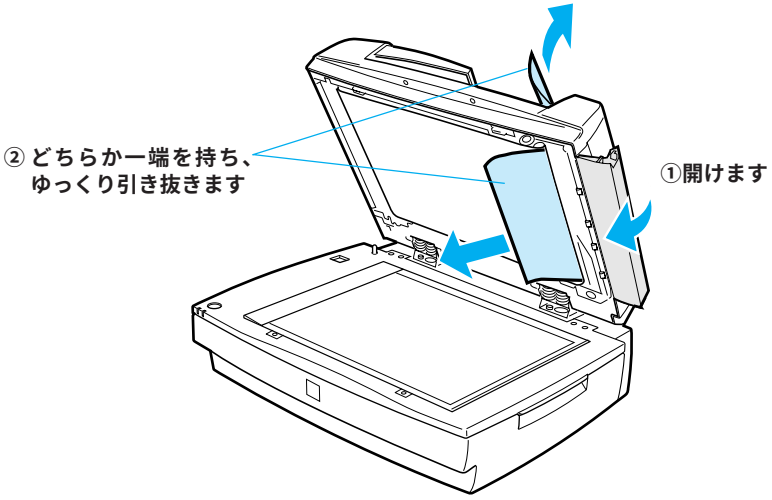
■給紙口で詰まった場合

①図のカバーを開け、原稿を押さえる力を解放します。
②原稿のどちらか一端を持ち、ゆっくり引き抜きます。強く引っ張ると原稿が破れるおそれがありますのでご注意ください。



■排紙口で詰まった場合

①図のカバーを開け、原稿を押さえる力を解放します。
②原稿のどちらか一端を持ち、ゆっくり引き抜きます。強く引っ張ると原稿が破れるおそれがありますのでご注意ください。



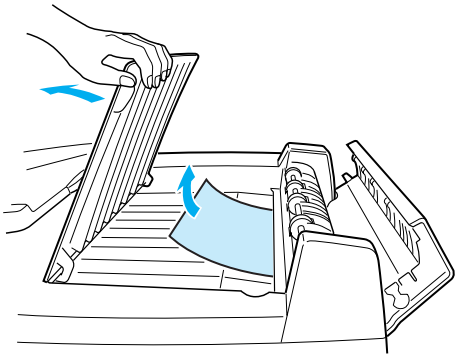
3 **原稿を取り除いたら、ADFのカバーを閉じてから、ADF本体を閉じます。**

ポイント

ADFで原稿が詰まったときは、原稿のセット方法は正しいか、仕様外の用紙（原稿）を使用していないか確認してください。
☞本書「スキャナへの原稿のセット」P.30

原稿が破れてしまった場合

原稿が破れて取り出せなくなった場合は、図のようにADF上面のカバーを開けて、原稿をゆっくり引き抜いてください。



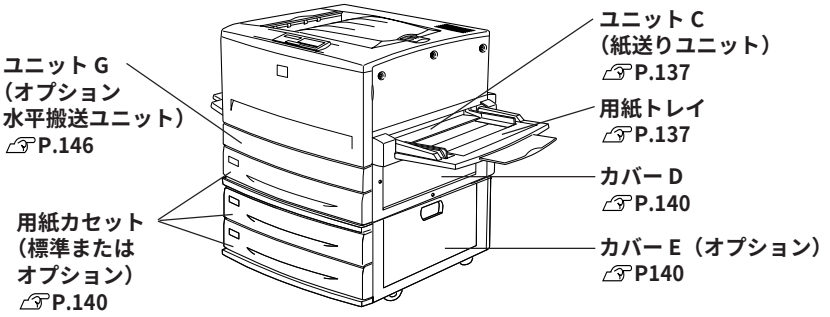
プリンタで用紙が詰まったときは

プリンタで用紙詰まりが発生した場合、操作パネル上に「紙ジャム＊」というメッセージが表示されます。
「＊」は、用紙詰まりが発生したプリンタのカバーやユニットの番号（A～G）を示します。用紙が詰まっている場所を確認し、詰まった用紙を取り除いてください。
詰まった用紙を取り除き、用紙カセット / カバー / ユニットを閉じると、プリンタは印刷可能な状態に戻り、コピーを自動的に再開します。

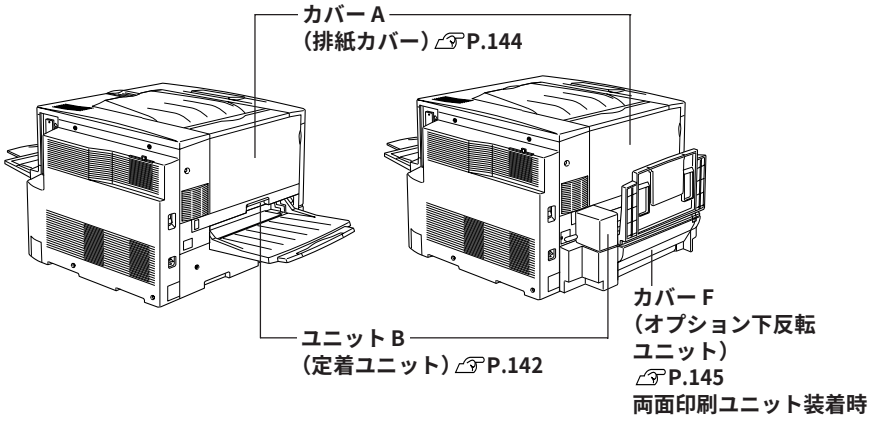
ポイント

- **オプションの専用スキャナスタンド（型番：CSCBN7A）を使用している場合は、はじめにプリンタを専用スキャナスタンドから出してください。**
- **用紙詰まりが発生した場合、プリンタ側の操作パネルにも「ジャム＊＊＊＊」と表示されます。プリンタ側のメッセージでは、「＊＊＊＊」の部分に用紙詰まりの発生した場所が最大 4 つまで表示されます。**

ジャム C、D、E、G



ジャム A、B、F



用紙の取り出しの注意

詰まった用紙を取り除くときは、次の点に注意してください。

- 用紙が破れてプリンタ内部に残らないよう、用紙に無理な力をかけずにゆっくりと引っ張って取り除いてください。
- 用紙を取り除く際に、破れた用紙がプリンタ内部に残ってしまった場合、また本書に記載の方法で取り除くことができない場所に用紙が詰まった場合は、無理に取り除こうとせずに、本機を購入された販売店または保守サービス実施店に連絡してください。
- プリンタ内部には、高温になっている箇所があります。「高温注意」を示すラベルが貼付してあるところには触れないよう注意してください。
- 用紙詰まりのエラー状態は、用紙を取り除いた後、用紙詰まりが発生した箇所のカバーやユニットを開閉することで解除されます。
  用紙カセットや用紙トレイから用紙を引き出して取り除いた場合、エラー状態を解除するために、紙送りユニット（カバー D またはカバー E）を一度開閉してください。
- フェイスアップトレイやフェイスダウントレイから用紙を引っ張って取り除くことはしないでください。
  この場合、必ず排紙カバー（カバー A）か定着ユニット（ユニット B）を開けて取り除いてください。

用紙を取り除いてもエラーが解除されない場合は、見えない場所で紙詰まりが発生している可能性がありますので、お買い求めいただいた販売店または保守サービス実施店へご相談ください。

給紙口での用紙詰まり（ジャム C/D/E）

給紙口または紙送りユニットで用紙詰まりが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

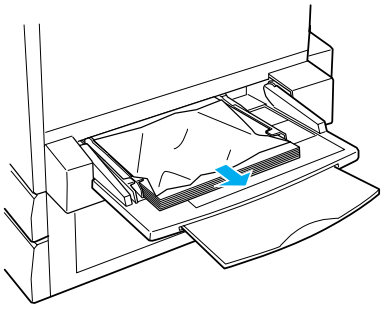
表示部	メッセージ
操作パネルのディスプレイ	紙ジャム C/ 紙ジャム D/ 紙ジャム E

用紙詰まりの箇所を以下の説明の順番通りに調べ、詰まった用紙を探して取り除いてください。

用紙トレイの確認

用紙トレイから給紙した場合は、用紙トレイに用紙が詰まっていないか確認します。

1 **詰まっている用紙を、ゆっくり引き抜きます。**



2 **用紙が残っている場合は、セットし直します。**

ポイント

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、紙送りユニット C またはカバー D を開閉することで解除されます。

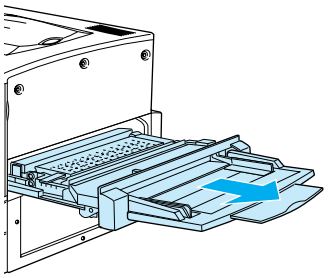
詰まった用紙が見つからない場合は、次へ進んでください。

紙送りユニット C の確認

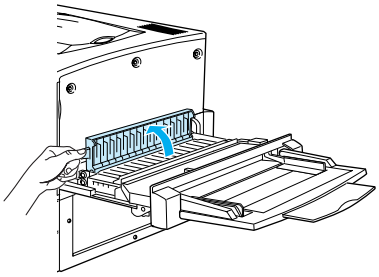
次に、紙送りユニット C 内部を確認します。

1 **本体右側の紙送りユニット C を、止まるまで引き出します。**

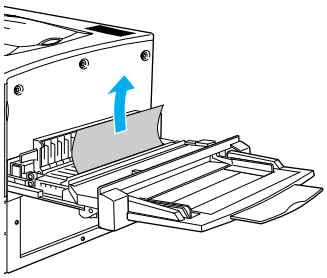
詰まっている用紙が破れないように ゆっくり引き出してください。



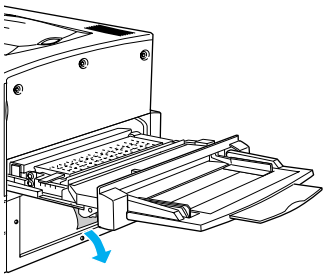
2 **内部の取っ手を持ち上げ、カバーを開きます。**



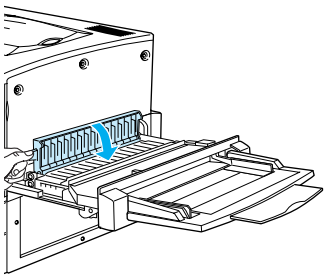
3 **詰まっている用紙を矢印の方向にゆっくり引き抜きます。**



4 **紙送りユニット C の裏側を確認して、詰まっている用紙をゆっくり引き抜きます。**

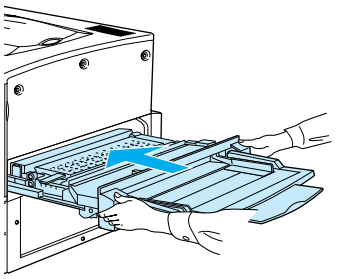


5 カバーを閉じます。



6 紙送りユニット C を閉じます。

プリンタの右側面に向けてまっすぐに押し、しっかりと閉じてください。



ポイント

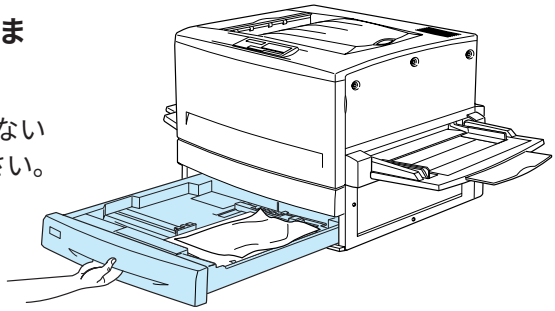
- **紙送りユニットをしっかり閉じていないと、操作パネルに「ユニット C ガアイテイマス」とメッセージが表示されます。紙送りユニットを確認してしっかりと閉じてください。**
- **用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、紙送りユニットを閉じることで解除されます。**

用紙カセットからの用紙の取り出し（ジャム D, E）

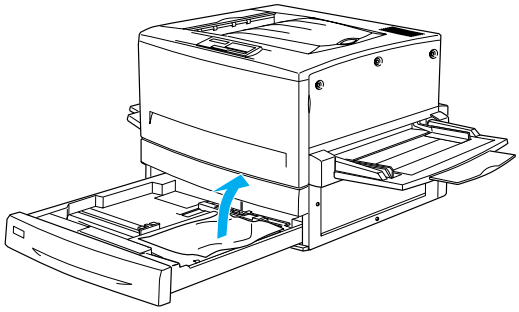
用紙カセットの内部を確認します。ここでは、標準装備の用紙カセット（ジャム D）での場合を説明します。オプションの増設カセットユニット装着時（ジャム E）は、同様の手順で確認してください。

1 **用紙カセットをゆっくり、止まるまで引き出します。**

紙詰まりを起こした用紙が破れないように注意して引き出してください。



2 **詰まっている用紙、シワが生じている用紙を取り除きます。**



ポイント

用紙を取り除く際に用紙が破れてしまった場合、プリンタ内部に紙片が残っていないかを確認して、残っている紙片を取り除いてください。

3 **用紙カセットの用紙をセットし直し、用紙カセットを閉じます。**

ポイント

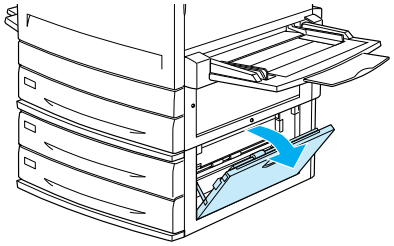
用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、用紙カセットを閉じることで解除されます。

用紙詰まりのエラー状態が解除されない場合は、もう一度最初に戻って詰まった用紙の取り残しがないか確認してください。

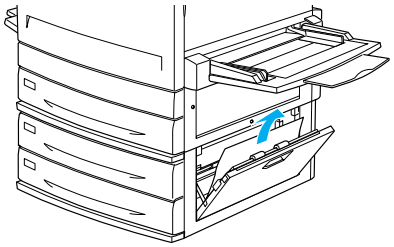
カバー E の確認（ジャム E）（オプションの増設カセットユニット装着時）

オプションの増設カセットユニットを装着している場合は、次に増設カセットユニット右側のカバー E を確認します。ここでは、増設カセットユニット（2 段）を例にしています。

1 **増設カセットユニット右側のカバー E を図のように開きます。**



2 **用紙の端を持ち、破れないようにゆっくりと引き抜きます。**



3 **カバー E を閉じます。**

ポイント

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、カバー E を閉じることで解除されます。

定着ユニットでの用紙詰まり（ジャム B）

定着ユニット（本体左側のユニット B）で用紙詰まりが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネルのディスプレイ	紙ジャム B

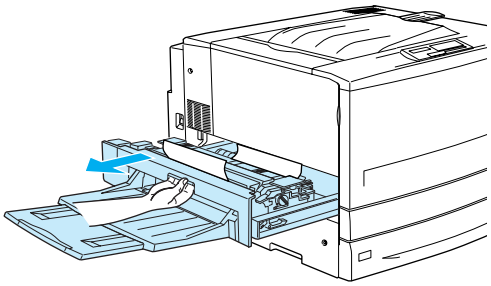
以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

ポイント

フェイスアップトレイに排紙される途中で詰まった用紙は、必ず定着ユニットを開けて取り除いてください。フェイスアップトレイから引っ張って取り除かないでください。

1 本体左側の定着ユニットを、止まるまで引き出します。

詰まっている用紙が破れないようにゆっくり引き出してください。

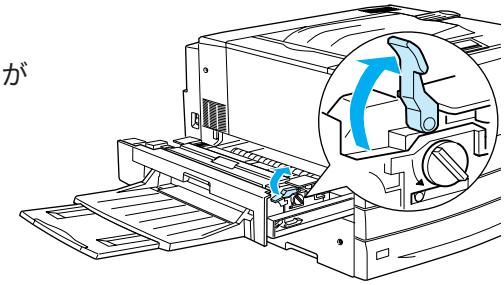


⚠注意

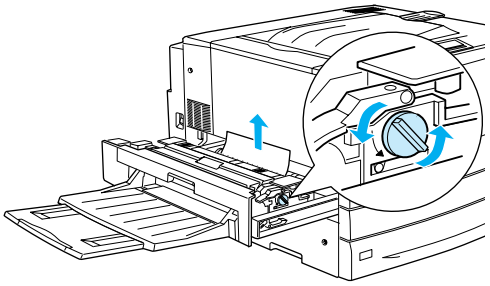
プリンタ内部の定着器やその周辺部分には絶対に触れないでください。高温のため、火傷の原因となることがあります。

2 図のレバーを引き上げます。

給紙経路が開き、用紙の送り出しが容易に行えます。



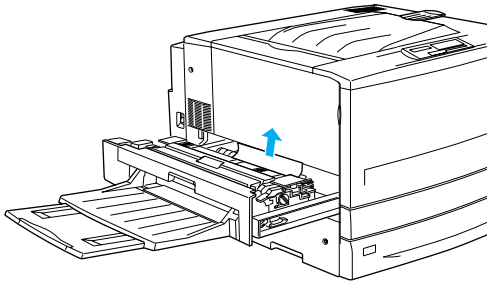
3 ノブを矢印の方向に回して用紙を送り出します。



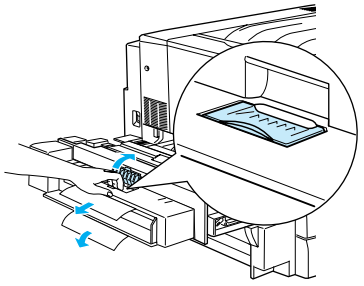
ポイント

定着ユニットBで詰まった用紙は、必ず上図の方向に送り出して取り除いてください。

4 詰まっている用紙を、右図の矢印の方向にゆっくりと引き抜きます。



両面印刷ユニット装着時、図のカバー内に用紙が確認できても引き抜けないときは、カバーを開き手で用紙を送り出してから引き抜いてください。



5 定着ユニットBを閉じます。

プリンタの左側面に向けてまっすぐに押し、しっかりと閉じてください。

ポイント

定着ユニットBをしっかり閉じていないと、操作パネルに「ユニットBガアイテイマス」とメッセージが表示されます。定着ユニットBを確認してしっかり閉じてください。

排紙口での用紙詰まり（ジャム A）

排紙カバー（本体左側のカバー A）内部で用紙詰まりが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

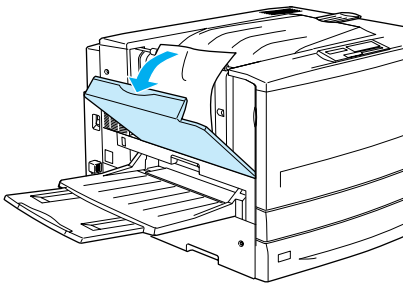
表示部	メッセージ
操作パネルのディスプレイ	紙ジャム A

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

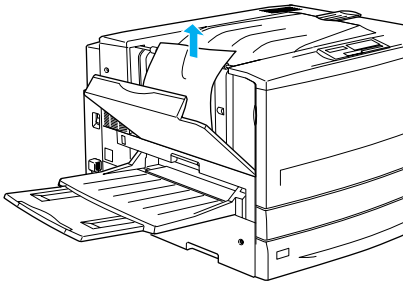
ポイント

フェイスダウントレイに排紙される途中で詰まった用紙は、必ず排紙カバーを開けて取り除いてください。フェイスダウントレイから引っ張って取り除かないでください。

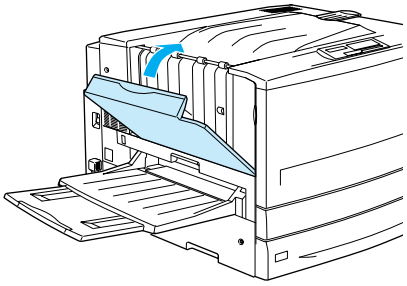
1 **本体左側のカバー A を図のように開きます。**



2 **詰まっている用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**



3 **カバー A を閉じます。**



ポイント

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、カバー A を閉じることで解除されます。

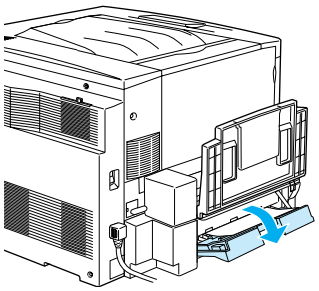
下反転ユニットでの用紙詰まり（ジャム F）

オプションの両面印刷ユニット装着時、本体左下側の下反転ユニット（カバー F）で用紙詰まりが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

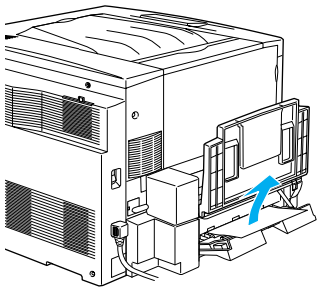
表示部	メッセージ
操作パネルのディスプレイ	紙ジャム F

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1 **下反転ユニット（カバー F）を図のように開きます。**



2 **詰まっている用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**



3 **下反転ユニット（カバー F）を閉じます。**

ポイント

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、下反転ユニット（カバー F）を閉じることで解除されます。

両面印刷ユニットでの用紙詰まり（ジャム F, D, G）

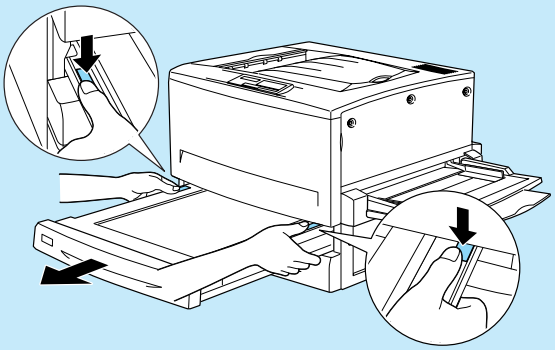
オプションの両面印刷ユニット装着時、ユニット内部で用紙詰まりが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

表示部	メッセージ
操作パネルのディスプレイ	紙ジャム F/ 紙ジャム D/ 紙ジャム G

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

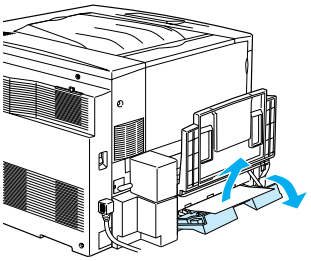
ポイント

ユニット G は、必ずカバー F とカバー D の確認が終わってから引き出してください。以下の手順どおりに確認しなかったために用紙が内部に残ってしまった場合は、以下の手順で水平搬送ユニットを取り外し、用紙を取り除いてください。



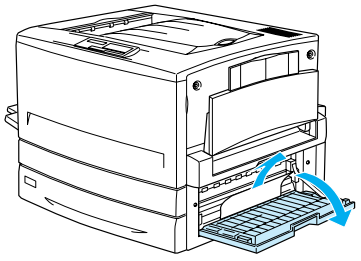
1 カバー F を開き、用紙詰まりを確認します。

下反転ユニットを開いて詰まっている用紙があれば、用紙をゆっくりと引き抜いてから下反転ユニット（カバー F）を閉じます。

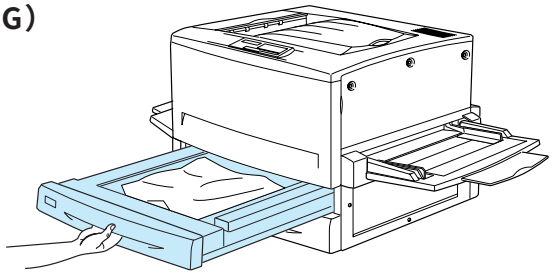


2 カバー D を開き、用紙詰まりを確認します。

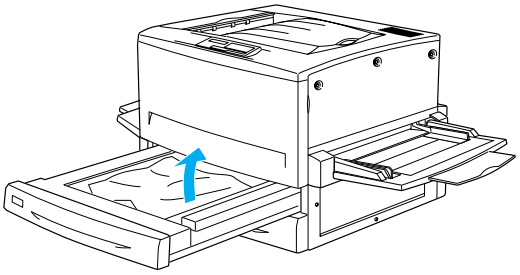
カバー D を開いて詰まっている用紙があれば、用紙をゆっくりと引き抜いてからカバー D を閉じます。



3 水平搬送ユニット（ユニット G）を図のように引き出します。



4 ユニット G に詰まっている用紙を破れないようにゆっくりと取り除きます。



5 ユニット G を閉じます。

ポイント

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、ユニット G を閉じることで解除されます。

プリンタが正常に給紙 / 排紙をしない原因

用紙が詰まる／給排紙されない

チェック

プリンタは水平な場所に設置されていますか？プリンタの下にはさまれている物はありませんか？

設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。

チェック

本機で使用可能な用紙を使用していますか？

使用可能な用紙を使用してください。
☞プリンタユーザーズガイド「用紙について」

チェック

用紙をセットする前によくさばいていますか？

用紙を複数枚セットする場合は、セットする前に用紙をよくさばいてください。

チェック

用紙カセットや用紙トレイに用紙が正しくセットされていますか？

用紙を正しくセットしてください。
☞プリンタユーザーズガイド「用紙のセット」

チェック

用紙カセットがプリンタに正しくセットされていますか？

用紙カセットを正しくセットしてください。
☞プリンタユーザーズガイド「用紙カセットへの用紙のセット」

チェック

ハガキ、厚紙、OHPシートの場合、用紙トレイにセットしていますか？

ハガキ、厚紙、OHPシートは、用紙トレイにセットしてください。エプソン製カラーレーザープリンタ用OHPシートは、シート上の印を確認して、表側を上にしてください。

チェック

コピーデータが、印刷可能領域いっぱいになっていませんか？

コピーデータが、出力する用紙の印刷可能領域いっぱいの場合、用紙詰まりが発生することがあります。
このようなときは、用紙の給紙方向の余白が 10mm 以上になるよう、縮小率を設定してください。また、厚紙の使用時や、［片面→両面］/［両面→両面］コピー時も、用紙の給紙方向の余白が 10mm 以上になるよう設定されることをお勧めします。

用紙を二重送りしてしまう

チェック

用紙どうしがくっついていませんか？

用紙をよくさばいてください。

チェック

官製ハガキの先端が下向きに反っていませんか？

先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

コピー品質上のトラブル

ポイント

思うような画質でコピーできない場合の対処方法を、別冊「コピー画質の調整方法」で説明しています。

端の部分がコピーされない

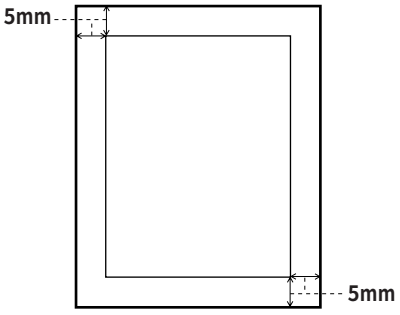
チェック

PAPER

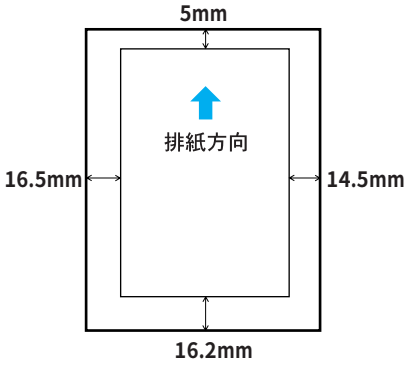
チェック

プリンタには、すべての用紙サイズに共通して、印刷できない部分（余白）があります。

● A3 ～ B5 の定形紙、ハガキ



● A3W（ノビ）



紙面いっぱいに印刷された原稿を、同じサイズの用紙にコピーすると、上記余白の部分が印刷されません。このときは、次のように対処してください。

● 元の原稿の大きさを変えたくない場合

コピーする用紙サイズを、原稿よりも一回り大きいサイズにしてください。（原稿が B5 の場合は A4、B4 の場合は A3 など）

● 元の原稿の大きさを、多少縮小してもよい場合

原稿と同サイズのコピー用紙をセットし、フィットページ機能を ON にします。

コピー基本画面から、縮小 ボタンまたは 拡大 ボタン→ フィットページ ボタンを押して、ボタンの表示を［フィットページ ON］にしてコピーしてください。

☞本書「フィットページ機能について」P.62

コピーにモアレ（網目状の陰影）が出る

チェック
操作パネル

「原稿タイプ」を「印刷物」に設定してコピーしてください。

「原稿タイプ」を「印刷物」に設定すると、モアレを防ぐことができます。

☞本書「原稿タイプの設定」P.65

黒い文字が黒くならない

チェック
操作パネル

「原稿タイプ」を「文字」に設定してコピーしてください。

「原稿タイプ」を「文字」に設定すると、黒い文字をくっきりと黒くコピーできます。

☞本書「原稿タイプの設定」P.65

写真のコピーで明るい部分が白く飛ぶ

特に人肌などが白く飛ぶ場合は、次のように対処してください。

チェック
操作パネル

[コピー基本] 画面で、「こく / うすく」を 1 段階「こく」側に設定してコピーしてください。

☞本書「コピー濃度（こく / うすく）の調整」P.67

印刷が薄い（うすくかすれる、不鮮明）

チェック

用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

感光体ユニットが劣化または損傷しています。
新しい感光体ユニットに交換してください。

ET カートリッジにトナーが残っていません。
新しい ET カートリッジに交換してください。

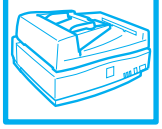
汚れ（点）が印刷される

チェック

使用中の用紙が適切ではありません。
印刷できる用紙の種類を確認し、印刷できる用紙を使用してください。
☞プリンタユーザーズガイド「用紙について」

感光体ユニットが劣化または損傷しています。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットに交換してください。

チェック



スキャナの原稿台（ガラス）が汚れていませんか？

ガラスが汚れている場合は、柔らかい乾いた布できれいにふいてください。

周期的に汚れがある

チェック

プリンタ内の定着器、または用紙経路が汚れています。
用紙を数枚印刷してください。

感光体ユニットが劣化または損傷しています。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットに交換してください。

指でこするとにじむ

チェック

用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙が適切ではありません。
印刷できる用紙の種類を参照して、印刷できる用紙を使用してください。
☞プリンタユーザーズガイド「印刷できる用紙の種類」

厚紙を使用中に、設定が厚紙になっていません。
用紙選択 ボタン→「手差しトレイ」の 設定変更 ボタンを押して、用紙種類を厚紙に設定してください。

塗りつぶし部分に白点がある

チェック

使用中の用紙が適切ではありません。
印刷できる用紙の種類を参照して、印刷できる用紙を使用してください。
☞プリンタユーザーズガイド「印刷できる用紙の種類」

用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。
用紙トレイの場合は、表（印刷）面を上に向けてセットしてください。
用紙カセットの場合は、表（印刷）面を下に向けてセットしてください。

ETカートリッジが劣化または損傷しています。
新しいETカートリッジに交換してください。

用紙全体が塗りつぶされてしまう

チェック

感光体ユニットが損傷または劣化しています。
新しい感光体ユニットに交換してください。

縦線が印刷される

チェック

感光体ユニットが損傷または劣化しています。
新しい感光体ユニットに交換してください。

何も印刷されない

チェック

一度に複数枚の用紙が搬送されています。
用紙をよくさばいて、セットし直してください。

ETカートリッジにトナーが残っていません。
新しいETカートリッジに交換してください。

感光体ユニットが劣化または損傷しています。
新しい感光体ユニットに交換してください。

白抜けがおこる

チェック

用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙が適切ではありません。
適切な用紙を使用してください。
☞ プリンタユーザーズガイド「印刷できる用紙の種類」

裏面が汚れる

チェック

用紙経路が汚れています。
数ページ印刷してください。プリンタ内部に通紙することで汚れが取れる場合があります。

印刷面がザラザラになる

チェック

湿気を多く含んだコート紙を使用していませんか？
開封直後のコート紙をご使用ください。コート紙は湿気をさけて保管してください。

原稿とコピー結果の色が合わない

まず、操作パネルの設定を確認しましょう

チェック
操作パネル

明暗・色合いを調整してありませんか？

調整してある場合は、リセット ボタンを押して標準設定に戻してください。

チェック
操作パネル

明暗・色合いを調整していない状態でコピー結果の色が合わない場合は、キャリブレーション調整を行ってください。

キャリブレーション調整を行うと、原稿により近い色合いで印刷できるようになります。

☞本書「カラーキャリブレーション調整」P.112

それでも解決しないときは

キャリブレーション調整を行ってもすべての色が合わない場合は、以降の説明を参考にして明暗・色合いを調整してください。

ポイント

印刷物は、シアン（C）・マゼンタ（M）・イエロー（Y）の3色（色の三原色）を組み合わせて色を表現しています。
このコピーシステムでは、①スキャナから画像を取り込み、②プリンタで印刷するわけですが、このとき、次の処理が行われます。

① スキャナから画像を取り込むと、原稿上のシアン（C）・マゼンタ（M）・イエロー（Y）の組み合わせが、赤（R）・緑（G）・青（B）の組み合わせ（光の三原色）に変換されます。
② プリンタはシアン・マゼンタ・イエローのトナーを組み合わせて印刷しますので、一旦赤・緑・青に変換されたデータを、再度シアン・マゼンタ・イエローに変換して印刷（コピー）されます。

つまり、「シアン・マゼンタ・イエロー」→「赤・緑・青」（光の3原色）→「シアン・マゼンタ・イエロー」（色の3原色）という変換が行われるために、原画とコピー結果の色合いを完全に一致させることはできません。ここでは、できる限り近づけるための調整方法を紹介しますので参考にしてください。

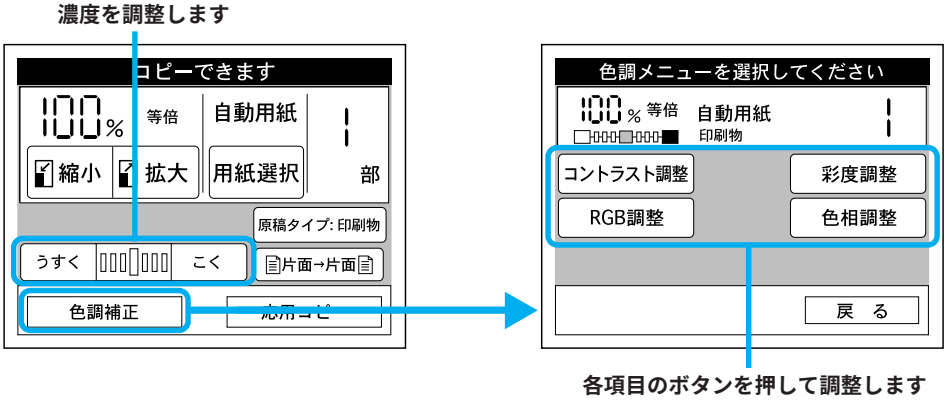
調整方法

❶ コピー結果と原稿を比較し、コピー結果の良くない部分を診断します。

問題点	対処方法
全体の明るさ(暗い/明るすぎる)	[基本画面]の[こく/うすく](濃度)レバーで調整します
明暗の差 (メリハリがある/メリハリがない)	[コントラスト調整] 画面で調整します
赤色の強弱(赤色が強い/赤色が弱い)	[RGB 調整] の「R」を調整します
緑色の強弱(緑色が強い/緑色が弱い)	[RGB 調整] の「G」を調整します
青色の強弱(青色が強い/青色が弱い)	[RGB 調整] の「B」を調整します
色のあざやかさ (くすんでいる/鮮やかすぎる)	[彩度調整] 画面で調整します
色合い(赤みが強い/緑が強い)	[色相調整] 画面で調整します

❷ 診断結果に基づいて、以下の画面で調整を行いコピーを実行します。

調整した結果は、ジョブメモリ ボタンを押して保存しておくことができます。



設定項目	設定の目的		設定方法 − ＋	
			−側(色相調整:赤)	＋側(色相調整:緑)
濃度調整	画像全体を濃くコピーするか/薄くコピーするか設定します。		色が薄くなります	色が濃くなります
コントラスト	画像全体の明暗の差を強くするか/弱くするか設定します。		明暗の差がなくなります	明暗の差が大きくなります
RGB 調整	画像全体を構成する赤/緑/青の各色の強さを設定します。グレーなどの無彩色コピー時に不必要な色を抑えることもできます。	R(赤)	緑と青が強くなります	赤が強くなります
		G(緑)	赤と青が強くなります	緑が強くなります
		B(青)	赤と緑が強くなります	青が強くなります
彩度調整	画像全体の色の鮮やかさを強くするか/弱くするか設定します。		鮮やかさが弱まり白っぽくなります	鮮やかになります
色相調整	特に肌色の部分において赤を強くするか/緑を強くするか設定します。		赤みが強くなります	緑色が強くなります

消耗品の交換

プリンタの消耗品の残り寿命が少なくなると、操作パネルとプリンタパネルに消耗品の交換を促すメッセージ１が表示されます。また、消耗品の寿命が終わると以下のメッセージ２が表示されます。

（　）内はプリンタの操作パネルに表示されるメッセージ

消耗品	メッセージ１	メッセージ２
ETカートリッジ(トナー)	プリンタワーニング発生トナーカートリッジ（＊＊＊＊トナーガスクナクナリマシタ）	プリンタエラー発生トナーカートリッジ（＊＊＊＊トナーカートリッジコウカン）
	＊＊＊＊にはトナーの色を以下のように略して表示します。 Y：イエロー　C：シアン　M：マゼンタ　K：黒	
感光体ユニット	プリンタワーニング発生 感光体ユニット（カンコウタイユニットコウカンマヂカ）	プリンタエラー発生 感光体ユニット（カンコウタイユニットコウカン）
廃トナーボックス	プリンタワーニング発生 廃トナーボックス（ハイトナーボックスコウカンマヂカ）	プリンタエラー発生 廃トナーボックス（ハイトナーボックスコウカン）

メッセージ１が表示された場合、消耗品の寿命まで印刷することは可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めの交換をお勧めします。また、メッセージ２が表示された場合、該当する消耗品を交換しないと印刷を再開することはできません。

消耗品を交換する際はプリンタ添付の「ユーザーズガイド」の該当ページを参照して、作業を行ってください。

- ET カートリッジ　：「ET カートリッジの交換」
- 感光体ユニット　：「感光体ユニットの交換」
- 廃トナーボックス：「廃トナーボックスの交換」

ポイント

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済み消耗品の回収方法については、新しい消耗品に添付されておりますご案内シートを参照してください。
やむを得ず、使用済み ET-カートリッジを処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

サポートのご案内

エプソンが行っている各種サービス、サポートは次の通りです。

エプソン FAX インフォメーション

EPSON 製品に関する最新情報をファックスでお知らせします。
ファックス付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）からおかけください。ファックス番号は裏表紙にあります。

エプソンインフォメーションセンター

EPSON 製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。
電話番号：本書裏表紙の一覧表をご覧ください。
受付時間：本書裏表紙の一覧表をご覧ください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受け付け窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンフィールドセンターまたはエプソン修理センター（本書裏表紙の一覧表をご覧ください）
  受付日時：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
  受付時間：9：00 ～ 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスを用意しております。使用頻度や使用目的に合せてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、最寄りのエプソンフィールドセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	・製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 ・修理のつど発生する修理代・部品代*が無償になるため予算化ができて便利です。 ・定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 * 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
	持込保守	・製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。 ・修理のつど発生する修理代・部品代*が無償になるため予算化ができて便利です。 ・持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。 * 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
スポット出張修理		・お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 ・故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料 ＋技術料 ＋部品代 修理完了後、そのつどお支払いください
持込／送付修理		・故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。 ・お持ち込みまたは送付の際には、必ず巻末の【修理依頼票】を製品に添付してください。 ・【修理依頼票】は修理箇所をすばやく的確に把握し、修理時間を短縮するための貴重な資料となります。	無償	基本料 ＋技術料 ＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください
ドアtoドアサービス		・指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 ・保証期間外の場合は、ドアtoドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償（ドアtoドアサービス料金のみ）	有償（ドアtoドアサービス料金＋修理代）

持込 / 送付修理される方へ

持込/送付修理をされる場合は、巻末の【修理依頼票】をコピーして、必要事項をご記入の上、必ず製品に添付してください。【修理依頼票】は修理箇所をすばやく、的確に把握し、修理時間を短縮するための貴重な資料となります。

インターネット・パソコン通信サービス

EPSON製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、パソコン通信による情報の提供を行っています。

■ インターネット
エプソン販売 WWW SERVER ： http://www.i-love-epson.co.jp

■ パソコン通信名
@ nifty ： EPSON information Forum（コマンド：GO␣FEPSONI）
␣は、半角スペースです。
* @ nifty（アットニフティ）会員のうち、旧 NIFTY SERVE 会員のみ利用可能

付録

ここでは、次の内容について説明しています。

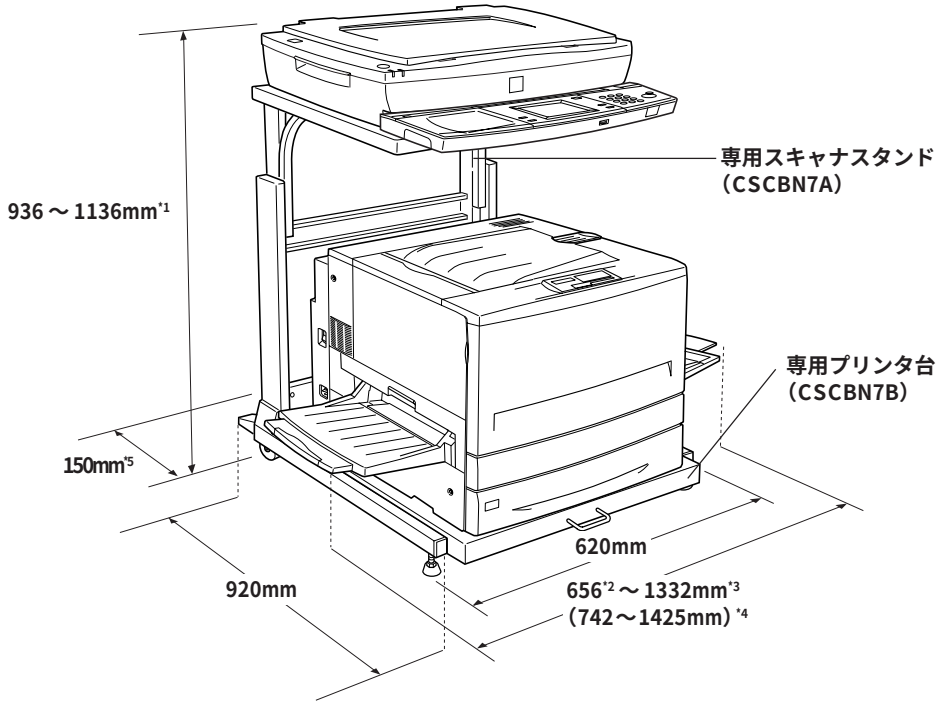
- オプションの紹介 P.162
- 日常のお手入れ P.163
- 移動時のご注意 P.164
- CS-6500S の基本仕様 P.165
- 索引 P.167

オプションの紹介

CS-6500S には次のオプションがあります。

専用スキャナスタンド / 専用プリンタ台

CS-6500S（操作パネル）、プリンタ、スキャナを効率良く設置することができます。
専用スキャナスタンドは、高さを 5 段階に調節できます。プリンタにオプションの増設カセットユニットを装着している場合、プリンタがスタンドの中に入るよう、組み立て時に高さを調節してください。
型番 ：専用スキャナスタンド　CSCBN7A
　　：専用プリンタ台　　CSCBN7B



*1 専用スキャナスタンドは、高さを 50mm ごとに 5 段階に調節できます。
*2 用紙トレイ、フェイスアップトレイを閉じた状態です。
*3 用紙トレイ、フェイスアップトレイを開いた状態です。
*4 オプションの両面印刷ユニット装着時の数値です。
*5 プリンタ背面には 15cm 以上、スキャナの背面には 10cm 以上のすき間が必要です。

日常のお手入れ

本機を末永くお使いいただけるように、定期的に次のようなお手入れをしてください。

CS-6500S

操作パネルの汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よくしぼって汚れをふきとってから、乾いた布でふいてください。

注 意

- **シンナー、ベンジンなどの揮発性薬品はケースなどの表面を痛めることがありますので、絶対に使わないでください。**
- **本機には絶対に水などがかからないように注意してください。**

故障のとき

本機には、お客様自身で修理、交換できる部品はありません。故障のときや調整が必要なときは、お買い求めの販売店か、フィールドセンターにお問い合わせください。フィールドセンターの連絡先は裏表紙にあります。

ポイント

故障かな？と思っても、取扱説明書中の「困ったときは」の内容に従って確認すれば、解決できることもあります。「困ったときは」の内容を確認してください。

プリンタ・スキャナ

プリンタ、スキャナの日常のお手入れについては、それぞれの製品に同梱の取扱説明書を参照してください。

プリンタ ： ユーザーズガイド「プリンタの清掃」
スキャナ ： ユーザーズガイド「日常のお手入れ」

移動時のご注意

カラーコピーシステムを移動するときは、スキャナとプリンタの電源スイッチでオフにしてください。

CS-6500S の移動

1 **プリンタとスキャナの電源スイッチをオフにします。**

2 **各種ケーブルを取り外します。**

3 **CS-6500Sの操作パネルを梱包します。**

専用の梱包箱と梱包材を使って、開梱したときと同じ状態で梱包してください。
正しく梱包しないと、輸送中に振動や衝撃が加わって故障の原因になります。

プリンタ・スキャナの移動

プリンタ、スキャナの移動方法については、それぞれの製品に同梱の取扱説明書を参照してください。

プリンタ ： ユーザーズガイド「プリンタの移動」
スキャナ ： ユーザーズガイド「移動時のご注意」

CS-6500S の基本仕様

仕様、外観は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
ここには、CS-6500S の基本仕様を記載してあります。プリンタ、スキャナの基本仕様については、それぞれの製品に同梱の取扱説明書を参照してください。

プリンタ ： ユーザーズガイド「プリンタの仕様」
スキャナ ： ユーザーズガイド「基本仕様」

対応プリンタ・スキャナ

●対応プリンタ	LP-8500C LP-8300C
●対応スキャナ	ES-9000H

機械的特性

●外形寸法（操作パネル）	幅 625mm ×奥行き 165mm ×高さ 37mm
●スキャナ、プリンタ接続方法	専用のI/Fカードとシールドケーブルにより接続

操作パネル

● LCD	320 × 240 画素 LCD およびタッチパネル（白色 CCFT バックライト付）
●有効表示範囲	115.2mm × 86.4mm
●表示画素ピッチ	0.36mm × 0.36mm
●表示画素寸法	0.33mm × 0.33mm
●抵抗式タッチスクリーン	8 × 6 マトリックス
●ボタンスイッチ	スタート・ストップ・リセット・ジョブメモリ・管理者モード 枚数設定テンキー・カラー/白黒・上面排紙/側面排紙
● LED 表示ランプ	電源・使用可・エラー・カラー/白黒・上面排紙 / 側面排紙

電気的特性

●定格	• プリンタ用 I/F カード 5V - 1.8A（操作パネル 5V - 1.0A 含む） • スキャナ用 I/F カード 5V - 0.2A
●消費電流	最大 2000mA 以下 動作時 1370mA 以下 待機時（バックライト OFF 時）780mA 以下

適合規格

●電磁障害	VCCI　クラス A

システム環境条件

●温度	動作時：10 ～ 32℃
	保存時：0 ～ 35℃
●湿度	動作時：15 ～ 80%（非結露）
	保存時：15 ～ 80%（非結露）

信頼性

● MTBF（平均故障間隔）	15000 時間

使用条件

●塵埃	一般事務所、一般家庭程度
	異常にホコリの多いところは避けること
●照度	直射日光は避けること

索引

アルファベット

R RGB 調整 70

アイウエオ

イ 移動 164
印刷領域（プリンタ） 36
エ 液晶ディスプレイ 14
エラーメッセージ
（CS-6500S 関連） 131
エラーメッセージ
（スキャナ関連） 129
エラーメッセージ
（プリンタ関連） 119
エラーランプ 14
オ お手入れ 163
オプション 162
カ 拡大コピー 28, 59
画質の調整 65, 67, 68
紙詰まり（ADF） 133
紙詰まり（プリンタ） 135
カラーキャリブレーション 112
環境設定 110
管理者ボタン 14, 108
管理者モード 108
キ キータッチ音 110
輝度調整ボリューム 15, 80
給紙装置の選択方法 45
ケ 原稿タイプ選択機能 65
原稿のセット（スキャナ） 30
原稿の向きとコピーの向き 24
コ 工場出荷時設定値 116
コピー色選択ボタン 15, 64
コピー色の選択 64
コピージョブ標準値設定 111
コピーの実行 50
コピーの中止 51
コピー枚数 49
コントラスト調整 69
サ サービスサポート 158
彩度調整 71
シ 色相調整 72
色調補正 68
自動給紙 111
自動倍率 58
自動用紙 45
縮小コピー 29, 59
使用可能な用紙 35
使用可ランプ 14
消耗品の交換 157
ジョブメモリボタン 14, 73
白黒印刷 64
ス ズーム（倍率）設定 61
スタートボタン 14, 50
スタンバイ制御機能 23, 110
ステータス 109
ストップボタン 14
セ 接続 12
設定の組み合わせ 13
設定の削除 76
設定の登録 73
設定のリセット 81
センサー 15, 23
ソ 操作パネル 14
チ 丁合いコピー 95
テ 定形拡大 / 縮小 59
テンキー 14, 49
電源の投入 20
電源ランプ 14
ト 等倍コピー 25, 26, 27, 62
とじしろコピー 91
ネ ネットワークスキャニング
ボックス収納部 15
ノ 濃度の調整 67
ハ 排紙トレイ選択ボタン 15, 48

排紙トレイの切り替え 48
倍率の設定 57
パネルの明暗調整 80
フ フィットページ機能 62
複製上の注意 17
ブック影消しコピー 102
ヘ ページ連写コピー 97
メ 名称 14
ヨ 用紙カセットへの用紙のセット . 37
用紙トレイへの用紙のセット 40
用紙のセット（プリンタ）..... 37
リ リセット 81
リセットボタン 14, 81
両面コピー設定 77
ワ 割り付けコピー 85

修理依頼票

※お手数をおかけして申し訳ございませんが、迅速・確実な修理をするために、必要事項をご記入の上、必ず製品に添付してください。

□初めての故障
□再修理

機種名		製造番号	
お買上店名		お買上日	年　月　日
修理品への添付	□保証書　□ケーブル（機種：　　） □（　　）　□（　　）　□（　　）		

☆発生日時／頻度についてご記入ください

初めて故障した日時	年　月　日
故障が発生するとき	電源オン時・使用開始直後・使用開始　分／時間してから・電源オフ時
故障の発生頻度	使用開始時のみ・いつも・ときどき（　時間／　日に　回）・まれ（　週間に　回）

☆接続機器単品での動作確認結果についてご記入ください

プリンタ	□異常なし　□未確認
スキャナ	□異常なし　□未確認

☆故障内容について、文字／イラストなど、具体的にご記入ください

【お願い】印刷結果の不具合は、必ず印刷サンプルを添付してください。また、操作パネルの状態を必ずご記入ください。操作パネルにメッセージが表示される場合は、必ずメッセージをご記入ください。

平均使用時間 / コピー枚数	時間／日　　枚／日

☆お客様の環境（コピーシステム）についてご記入ください

接続プリンタ	機種名：
接続スキャナ	機種名：

☆コンピュータ上からコピーシステムを使用時に故障が発生する場合、コンピュータとソフトウェアについてご記入ください

接続コンピュータ	メーカー名：　　モデル名：
OS	□Windows 95　□Windows 98　□Windows NT　□Windows 2000 □Windows Me　□Mac OS　□その他（　　） （Ver.　　メーカー：　　）
TWAIN Pro Network	Ver.
アプリケーション	アプリケーション名：　　Ver.　　メーカー：
製品同梱のユーティリティ	ユーティリティ名：　　Ver.

※対応しているOSは、ご使用の機種により異なります。取扱説明書にてご確認ください。

フリガナ お名前	電話番号 TEL： FAX：	日中の連絡先 TEL：
ご住所　〒　－	お客様ID コード （取得済みの方のみ）	

※保証期間中の修理依頼については、必ず保証書を添付してください。

MEMO

MEMO

電波障害自主規制について ―― 注意 ――

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については，将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については，万全を期して作成いたしましたが，万一ご不審な点や誤り，記載もれなど，お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については，(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり，本書の内容に従わずに取り扱われたり，またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては，責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および，エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し，それが原因でトラブルが発生した場合には，保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合，修理等は有償で行います。

©セイコーエプソン株式会社　2000